

感染症発生動向調査事業報告書

- 感染症発生動向調査

(結核及び新型コロナウイルス感染症を除く)

- エイズ対策

- インフルエンザ対策

- その他

- 参考資料

令和 3 年

名古屋市健康福祉局

表章記号の規約

計数のない場合 —

統計項目のありえない場合 ・

発行 名古屋市健康福祉局

編集 名古屋市健康福祉局感染症対策室

名古屋市衛生研究所

発行年月 令和5年3月

目 次

I 感染症発生動向調査

1

2	事業の概要	1
3	患者情報	9
(1)	一類～五類感染症（全数把握）の発生状況（令和3年）	9
表1	一類・二類・三類感染症年次・疾病別発生状況	14
表2	一類・二類・三類感染症月別発生状況	15
表3	一類・二類・三類感染症区別発生状況	16
表4	一類・二類・三類感染症年齢・性別発生状況	17
表5	過去10年間の一類・二類・三類感染症集団発生状況	19
表6	過去5年間の細菌性赤痢の菌型	19
表7	三類感染症発生状況	20
表8	腸管出血性大腸菌感染症の月別・菌型別発生状況	22
表9	腸管出血性大腸菌感染症の年次別・菌型別発生状況	22
表10	四類感染症発生状況	23
表11	四類感染症月別発生状況	24
表12	四類感染症区別発生状況	25
表13	五類感染症（全数把握）発生状況	26
表14	五類感染症（全数把握）月別発生状況	27
表15	五類感染症（全数把握）区別発生状況	27
(2)	五類感染症（定点把握）の発生状況（令和3年）	28
ア	五類感染症（定点把握）の各月毎の発生状況	28
イ	五類感染症（定点把握）発生状況の推移等	35
表1	週報対象疾病週別患者発生状況	46
表2-1	週報対象疾病（インフルエンザ・小児科定点）年齢階層別患者発生状況	47
表2-2	週報対象疾病（眼科・基幹定点）年齢階層別患者発生状況	47
表3	月報対象疾病月別患者発生状況	48
表4-1	月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況	49
表4-2	月報対象疾病（基幹定点）月別・年齢階層別患者発生状況	50
表5-1	月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況（男性）	51
表5-2	月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況（女性）	52
表5-3	月報対象疾病（基幹定点）月別・年齢階層別患者発生状況	53
表6	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（インフルエンザ）	55
表7	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（RSウイルス感染症）	56
表8	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（咽頭結膜熱）	57
表9	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（A群溶血性レンサ球菌咽頭炎）	58
表10	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（感染性胃腸炎）	59
表11	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（水痘）	60
表12	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（手足口病）	61
表13	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（伝染性紅斑）	62

表14	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（突発性発しん）	63
表15	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（ヘルパンギーナ）	64
表16	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（流行性耳下腺炎）	65
表17	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（急性出血性結膜炎）	66
表18	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（流行性角結膜炎）	67
表19-1	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（性器クラミジア感染症）	68
表19-2	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（性器ヘルペスウイルス感染症）	68
表19-3	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（尖圭コンジローマ）	68
表19-4	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（淋菌感染症）	68
表20	週報対象疾病年次別発生状況	69
4	検査情報	70
(1)	月別ウイルス分離・検出状況	71
(2)	年齢別ウイルス分離・検出状況	72
(3)	診断名別ウイルス分離・検出状況	73

II エイズ対策 74

1	概況	74
2	名古屋市におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数等	74
(1)	H I V感染者報告件数（令和3年）	74
(2)	A I D S患者報告件数（令和3年）	75
(3)	H I V感染者・A I D S患者累積報告件数（令和3年）	76
(4)	H I V感染者・A I D S患者報告件数の推移（令和3年）	77
(5)	A I D S患者指標疾病別内訳（令和3年）	78
3	日本におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数（累計）（令和3年エイズ発生動向委員会）	78
4	本市のエイズ対策（令和3年度）	80
(1)	エイズ対策の概要	80
(2)	エイズ相談件数・H I V検査採血件数	81
(3)	H I V抗体検査採血件数年度別（次記(4)を除く。）	82
(4)	臨時検査実施状況	83
(5)	HIV啓発事業	83

III インフルエンザ対策 84

1	区別措置状況	84
2	施設別患者数等	84
3	検査結果	84
4	過去の集団かぜ発生状況	85

IV その他 87

1	感染性胃腸炎の集団発生	87
2	浸水被害発生状況	88
3	疫学調査等実施状況	89

○ HIV/性感染症検査アンケート結果	90
○ 附属機関の会議開催状況	112
1 名古屋市感染症予防協議会	112
2 名古屋市感染症診査協議会感染症部会	112
3 関係条例等	112
(1) 名古屋市感染症予防協議会条例	113
(2) 名古屋市感染症診査協議会条例	115
(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則	116
(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿	118
(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿	119

感染症発生動向調査

(結核及び新型コロナウイルス感染症を除く)

I 感染症発生動向調査

1 事業の概要

(1) 患者情報の把握

情報収集の対象となる感染症は、その分類と特性に応じて全数把握を行うものと定点把握を行うものとに分類されている。定点把握感染症は、小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点、性感染症定点、基幹定点及び疑似症定点の6種類の指定医療機関から届出される。

7 全数把握

(7) 対象疾病【令和3年12月末時点】

・一類感染症（7疾病）

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

・二類感染症（7疾病）

急性灰白髄炎（ポリオ）、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）

・三類感染症（5疾病）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス

・四類感染症（44疾病）

E型肝炎、ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く。）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

・五類感染症（24疾病）

アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）、急性脳炎（ウエストナイル熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲

性肺炎球菌感染症、水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

・ 新型インフルエンザ等感染症（4 疾病）

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、再興型コロナウイルス感染症

・ 指定感染症（0 疾病）

該当なし

イ 定点把握

(7) 対象疾病【令和3年12月末時点】

・ 五類感染症（24 疾病）

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

・ 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの

(1) 患者定点

・ インフルエンザ・小児科定点	70
・ 眼科定点	11
・ STD定点	15
・ 基幹定点	3
・ 疑似症定点	16
合 計	115

(2) 病原体検査

患者定点のうちインフルエンザ・小児科定点7か所及び眼科医療機関1か所の計8か所を病原体定点として、検体採取を行った。

(3) 情報の収集及び還元

全数把握対象疾病及び定数把握対象疾病の発生状況等について、週単位及び月単位に患者数等を収集・集計した後、市情報としてまとめ、報道機関、市医師会、各定点等関係機関等へ還元した。

(令和3年12月末時点)

一類感染症	四類感染症	五類感染症
		全数把握対象
(1) エボラ出血熱 (2) クリア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱 (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱	(20) E型肝炎 (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) (22) A型肝炎 (23) エキノコックス症 (24) 黄熱 (25) オウム病 (26) オムスク出血熱 (27) 回帰熱 (28) キヤサナル森林病 (29) Q熱 (30) 狂犬病 (31) コクシジオイデス症 (32) サル痘 (33) ジカウイルス感染症 (34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) (35) 腎症候性出血熱 (36) 西部ウマ脳炎 (37) ダニ媒介脳炎 (38) 炭疽 (39) チクングニア熱 (40) つつが虫病 (41) デング熱 (42) 東部ウマ脳炎 (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	(64) アメーバ赤痢 (65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。) (66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) (68) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。) (69) クリプトスポリジウム症 (70) クロイツフェルト・ヤコブ病 (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (72) 後天性免疫不全症候群 (73) ジアルジア症 (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 (75) 侵襲性髄膜炎菌感染症 (76) 侵襲性肺炎球菌感染症 (77) 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。) (78) 先天性風しん症候群 (79) 梅毒 (80) 播種性クリプトコックス症 (81) 破傷風 (82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84) 百日咳 (85) 風しん (86) 麻しん (87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症
二類感染症		定点把握対象
(8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) (12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) (13) 鳥インフルエンザ(H5N1) (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)	(44) ニパウイルス感染症 (45) 日本紅斑熱 (46) 日本脳炎 (47) ハンタウイルス肺炎候群 (48) Bウイルス病 (49) 鼻疽 (50) ブルセラ症 (51) ベネズエラウマ脳炎 (52) ヘンドラウイルス感染症 (53) 発しんチフス (54) ボツリヌス症 (55) マラリア (56) 野兔病 (57) ライム病 (58) リッサウイルス感染症 (59) リフトバレー熱 (60) 類鼻疽 (61) レジオネラ症 (62) レプトスピラ症 (63) ロッキーマountain紅斑熱	(88) RSウイルス感染症 (89) 咽頭結膜熱 (90) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (91) 感染性胃腸炎 (92) 水痘 (93) 手足口病 (94) 伝染性紅斑 (95) 突発性発しん (96) ヘルパンギーナ (97) 流行性耳下腺炎 (98) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。) (99) 急性出血性結膜炎 (100) 流行性角結膜炎 (101) 性器クラミジア感染症 (102) 性器ヘルペスウイルス感染症 (103) 尖圭コンジローマ (104) 淋菌感染症 (105) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) (106) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。) (107) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (108) マイコプラズマ肺炎 (109) 無菌性髄膜炎 (110) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (111) 薬剤耐性緑膿菌感染症
三類感染症		
(15) コレラ (16) 細菌性赤痢 (17) 腸管出血性大腸菌感染症 (18) 腸チフス (19) パラチフス		
新型インフルエンザ等感染症		
(112) 新型インフルエンザ (113) 再興型インフルエンザ (114) 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。) (115) 再興型コロナウイルス感染症		
指定感染症		
該当なし		
法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症		
(116) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。		

○指定届出機関名簿（定点医療機関）（令和3年1月～令和3年12月）

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	S T D	基 幹	疑 似 症	病 原 体		
千 種 保 健 セ ン タ ー	東 部 医 療 セ ン タ ー	○				○	○	千種区若水1-2-23	
	す ず こ ど も ク リ ニ ッ ク	○						千種区若水3-27-15	
	み ず た に こ ど も ク リ ニ ッ ク	○						千種区茶屋が坂1-12-23	
	ワ イ ワ イ こ ど も ク リ ニ ッ ク	○						千種区御棚町1-29	～R3.3.31
	江 口 医 院	○	○					千種区神田町24-1	R3.4.1～
	松 永 小 児 科 医 院	○						千種区今池5-24-20	
	鈴 木 眼 科		○					千種区内山3-10-17	
	野 口 ク リ ニ ッ ク			○				千種区仲田2-13-8	
東 保 健 セ ン タ ー	A O I 名 古 屋 病 院	○						東区泉2-2-5	
	し ら か べ 耳 鼻 科 ・ 小 児 科	○						東区芳野1-2-1	
	近 藤 医 院	○						東区出来町1-10-27	
	出 来 町 ク リ ニ ッ ク	○						東区新出来2-6-7	
北 保 健 セ ン タ ー	西 部 医 療 セ ン タ ー	○		○	○	○	○	北区平手町1-1-1	
	う わ と こ ク リ ニ ッ ク	○						北区大曾根2-7-18	
	あ さ み ク リ ニ ッ ク	○						北区上飯田通1-22	
	ま き 小 児 科	○						北区如意2-99-1	
	津 村 こ ど も ク リ ニ ッ ク	○						北区長喜町2-33-2	
	あ じ ま 眼 科 ク リ ニ ッ ク		○					北区楠味鏡2-1704	
	上 飯 田 泌 尿 器 科 内 科 ク リ ニ ッ ク			○				北区八龍町1-56	
西 保 健 セ ン タ ー	名 鉄 病 院	○				○		西区栄生2-26-11	
	FamilyClinic みわた小児科	○						西区城西2-11-3	
	き と う 小 児 科 医 院	○						西区香呑町4-28	
	や ま か わ こ ど も ク リ ニ ッ ク	○						西区八筋町158-1	
	玉 井 眼 科		○					西区南川町9	
	こ ざ き 女 性 ク リ ニ ッ ク			○				西区上名古屋2-26-7	

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	S T D	基 幹	疑 似 症	病 原 体		
中 村 保 健 セ ン タ ー	愛知医療センター 名古屋第一病院	○				○		中村区道下町3-35	
	公園北クリニック	○						中村区本陣通5-112	
	森 医 院	○						中村区鳥居西通1-45	
	村 上 医 院	○						中村区岩塚本通4-46	
	臼 井 医 院	○						中村区大正町2-36	
	丹羽眼科医院		○					中村区鳥居西通2-50	
	サイ皮膚泌尿器科			○				中村区鳥居西通1-39-2	
中 保 健 セ ン タ ー	かんばらクリニック	○						中区新栄3-8-26	
	セントラル小児科	○						中区新栄町1-3	
	奥田クリニック	○						中区錦1-4-28	
	としわ会診療センター クリニック	○						中区金山5-5-11	
	加納産婦人科			○				中区大須3-16-25	
	夏目泌尿器科			○				中区新栄町1-3	
	名城病院					○		中区三の丸1-3-1	
	名古屋医療センター					○		中区三の丸4-1-1	
昭 和 保 健 セ ン タ ー	愛知医療センター 名古屋第二病院	○			○	○	○	昭和区妙見町2-9	
	杉 浦 医 院	○						昭和区山手通5-33-1	
	伊 藤 内 科	○						昭和区白金2-13-4	
	内科・糖尿病内科 前島医院	○						昭和区緑町1-15-1	
	立 松 医 院	○						昭和区広見町5-55	
	み ず の 眼 科		○					昭和区広路通7-14-1	
	成 田 ク リ ニ ッ ク			○				昭和区吹上町2-15	
	名古屋大学医学部附属病院					○		昭和区鶴舞町65	
瑞 穂 保 健 セ ン タ ー	名古屋市立大学病院	○				○	○	瑞穂区瑞穂町川澄1	
	かにクリニック	○						瑞穂区上山町2-20	
	可 児 医 院	○						瑞穂区平郷町2-2-2	
	久 米 ク リ ニ ッ ク	○						瑞穂区丸根町1-8	
	服 部 医 院	○						瑞穂区柳ヶ枝町1-34	
	浅野眼科クリニック		○					瑞穂区八勝通2-30-1	
	産婦人科水野クリニック			○				瑞穂区牧町2-11	

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	S T D	基 幹	疑 似 症	病 原 体		
熱田保健センター	井 土 医 院	○						熱田区野立町3-60	
	森 本 医 院	○						熱田区大宝4-7-7	
	あつたファミリーハート ク リ ニ ッ ク	○	○					熱田区二番2-25-46	
	金山ファミリークリニック	○						熱田区金山町1-503 トーフ金山ビル6階	
	重 工 記 念 病 院	○						熱田区外土居町7-8	
	加 藤 眼 科 医 院		○					熱田区金山町1-19-13	
	協 立 総 合 病 院					○		熱田区五番町4-33	
中川保健センター	藤 田 医 科 大 学 ば ん た ね 病 院	○				○		中川区尾頭橋3-6-10	
	名 古 屋 掖 済 会 病 院	○			○	○	○	中川区松年町4-66	
	福 井 医 院	○						中川区上脇町2-87	
	まつば公園こどもクリニック	○						中川区好本町3-15	
	名古屋泌尿器科病院			○				中川松葉町5-34	
港区保健センター	今 井 医 院	○						港区港北町2-37	
	東 港 ク リ ニ ッ ク	○						港区港陽3-1-17	
	中 川 胃 腸 科 外 科	○						港区小賀須3-1612	
	ク リ ニ ッ ク お か だ	○						港区幸町2-25	
	まのレディースクリニック			○				港区七反野1-806-1	
	中 部 労 災 病 院					○		港区港明1-10-6	
南区保健センター	大 同 病 院	○				○		南区白水町9	
	中 京 病 院	○				○	○	南区三条1-1-10	
	あ さ だ 医 院	○						南区芝町41	
	近 藤 医 院	○						南区浜田町2-17-2	
	横 瀬 医 院		○					南区戸部町3-1	
	伊藤しあわせクリニック			○				南区弥生町14	
守山保健センター	おがたファミリークリニック	○						守山区緑ヶ丘107	
	せこ内科クリニック	○						守山区瀬古1-720	
	ハローキッズクリニック	○						守山区平池東805-1	
	川 瀬 ク リ ニ ッ ク	○						守山区小幡5-1-6	
	田 中 医 院	○						守山区町南13-19	

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	STD	基幹	疑似症	病原体		
緑 保 健 セ ン タ ー	平 岩 病 院	○						緑区鳴海町相原町26	
	ち は ら 小 児 科	○						緑区姥子山5-709	
	森 の 里 クリニック	○						緑区森の里1-99-2	
	緑 こどもクリニック	○						緑区乗鞍1-404	
	吉 山 眼 科 クリニック		○					緑区鳴海町字本町28-1	
	川 原 医 院			○				緑区鹿山3-10	
名 東 保 健 セ ン タ ー	若 葉 台 クリニック	○						名東区若葉台502	
	佐々木こどもクリニック	○						名東区朝日が丘99	
	武 井 医 院	○						名東区社口2-1001	
	朝 日 クリニック	○						名東区香南1-417	
	本 郷 眼 科		○					名東区本郷2-83	
	ま じ ま 眼 科						○	名東区藤が丘141藤が丘 駅前ビル2階	
	く ず や クリニック			○				名東区本郷2-94-1 みふくビル2階	
天 白 保 健 セ ン タ ー	くつなこどもクリニック	○					○	天白区原3-804	
	伊 奈 クリニック	○						天白区平針3-111	
	岩 山 小 児 科	○						天白区福池2-24	
	表 山 クリニック	○						天白区表山1-1760	
	鈴 木 眼 科 医 院		○					天白区島田2-811	
	おときき山泌尿器皮膚科			○				天白区池見2-229	
	名 古 屋 記 念 病 院						○	天白区平針4-305	

2 患者情報

(1) 一類～五類感染症（全数把握）の発生状況（令和3年：診断日で集計）

ア 一類感染症

発生はなかった。

イ 二類感染症（結核を除く。）

発生はなかった。

ウ 三類感染症

36件の発生があった。内訳は、腸管出血性大腸菌感染症が34件、細菌性赤痢が1件、腸チフスが1件、パラチフス及びコレラの発生はなかった。

○腸管出血性大腸菌感染症

- ・診断した者の類型では、患者が30件、無症状病原体保有者が4件であった。以下、（ ）内に無症状病原体保有者を再掲。
- ・菌の型別では、0157が28件（4件）、026が4件、0111が1件、不明が1件であった。
- ・性別では、男性が12件、女性が22件（4件）であった。
- ・年齢別では、10歳未満が9件（1件）、10～19歳が4件、20～29歳が12件（1件）、30～39歳が4件（2件）、40～49歳が1件、50～59歳が2件、60～69歳が2件であった。
- ・診断月別では、8月の11件が最も多く、全体の32.4%を占めた。

エ 四類感染症

39件の発生があった。内訳は、E型肝炎が2件、A型肝炎が1件、つつが虫病が1件、日本紅斑熱が2件、レジオネラ症が33件であった。

○E型肝炎

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
3月	血清IgA抗体の検出	患者	男	81	愛知県内
5月	PCR法（血液）	患者	男	44	愛知県内

○A型肝炎

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
9月	血清IgM抗体の検出	患者	男	53	市内

○つつが虫病

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
12月	IgM抗体の検出（血清）	患者	女	66	三重県

○日本紅斑熱

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
9月	PCR法(皮膚組織)	患者	男	29	岐阜県
12月	PCR法(血液)	患者	男	74	広島県

○レジオネラ症

- ・病型では、肺炎型が31件、無症状病原体保有者が2件、ポンティアック熱型は発生がなかった。
- ・性別では、男性が24件、女性が9件であった。
- ・年齢別では、40～49歳が2件、50～59歳が2件、60～69歳が9件、70～79歳が8件、80歳以上が12件であった。
- ・感染原因(推定含む)別では、水系感染が12件(1件は市内「その他の公衆浴場」による感染事例)、不明が21件であった。

オ 五類感染症(全数把握)

503件の発生があった。内訳は、アメーバ赤痢が14件、ウイルス性肝炎が2件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が57件、急性弛緩性麻痺が1件、急性脳炎が2件、クロイツフェルト・ヤコブ病が3件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が30件、後天性免疫不全症候群が69件、侵襲性インフルエンザ菌感染症が10件、侵襲性肺炎球菌感染症が41件、水痘(入院例に限る。)が4件、梅毒が229件、播種性クリプトコックス症が4件、破傷風が1件、百日咳が36件であった。

○アメーバ赤痢

- ・性別では、男性が12件、女性が2件であった。
- ・年齢別では、30～39歳が1件、40～49歳が3件、50～59歳が4件、60～69歳が4件、70～79歳が1件、80～89歳が1件であった。
- ・感染原因(推定含む)別では、性的接触が2件、不明が12件であった。

○ウイルス性肝炎

- ・病型では、B型が2件であった。
- ・性別では、男性が2件であった。
- ・年齢別では、30～39歳が2件であった。
- ・感染原因(推定含む)別では、性的接触が2件であった。

○カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

- ・性別では、男性が40件、女性が17件であった。
- ・年齢別では、30～39歳が3件、40～49歳が2件、50～59歳が4件、60～69歳が8件、70～79歳が20件、80歳以上が20件であった。
- ・感染原因(推定含む)別では、以前からの保菌が17件、医療器具関連感染が7件、院内

感染が2件、手術部位感染が8件、その他が9件、不明が14件であった。

- ・感染地域（推定含む）別では、市内が35件、愛知県内が7件、国内が11件、国外が1件、不明が3件であった。
- ・診断方法別では、メロペネムとイミペネム及びセフメタゾールすべての耐性を確認が20件、メロペネムのみの耐性を確認が13件、イミペネム及びセフメタゾールのみ耐性を確認が24件であった。

○急性弛緩性麻痺

- ・病型では、病原体不明が1件であった。
- ・性別では、女性が1件であった。
- ・年齢別では、10～19歳が1件であった。

○急性脳炎

- ・病型では、病原体不明が2件であった。
- ・性別では、男性が1件、女性が1件であった。
- ・年齢別では、10歳未満が2件であった。

○クロイツフェルト・ヤコブ病

- ・病型では、古典型が3件であった。
- ・性別では、男性が1件、女性が2件であった。
- ・年齢別では、60～69歳が1件、70～79歳が2件であった。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症

- ・病型では、A群が13件、B群が3件、G群が8件、不明が6件であった。
- ・性別では、男性が23件、女性が7件であった。
- ・年齢別では、20～29歳が1件、30～39歳が1件、40～49歳が1件、50～59歳が3件、60～69歳が4件、70～79歳が8件、80歳以上が12件であった。

○後天性免疫不全症候群

詳細は「Ⅱ エイズ対策」を参照。

○侵襲性インフルエンザ菌感染症

- ・性別では、男性が9件、女性が1件であった。
- ・年齢別では、10歳未満が3件、40～49歳が1件、60～69歳が3件、70～79歳が1件、80歳以上が2件であった。
- ・ワクチン接種歴では、有り（4回）が2件、有り（3回）が1件、無し及び不明が7件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、接触感染が1件、その他が4件、不明が5件であった。

○侵襲性肺炎球菌感染症

- ・性別では、男性が23件、女性が18件であった。
- ・年齢別では、10歳未満が8件、30～39歳が3件、40～49歳が4件、50～59歳が3件、60～69歳が7件、70～79歳が5件、80歳以上が11件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、飛沫・飛沫核感染が16件、接触感染が1件、その他が6件、不明が18件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が24件、愛知県内が15件、不明が2件であった。

○水痘（入院例に限る。）

- ・病型では、検査診断例が3件、臨床診断例が1件であった。
- ・性別では、男性が3件、女性が1件であった。
- ・年齢別では、10～19歳が1件、20～29歳が1件、30～39歳が1件、50～59歳が1件であった。
- ・接種歴では、有り（2回）が1件、無し及び不明が3件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が3件、不明が1件であった。

○梅毒

- ・病型では、無症候（無症状病原体保有者）が67件、早期顕症梅毒（Ⅰ期）が76件、早期顕症梅毒（Ⅱ期）が83件、晩期顕症梅毒が1件、先天梅毒が2件であった。
- ・性別では、男性が148件、女性が81件であった。
- ・年齢別では、10歳未満が2件、10～19歳が5件、20～29歳が62件、30～39歳が53件、40～49歳が61件、50～59歳が29件、60～69歳が7件、70～79歳が9件、80歳以上が1件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、性的接触が211件、母子感染が2件、不明が16件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が149件、愛知県内が42件、国内が24件、不明が14件であった。

○播種性クリプトコックス症

- ・性別では、男性が4件であった。
- ・年齢別では、60～69歳が2件、80歳以上が2件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、免疫不全が4件であった。

○破傷風

- ・性別では、女性が1件であった。
- ・年齢別では、70～79歳が1件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、不明が1件であった。

○百日咳

- ・性別では、男性が22件、女性が14件であった。
- ・年齢別では、10歳未満が36件であった。

- ・感染原因（推定含む）別では、家族内感染が6件、幼稚園が1件、不明が29件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が13件、愛知県内が19件、不明が4件であった。
- ・診断月別では、2月が1件、3月が3件、4月が4件、5月が5件、6月が6件、7月が5件、8月が7件、11月が5件であった。

表1 一類・二類・三類感染症年次・疾病別発生状況（名古屋市）

疾病別 年次	総数		急性灰白髄炎		ジフテリア		重症急性呼吸器 症候群		中東呼吸器症候 群		鳥インフルエン ザ（H5N1）		
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	
9	98	(36)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
10	54	(6)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
11	67	(8)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
12	139	(36)	1	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
13	82	(13)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
14	48	(11)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
15	42	(7)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
16	67	(11)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
17	63	(9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
18	63	(21)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
19	40	(11)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
20	69	(10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
21	63	(10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
22	74	(16)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
23	48	(20)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
24	44	(9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
25	62	(10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
26	48	(9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
27	44	(9)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	46	(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	64	(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	56	(11)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
元	51	(10)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	42	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	36	(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別 年次	鳥インフルエン ザ（H7N9）		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
9	・	・	-	-	24	-	73	(36)	-	1	-	-
10	・	・	-	-	16	-	37	(6)	-	-	-	1
11	・	・	-	-	15	-	49	(8)	-	1	-	2
12	・	・	3	-	17	-	115	(36)	1	4	-	-
13	・	・	1	-	17	-	58	(13)	-	4	-	2
14	・	・	1	-	10	(1)	36	(10)	-	1	-	-
15	・	・	1	-	7	-	33	(7)	-	1	-	-
16	・	・	4	-	11	-	46	(11)	-	3	-	3
17	・	・	-	-	6	-	52	(9)	-	4	-	1
18	・	・	1	-	6	-	56	(21)	-	-	-	-
19	・	・	-	-	2	-	37	(11)	-	1	-	-
20	・	・	1	-	5	-	62	(10)	-	-	-	1
21	・	・	1	-	5	-	54	(10)	-	1	-	2
22	・	・	-	-	5	-	69	(16)	-	-	-	-
23	・	・	1	-	3	-	43	(20)	-	-	-	1
24	・	・	-	-	5	(1)	38	(8)	-	1	-	-
25	・	・	-	-	9	(1)	51	(9)	-	1	-	1
26	・	・	1	-	7	-	40	(9)	-	-	-	-
27	-	-	-	-	2	-	42	(9)	-	-	-	-
28	-	-	1	-	6	(1)	37	(12)	-	2	-	-
29	-	-	-	-	6	-	58	(8)	-	-	-	-
30	-	-	-	-	2	-	53	(11)	-	-	-	1
元	-	-	-	-	4	-	45	(10)	-	1	-	1
2	-	-	-	-	-	-	42	(5)	-	-	-	-
3	-	-	-	-	1	-	34	(4)	-	1	-	-

注：診断日にて集計

（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

- ・平成7年から平成11年3月31日までは伝染病予防法に基づく発生報告。
- ・平成11年4月1日からは感染症法に基づく発生報告。
- ・令和3年までにおいて一類感染症の発生なし。

表2 一類・二類・三類感染症月別発生状況（令和3年・名古屋市）

疾病別 月	総 数	急性 灰白 髄炎	ジフ テリ ア	重症 急性 呼吸 器 症 候 群	中東 呼吸 器 症 候 群	鳥 イン フル エン ザ (H 5 N 1)	鳥 イン フル エン ザ (H 7 N 9)	コ レ ラ	細菌 性 赤 痢	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス
総数	36 (4)	-	-	-	-	-	-	-	1	34 (4)	1	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
5	2 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	2 (1)	-	-
6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
8	12 (2)	-	-	-	-	-	-	-	1	11 (2)	-	-
9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
12	4 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	4 (1)	-	-

注： 診断日にて集計

()内は無症状病原体保有者の再掲。 ○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和3年は一類感染症の発生なし。

表3 一類・二類・三類感染症区別発生状況（令和3年・名古屋市）

疾病別 区	総 数	急性 灰白 髄炎	ジフ テリア	重症 急性呼 吸器 症候群	中東 呼吸器 症候群	鳥 イン フル エン ザ (H5 N1)	鳥 イン フル エン ザ (H7 N9)	コ レ ラ	細菌 性赤 痢	腸管 出血 性大 腸菌 感染 症	腸 チフ ス	パ ラチ フス
総 数	36 (4)	-	-	-	-	-	-	-	1	34 (4)	1	-
千 種	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
西	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
中 村	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
中	5 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	5 (1)	-	-
昭 和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
瑞 穂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熱 田	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
中 川	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
港	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
南	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
守 山	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
緑	5	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-
名 東	5 (3)	-	-	-	-	-	-	-	-	5 (3)	-	-
天 白	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

注： 診断日にて集計

()内は無症状病原体保有者の再掲。 ○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和3年は一類感染症の発生なし。

表4 一類・二類・三類感染症年齢・性別発生状況（令和3年・名古屋市）

年齢別 性別	総数		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	総数	男	14	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-	-	1
	女	22	-	1	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-
	計	36	-	2	3	-	1	-	3	-	1	-	-	1	-
白 急 髄 性 炎 灰	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジ フ テ リ ア	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
吸 重 器 症 症 急 候 性 群 呼	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
症 中 候 東 群 ※ 呼 吸 器	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 鳥 (H 5 N 1 エ ン)	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 鳥 (H 7 N 9 エ ン)	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コ レ ラ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤 細 菌 性 痢	男	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 腸 腸 管 菌 出 感 染 血 症	男	12	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	女	22	-	1	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-
	計	34	-	2	2	-	1	-	3	-	1	-	-	1	-
腸 チ フ ス	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パ ラ チ フ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：診断日にて集計

○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和3年は一類感染症の発生なし。

年齢別		13	14	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70
性別				19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	
総数	男	-	-	-	3	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	-	2	5	2	2	1	-	-	-	2	2	-	-
	計	1	-	2	8	5	2	2	-	1	-	2	2	-	-
急性 髄膜炎	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジフテリア	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症 急性呼 吸器症 候群	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器 症候群※	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザインフル エンザ(H5N1)	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザインフル エンザ(H7N9)	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤細菌性	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大腸菌感 染症	腸管出血性	男	-	-	3	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	-	2	5	2	2	1	-	-	-	2	2	-	-
	計	1	-	2	8	4	2	2	-	1	-	2	2	-	-
腸チフス	男	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パラチフス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：診断日にて集計

○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和3年は一類感染症の発生なし。

表5 過去10年間の一類・二類・三類感染症集団発生状況（名古屋市）

年次	施設種別	区	発生期間	患者数	死亡者数	病原体	感染経路	備考
24	発生なし							
25	教育施設	中村	9/13~9/17	11	—	0157		
26	発生なし							
27	発生なし							
28	発生なし							
29	発生なし							
30	発生なし							
元	発生なし							
2	発生なし							
3	発生なし							

注:()内は無症状病原体保有者の再掲

表6 過去5年間の細菌性赤痢の菌型（名古屋市）

菌型		年次				
		29	30	元	2	3
A	群	-	-	-	-	-
B群	1型	-	-	-	-	-
	2型	-	-	-	-	1
	3型	-	-	-	-	-
	4型	-	-	-	-	-
	5型	-	-	-	-	-
	6型	-	-	-	-	-
	型不詳	-	-	1	-	-
C	群	-	-	-	-	-
D	群	6	2	3	-	-
検出なし		-	-	-	-	-
計		6	2	4	0	1
備考						

表7 三類感染症発生状況（令和3年・名古屋市）

番号	病名	菌型	ベロ毒素	区分	性別	年齢	区	海外渡航歴	診断年月日
1	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	21	千種		20210413
2	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	27	東		20210510
3	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	27	北		20210517
4	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	55	天白		20210614
5	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	29	天白		20210616
6	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	男	20	西		20210616
7	腸管出血性大腸菌感染症	O111	1・2	患者	女	22	中村		20210618
8	腸管出血性大腸菌感染症	O157	不明	患者	男	11	中村		20210628
9	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	13	中村		20210712
10	腸管出血性大腸菌感染症	O157	不明	患者	男	36	中村		20210712
11	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	37	中		20210714
12	腸管出血性大腸菌感染症	O157	不明	患者	男	1	中		20210715
13	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	保菌	女	30	中		20210720
14	腸管出血性大腸菌感染症	不明	1	患者	女	1	中		20210727
15	腸管出血性大腸菌感染症	O157	不明	患者	女	24	中		20210729
16	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	2	熱田		20210805
17	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	6	中川		20210808
18	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	23	中川		20210809
19	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	26	中川		20210810
20	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	女	62	港		20210810
21	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	8	港		20210812
22	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	19	南		20210814
23	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1	患者	男	45	南		20210814
24	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	22	守山		20210817
25	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	女	60	守山		20210820
26	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	男	24	緑		20210823
27	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	16	緑		20210910
28	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	6	緑		20210917
29	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	55	緑		20211002
30	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	4	名東		20211022
31	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	2	名東		20211201
32	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	保菌	女	33	名東		20211201

番号	病名	菌型	ベロ毒素	区分	性別	年齢	区	海外渡航歴	診断年月日
33	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	保菌	女	6	名東		20211202
34	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	保菌	女	20	名東		20211218

表8 腸管出血性大腸菌感染症の月別・菌型別発生状況（令和3年・名古屋市）

月	患者数	内 訳（菌型別）															
		O157	O26	O111	O103	O165	O115	O63	O6	O145	O121	O91	O128	O28	O136	O166	不明
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	2	(1)	2	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	5	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	7	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	11	(2)	10	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
9	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	4	(1)	4	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	34	(4)	28	(4)	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

注1：診断日にて集計

注2：（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

表9 腸管出血性大腸菌感染症の年次別・菌型別発生状況（名古屋市）

年次	患者数	内 訳（菌型別）																									
		O157	O26	O111	O103	O165	O115	O63	O6	O145	O121	O91	O128	O28	O136	O166	不明										
21	54	(10)	41	(7)	7	(2)	-	-	1	-	-	-	1	-	1	(1)	3	-	-	-	-	-	-	-			
22	69	(16)	49	(9)	19	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
23	43	(20)	38	(18)	4	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
24	38	(8)	28	(7)	3	(1)	2	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-			
25	51	(9)	40	(6)	4	(1)	1	-	4	(2)	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-			
26	40	(9)	30	(6)	6	(2)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	(1)	-	-	-	-	1	-			
27	42	(9)	39	(9)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-			
28	37	(12)	28	(9)	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	(2)	1	-	-	-	-	1	(1)		
29	58	(8)	40	(3)	11	(3)	1	-	1	-	-	-	-	-	3	(1)	-	-	1	(1)	1	-	-	-	-		
30	53	(11)	40	(9)	4	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	1	(1)	-	-	1	(1)	-	-	3	-		
元	45	(10)	27	(5)	5	(1)	-	-	2	(1)	1	-	-	-	-	-	6	(2)	-	-	-	-	1	-	3	(1)	
2	42	(5)	18	(1)	10	(2)	3	-	4	(1)	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	(1)	-	3	-
3	34	(4)	28	(4)	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	

注1：診断日にて集計

注2：（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

表10 四類感染症発生状況（令和3年・名古屋市）

疾 病 名	発生数	備 考
E型肝炎	2	
웨스트ナイル熱(웨스트ナイル脳炎を含む。)	-	
A型肝炎	1	
エキノコックス症	-	
黄熱	-	
オウム病	-	
オムスク出血熱	-	
回帰熱	-	
キャサヌル森林病	-	
Q熱	-	
狂犬病	-	
コクシジオイデス症	-	
サル痘	-	
ジカウイルス感染症	-	
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	-	
腎症候性出血熱	-	
西部ウマ脳炎	-	
ダニ媒介脳炎	-	
炭疽	-	
チクングニア熱	-	
つつが虫病	1	
デング熱	-	
東部ウマ脳炎	-	
鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く。)	-	
ニパウイルス感染症	-	
日本紅斑熱	2	
日本脳炎	-	
ハンタウイルス肺症候群	-	
Bウイルス病	-	
鼻疽	-	
ブルセラ症	-	
ベネズエラウマ脳炎	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	
発しんチフス	-	
ボツリヌス症	-	
マラリア	-	
野兎病	-	
ライム病	-	
リッサウイルス感染症	-	
リフトバレー熱	-	
類鼻疽	-	
レジオネラ症	33	肺炎型：31、ポンティアック熱型：0 無症状病原体保有者：2
レプトスピラ症	-	
ロッキー山紅斑熱	-	
合計	39	

表11 四類感染症月別発生状況（令和3年・名古屋市）

月	総数	E型肝炎	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）	A型肝炎	エキノコックス症	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キヤサヌル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	サル痘	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
合計	39	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

月	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及びH7N9）を除く。）	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ベネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発しんチフス	ボツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
合計	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-

表12 四類感染症区別発生状況（令和3年・名古屋市）

区	総数	E型肝炎	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	A型肝炎	エキノコックス症	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キヤサスル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	サル痘	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
千種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中村	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
瑞穂	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
熱田	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中川	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
港	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
守山	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緑	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名東	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天白	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	39	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

区	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く。）	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ベネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発しんチフス	ポツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱	
千種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
中村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
中	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
昭和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
瑞穂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
熱田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
中川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
守山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
緑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
名東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
天白	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
合計	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-

表13 五類感染症（全数把握）発生状況（令和3年・名古屋市）

疾病名	発生数	備考
アメーバ赤痢	14	腸管アメーバ症:14、腸管及び腸管外アメーバ症:0
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	2	B型:2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	57	
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	2	病原体不明:2
急性弛緩性麻痺	1	病原体不明:1
クロイツフェルト・ヤコブ病	3	古典型CJD:3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	30	
後天性免疫不全症候群	69	AIDS:23、無症候:46
侵襲性インフルエンザ菌感染症	10	
侵襲性肺炎球菌感染症	41	
水痘(入院例に限る。)	4	検査診断例:3、臨床診断例:1
梅毒	229	先天梅毒:2、早期顕症I期:76、早期顕症II期:83、晩期顕症:1、無症候:67
播種性クリプトコックス症	4	
破傷風	1	
百日咳	36	
合計	503	

表14 五類感染症（全数把握）月別発生状況（令和3年・名古屋市）

月	合計	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	急性弛緩性麻痺	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例に限る。）	梅毒	播種性クリプトコックス症	百日咳	破傷風
1	41	3	-	2	-	-	-	5	7	1	1	-	21	-	-	1
2	35	-	1	3	-	-	-	3	8	2	-	-	17	-	1	-
3	42	-	-	4	-	1	1	4	7	-	6	-	16	-	3	-
4	38	-	-	5	-	-	-	3	6	-	9	-	11	-	4	-
5	40	1	-	4	1	-	-	3	6	1	3	-	15	1	5	-
6	49	-	-	6	-	-	1	3	8	1	3	-	21	-	6	-
7	50	2	1	8	-	-	-	4	6	2	1	1	20	-	5	-
8	43	2	-	5	-	-	1	-	8	-	3	1	14	2	7	-
9	35	2	-	5	1	-	-	1	2	-	1	1	21	1	-	-
10	45	-	-	8	-	-	-	4	2	1	4	-	25	-	1	-
11	46	3	-	2	-	-	-	-	5	1	7	1	26	-	1	-
12	39	1	-	5	-	-	-	-	4	1	3	-	22	-	3	-
合計	503	14	2	-	2	1	3	30	69	10	41	4	229	4	36	1

表15 五類感染症（全数把握）区別発生状況（令和3年・名古屋市）

区	合計	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	急性弛緩性麻痺	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例に限る。）	梅毒	播種性クリプトコックス症	百日咳	破傷風
千種	21	2	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-
東	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-
北	17	-	-	3	-	-	-	2	1	-	1	1	9	-	-	-
西	48	-	-	5	-	-	-	3	-	-	2	-	5	-	33	-
中村	37	1	-	1	-	-	1	2	3	2	10	-	16	1	-	-
中	162	3	-	1	-	-	-	4	59	1	2	-	92	-	-	-
昭和	54	3	1	17	-	-	-	4	3	2	8	2	13	1	-	-
瑞穂	23	1	-	4	-	-	1	2	-	3	2	1	9	-	-	-
熱田	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	-	-	-
中川	55	1	1	9	-	-	1	8	2	-	6	-	24	2	1	-
港	7	-	-	3	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	1
南	35	1	-	2	2	1	-	1	1	-	8	-	18	-	1	-
守山	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
緑	4	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-
名東	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
天白	8	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	3	-	-	-
合計	503	14	2	57	2	1	3	30	69	10	41	4	229	4	36	1

(2) 五類感染症（定点把握）の発生状況（令和3年）

7 五類感染症（定点把握）の各月毎の発生状況

五類感染症（定点把握）の本市における各月毎の発生状況（令和3年1月～令和3年12月）は以下のとおりです。

<令和3年1月分（第1週～第4週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（367件：前月期比1.14倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（71件：前月期比0.56倍）③咽頭結膜炎（57件：前月期比0.55倍）の順となっています。

<令和3年2月分（第5週～第8週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（466件：前月期比1.27倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（79件：前月期比1.11倍）③咽頭結膜炎（55件：前月期比0.96倍）の順となっています。

<令和3年3月分（第9週～第13週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（322件：前月期比0.69倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（127件：前月期比1.61倍）③咽頭結膜炎（103件：前月期比1.87倍）の順となっています。

<令和3年4月分（第14週～第17週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（777件：前月期比2.41倍）②RSウイルス感染症（112件：前月期比112倍）③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（84件：前月期比0.66倍）の順となっています。

<令和3年5月分（第18週～第21週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（801件：前月期比1.03倍）②RSウイルス感染症（383件：前月期比3.42倍）③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（80件：前月期比0.95倍）の順となっています。

<令和3年6月分（第22週～第26週）>

報告数の多い疾病は、①RSウイルス感染症（1,172件：前月期比3.06倍）②感染性胃腸炎（805件：前月期比1.00倍）③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（143件：前月期比1.79倍）の順となっています。

<令和3年7月分（第27週～第30週）>

報告数の多い疾病は、①RSウイルス感染症（628件：前月期比0.54倍）②感染性胃腸炎（339件：前月期比0.42倍）③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（112件：前月期比0.78倍）の順となっています。

<令和3年8月分（第31週～第34週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（300件：前月期比0.88倍）②RSウイルス感染症（178件：前月期比0.28倍）③ヘルパンギーナ（158件：前月期比2.87倍）の順となっています。

<令和3年9月分（第35週～第39週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（419件：前月期比1.40倍）②ヘルパンギーナ（338件：前月期比2.14倍）③RSウイルス感染症（80件：前月期比0.45倍）の順となっています。

<令和3年10月分（第40週～第43週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（288件：前月期比0.69倍）②ヘルパンギーナ（158件：前月期比0.47倍）③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（75件：前月期比1.17倍）の順となっています。

<令和3年11月分（第44週～第47週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（466件：前月期比1.62倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（63件：前月期比0.84倍）③突発性発しん（44件：前月期比1.16倍）の順となっています。

<令和3年12月分（第48週～第52週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（1,221件：前月期比2.62倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（102件：前月期比1.62倍）③手足口病（93件：前月期比2.27倍）の順となっています。

主なトピックス

令和3年1月分「水痘（みずぼうそう） ～感染力が強く、冬から春に流行します～」

水痘は、「みずぼうそう」とも呼ばれ、水痘・帯状疱疹ウイルスを病原体とする感染症です。感染力は麻疹（はしか）に次いで強く、おもに空気感染により感染し、幼稚園や保育園などでも流行しやすいのが特徴です。好発年齢は幼児、学童期前半であり、冬から春に流行がみられます。

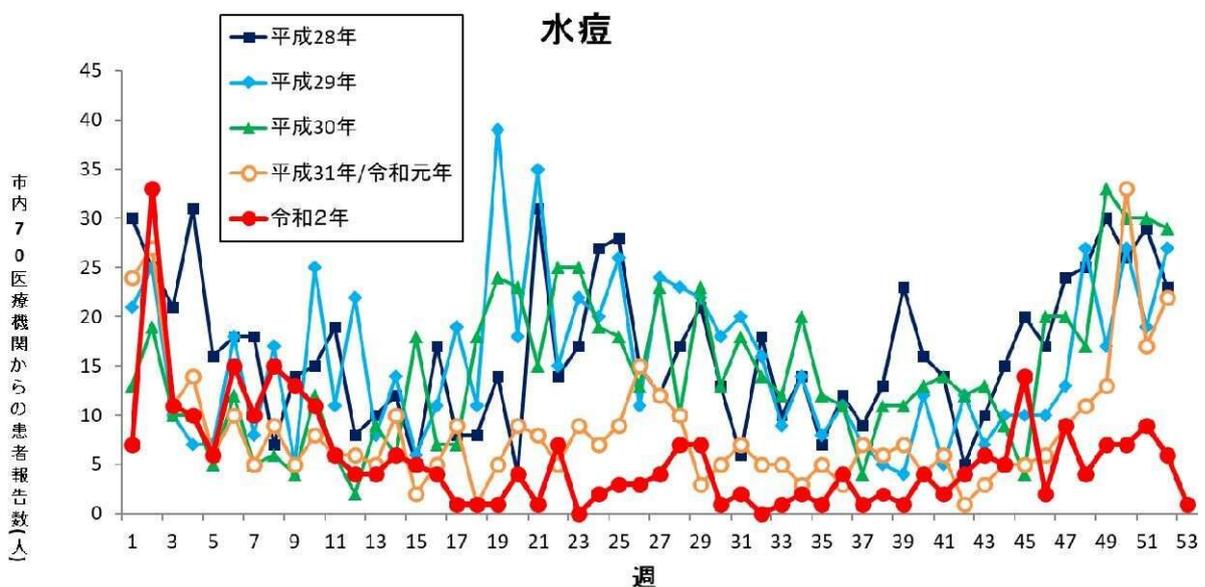
この疾病は、患者の水疱や粘膜からの分泌物が感染源となり、それらにより汚染された物品も感染源になります。潜伏期間は2週間程度（10～21日）といわれ、子どもでは通常発疹が初発症状で、成人では発疹が出る前に発熱と全身倦怠感を伴うことがあります。発疹は全身性でかゆみを伴い、紅斑、丘疹を経て、2～3日のうちに水疱となり、その後、痂皮（かさぶた）化します。まれに重症化して、肺炎や脳炎を起こし、死亡することもあります。

発疹出現の1～2日前から痂皮（かさぶた）化するまで、感染性がありますので注意して下さい。発疹や発熱などの症状がみられた場合は、なるべく早く医療機関を受診しましょう。

最も効果的な予防方法は予防接種になりますので、感染の予防のために、1歳になったら早めに接種を受けましょう。また、水痘にかかったことがなく、予防接種を受けていない場合は、成人でも感染し、子どもに比べて重症になる傾向がありますから、接種することをお勧めします。

定期予防接種	対象年齢 (無料で受けられる年齢)	接種回数	接種間隔
水痘 (みずぼうそう)	1歳～3歳未満 ※過去に水痘にかかったことがある方を除く	2回	6～12か月の間隔 (最低3か月以上)

平成26年10月1日から定期接種化



市内70医療機関からの患者報告数(人) (過去5年間)

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年/令和元年	令和2年
患者報告数(人)	861	808	757	443	296

令和3年5月分「RSウイルス感染症 ～報告数増加～」

RSウイルス感染症は、RSウイルスによる呼吸器の感染症です。感染後、典型的には4～6日間の潜伏期間を経て発症し、発熱、鼻汁、咳等の症状が2～3日続きます。生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%が初感染するとされています。RSウイルスは生涯にわたって感染を繰り返し、幼児期における再感染での発症はよくみられます。5月期における市内の報告数は、2歳以上が約26%となっています。成人では通常は感冒様症状のみですが、RSウイルスに感染した小児を看護する保護者では、一度に大量のウイルスに曝露して感染することによって、症状が重くなる場合があります。

5月期の報告数は先月期の3倍以上に増加しており、注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染やウイルスがついている手指や物品（ドアノブ等）を触ることによる接触感染です。

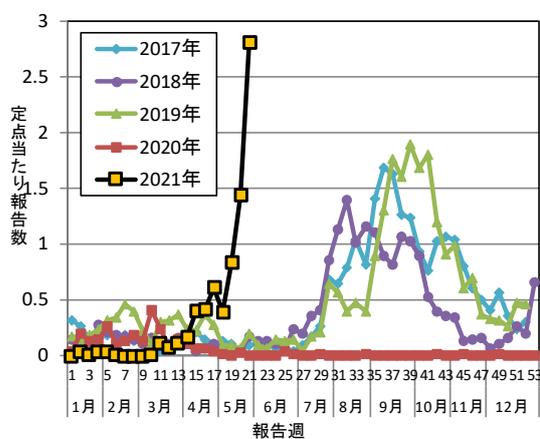
RSウイルス感染症には特効薬はなく、対症療法を行います。咳等の呼吸器症状のある場合は、マスクを着用して周囲への感染を防ぎましょう。また、おもちゃや手すり等は、こまめにアルコール等で消毒し、流水と石けんによる手洗いを行い、感染を防ぎましょう。

なお、予防方法として、モノクローナル抗体製剤であるパリビズマブの投与があります。RSウイルス感染症の流行初期に投与し始めて流行期も引き続き1か月毎に筋肉注射することにより、重篤な下気道炎症状の発症の抑制が期待できます。投与対象患者は以下の方です。

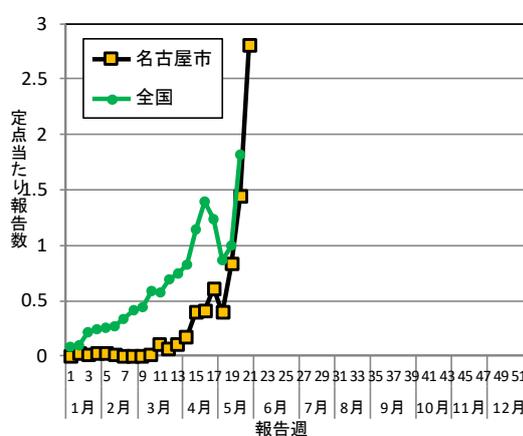
- ・在胎期間28週以下の早産で、12カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・在胎期間29～35週の早産で、6カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・過去6カ月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた24カ月齢以下の新生児、乳児及び幼児
- ・24カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児
- ・24カ月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児および幼児*
- ・24カ月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児および幼児*

*本剤の添付文書では、投与に際しては学会等から提唱されているガイドライン等を参考とし、個々の症例ごとに本剤の適用を考慮すること、とされています。

RSウイルス感染症患者報告数(名古屋市)



RSウイルス感染症患者報告数(2021年)



※名古屋市は2021年第21週、全国は2021年第20週までの報告数

令和3年10月分 《インフルエンザ 予防と早めの治療を心がけましょう》

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。感染すると、1～3日間の潜伏期間を経て、38℃以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、関節痛、筋肉痛などの症状が突然出現します。いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴です。

高齢者や幼児、妊婦、持病のある方は重症化する危険があるので特に注意が必要です。該当する方はインフルエンザの予防接種を早めに受けるようにしてください。

なお、名古屋市内のインフルエンザの流行状況や今後学級閉鎖等が発生した際は、本市ウェブサイトに掲載していきますので、ご参照ください。

(URL : <http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0.html>)

・予防するには…

- 人ごみ等への不要不急な外出を控え、帰宅時には石けんによる手洗いをしましょう。
- バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠をとり、体調を整えましょう。

・早めの治療を…

- かかったかなと思ったら、かかりつけの医療機関に相談しましょう。
- 安静にして、十分な休養をとり、水分を補給しましょう。

・感染を広げないために…

- 感染を広げないためにも、『咳エチケット』を守りましょう。

～『咳エチケット』とは～

- ◎咳やくしゃみの際にはハンカチやティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◎使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◎症状のある人はマスクを正しく着用し、周囲への感染防止に努めましょう。

「参考」

・出席停止期間（学校保健安全法）

- 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで。

令和3年11月分 《梅毒》

近年、梅毒は全国的に報告数が多く、平成29年から4年連続で、5,000件を超えています。名古屋市においても同様に平成28年頃から報告数が多くなりました。令和2年は168件の報告があり、平成30年から2年連続で減少していますが、それでも平成27年と比べると約1.9倍の件数となっています。

梅毒は、妊娠している人が感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産等が起こること（先天梅毒）があることから、特に注意が必要です。

主な感染経路は、感染部位と粘膜や皮膚との直接の接触（性的接触）です。性的接触がある場合は、コンドームを使用しましょう。また、梅毒は終生免疫が得られず、一度治っても再び感染することがあるため、パートナーと一緒に検査・治療をすることが大切です。皮膚や粘膜に異常があった場合は、性的接触を控え、早めに医療機関を受診しましょう。

市内の保健センターでは、平日昼間HIV検査とあわせて梅毒検査を無料・匿名で実施していますので、感染が心配な方は、検査を受けるようにしましょう。

詳しくは本市公式サブサイト「なごやHIV・性感染症ガイド」をご参照ください。

(URL ; <https://www.hiv-stiguide.city.nagoya.jp/>)

(件) 図1 本市の男女別梅毒発生件数の推移

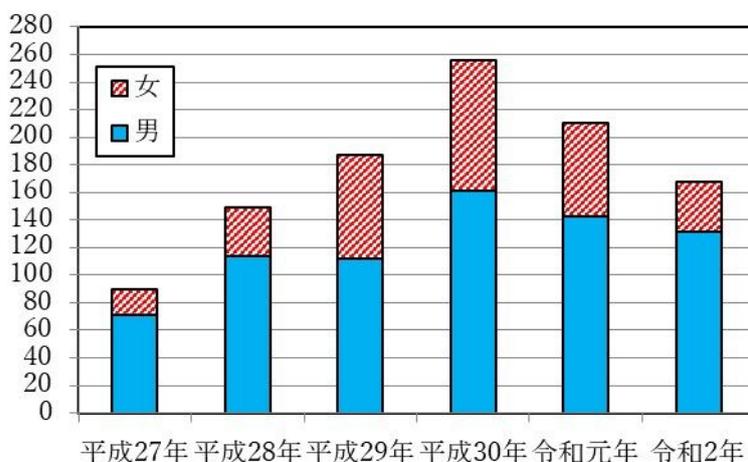


図2 全国の男女別梅毒発生件数の推移

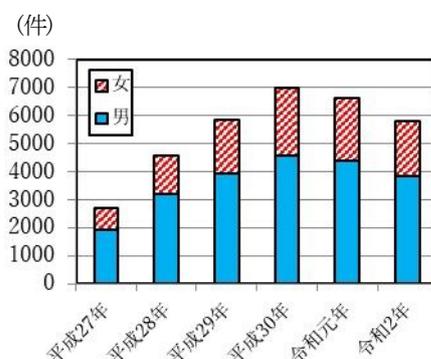


表 本市の男女別梅毒発生件数

年次	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
男	71	114	112	161	143	131
女	19	35	75	95	67	37
合計	90	149	187	256	210	168

令和3年12月分<<感染性胃腸炎 例年に近い感染状況となっております>>

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌によって起こる胃腸障害の総称です。一年を通して発生はみられますが、毎年11月頃から報告数が増加し始め、冬季に流行のピークを迎えます。

感染性胃腸炎の病原体のひとつであるノロウイルスは、感染力が非常に強く、食品・人などから感染し、家庭内や集団生活の場で広がることもあります。

冬季に流行する感染症の予防のために手洗い、うがい、体調管理に努めましょう。

【ノロウイルスによる感染性胃腸炎について】

(1) 感染経路

- ・経口感染 (ノロウイルスに汚染された二枚貝や、感染者の手指等を介して汚染された食品を食べたことによる感染)
- ・接触感染 (感染者が触れたドアノブや、嘔吐物、下痢便が付着したものを介した感染)
- ・塵埃感染 (感染者の嘔吐物等が乾燥して、舞い上がったノロウイルスを吸い込むことによる感染)

(2) 症状等

感染した後、24～48時間の潜伏期間を経て、嘔吐、下痢、腹痛、発熱等の症状が出ます。通常、1～2日程度で回復しますが、乳幼児や高齢者では、重症化(脱水症状、嘔吐物が肺に進入することによる肺炎等)することもあるため注意が必要です。また、感染しても発症しない場合もあります。

(3) 予防方法

ワクチンや特異的な治療法がないため、予防することが重要です。①手洗いをしっかりする、②食品は十分（中心部が85℃～90℃で90秒以上）加熱する、③調理器具などを適切に洗浄・消毒する、④嘔吐物等は適切に処理する、⑤感染者が触れたドアノブ等を消毒する、を心がけ予防しましょう。

(4) 消毒方法

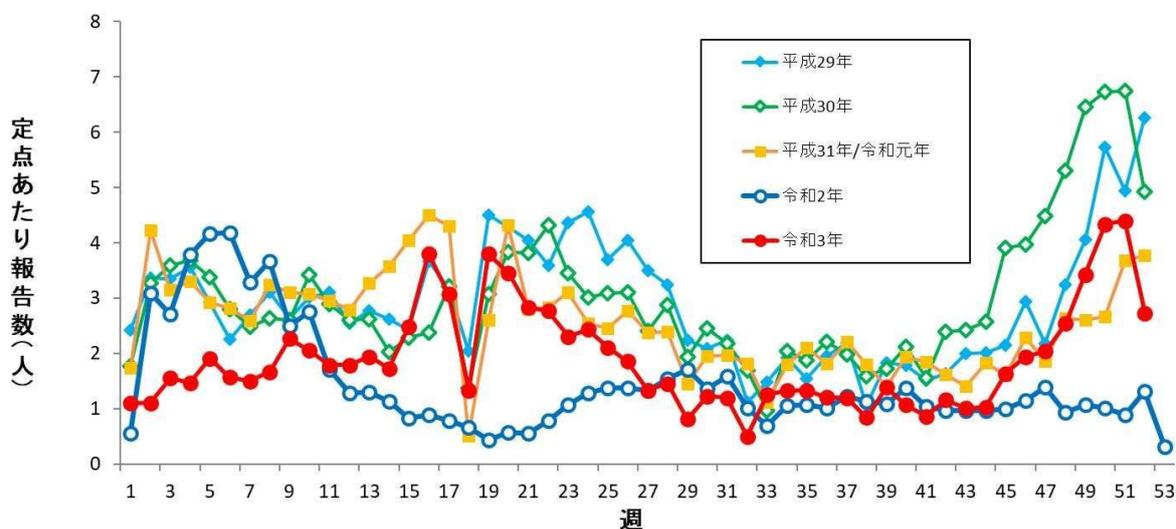
汚染物の消毒には、石けんや消毒用アルコールの消毒効果は十分ではなく、85℃～90℃で90秒以上の加熱または塩素系消毒剤（次亜塩素酸ナトリウム）による消毒が効果的です（消毒後は水拭きをして消毒剤をよく拭き取ってください）。

(5) ノロウイルスに関するQ&A

厚生労働省のホームページをご覧ください。
（右の二次元バーコードから読み込めます。）



感染性胃腸炎の定点あたり報告数の推移(名古屋市)



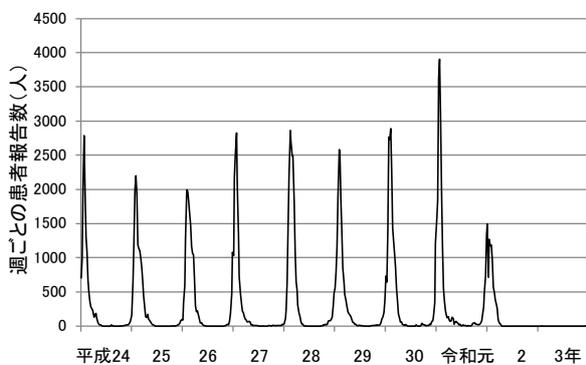
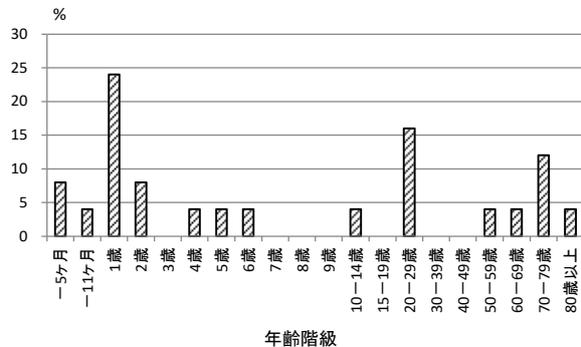
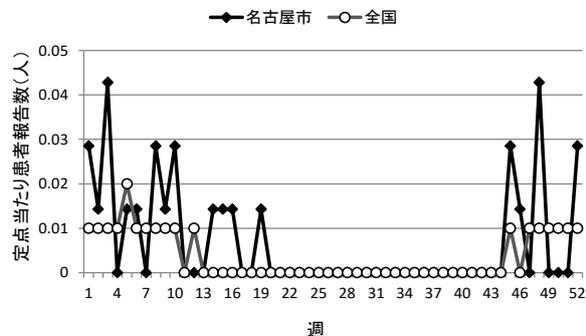
イ 五類感染症(定点把握)発生状況の推移等(令和3年)

疾病ごとの週別、月別報告件数の推移及び年齢別患者分布状況は下記のとおりです。

なお、インフルエンザ定点、小児科定点及び眼科定点からの報告数については、年次推移もあわせて掲載しております。

○ インフルエンザ定点(週報)

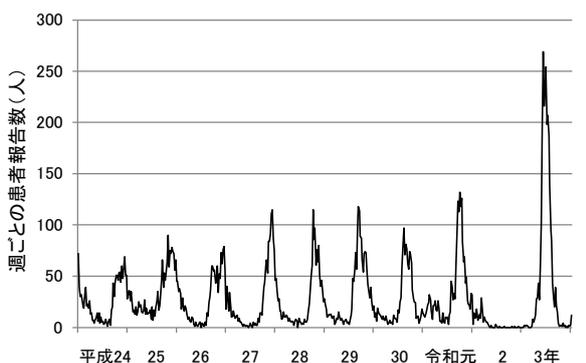
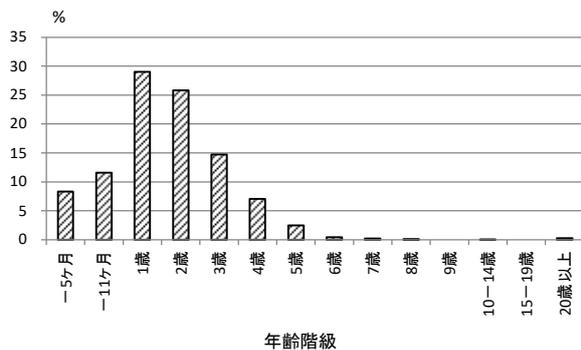
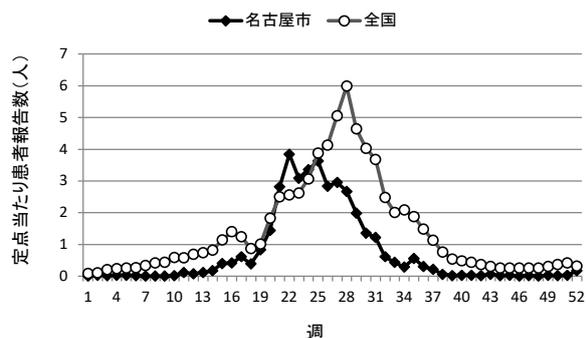
・インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)



※ 年間の患者報告数は25人(定点・週当たり患者報告数平均0.01人)で、これまでの10年間で最も少なかった。

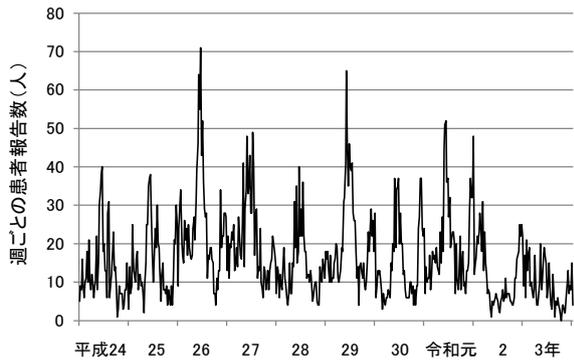
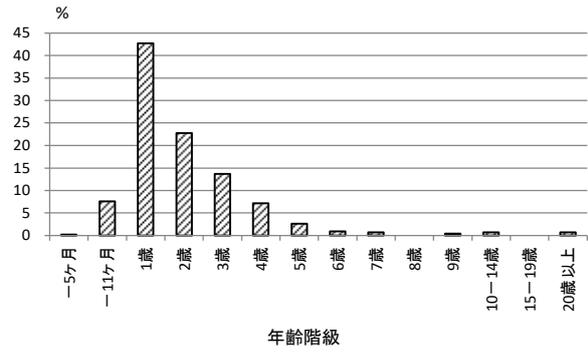
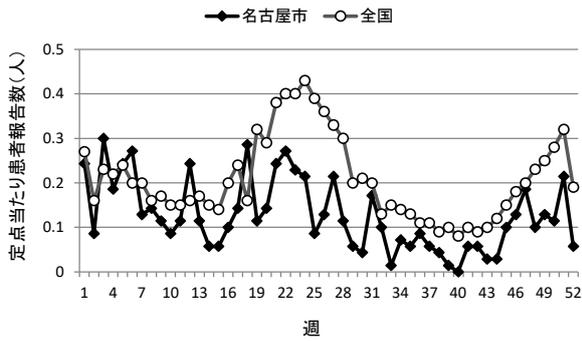
○ 小児科定点(週報)

・RSウイルス感染症



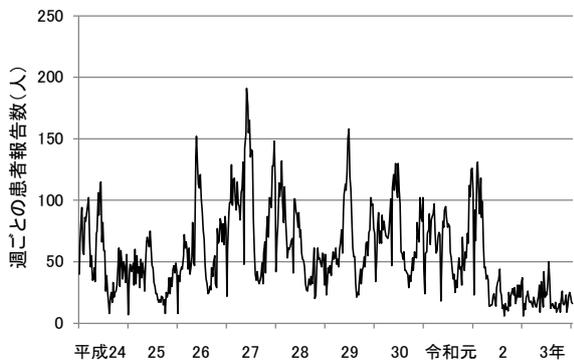
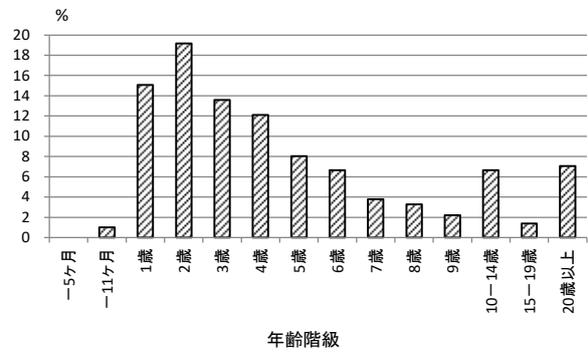
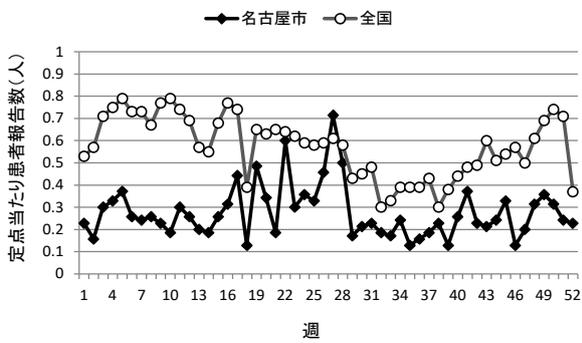
※ 年間の患者報告数は2613人(定点・週当たり患者報告数平均0.72人)で、これまでの10年間で最も多かった。

・咽頭結膜熱



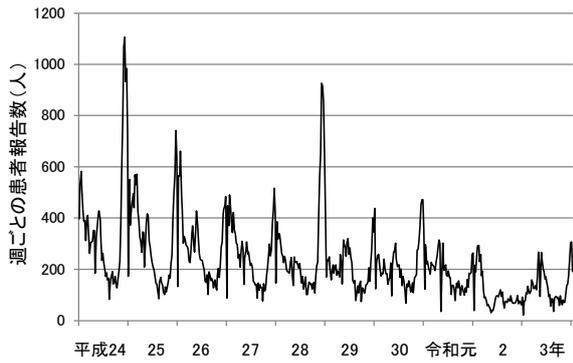
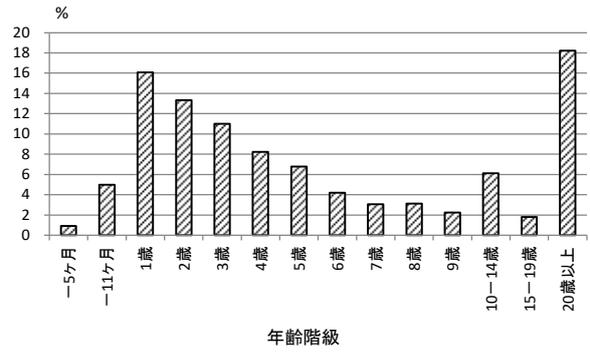
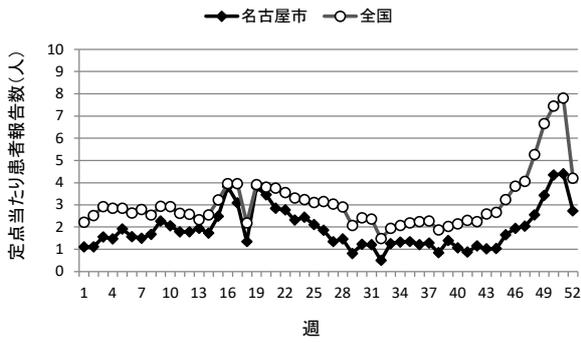
※ 年間の患者報告数は 461 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.13 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



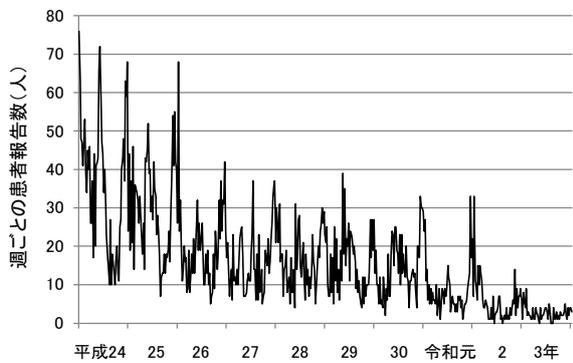
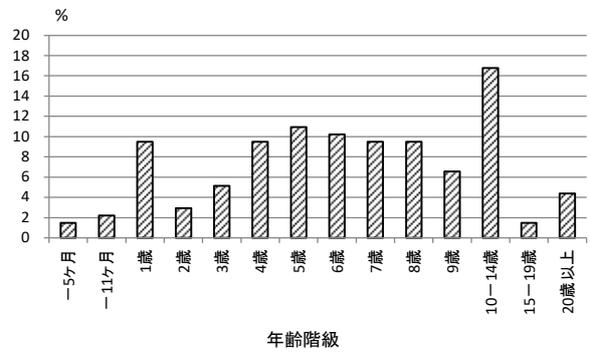
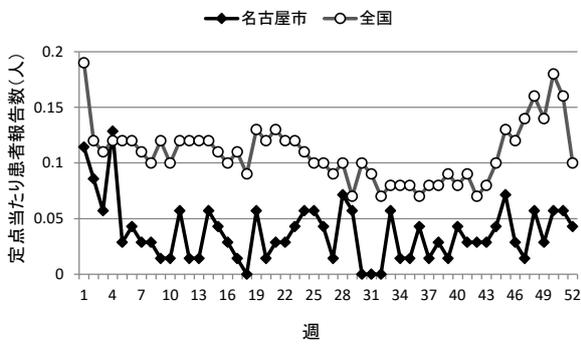
※ 年間の患者報告数は 1,007 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.28 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

・ 感染性胃腸炎



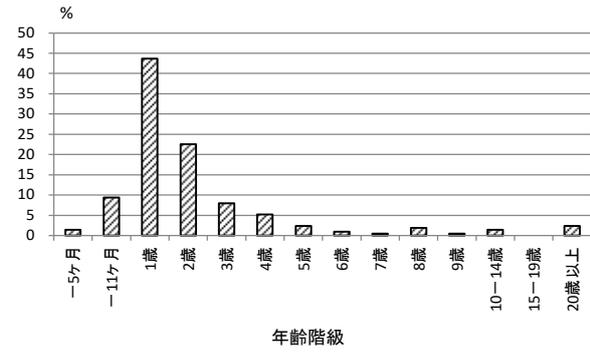
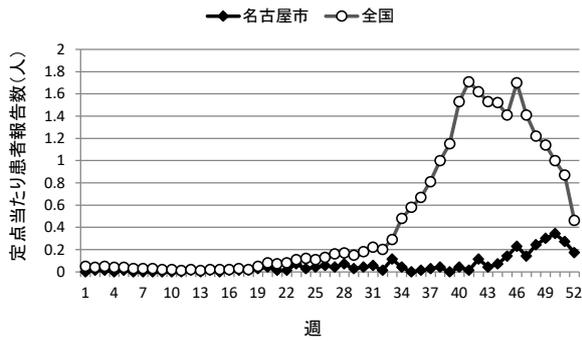
※ 年間の患者報告数は 6,945 人（定点・週当たり患者報告数平均 1.91 人）で、これまでの 10 年間で 2 番目に少なかった。

・ 水痘

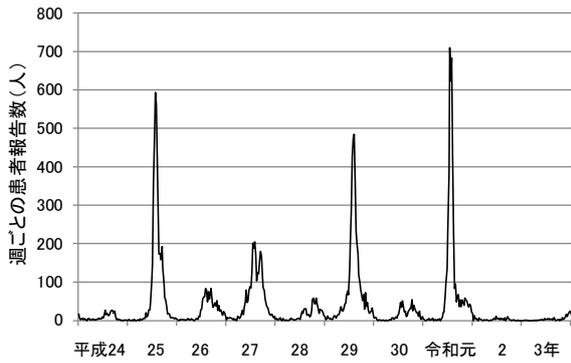


※ 年間の患者報告数は 137 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.04 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

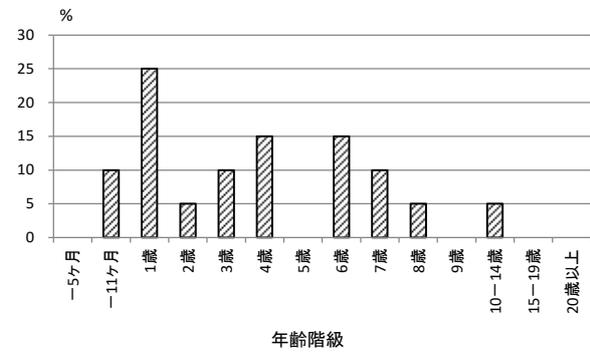
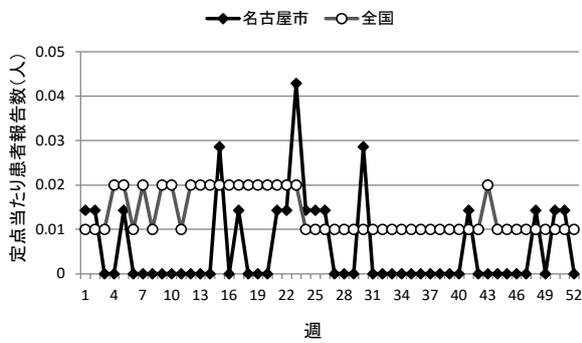
・手足口病



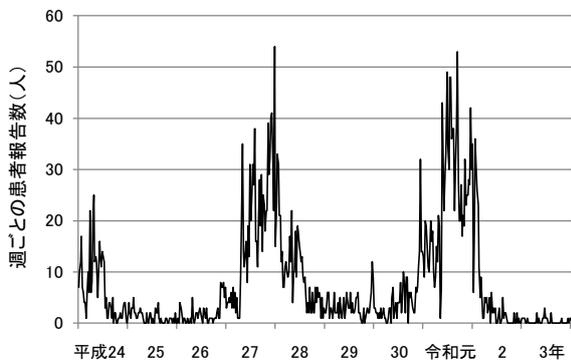
※ 年間の患者報告数は 213 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.06 人）で、これまでの 10 年間で 2 番目に少なかった。



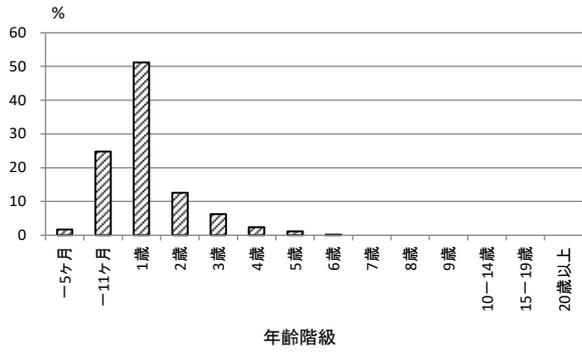
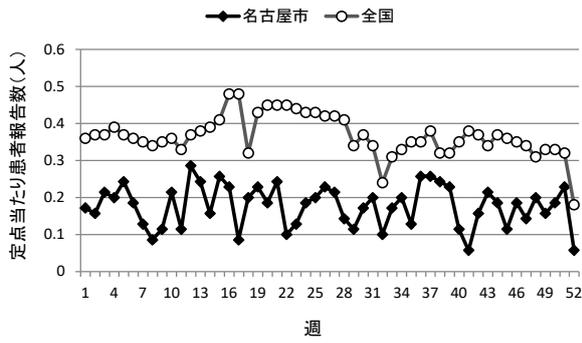
・伝染性紅斑



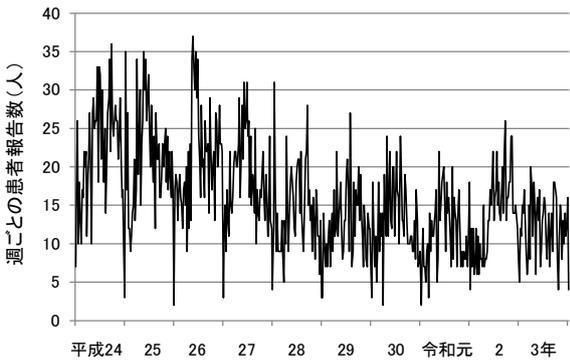
※ 年間の患者報告数は 20 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.01 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。



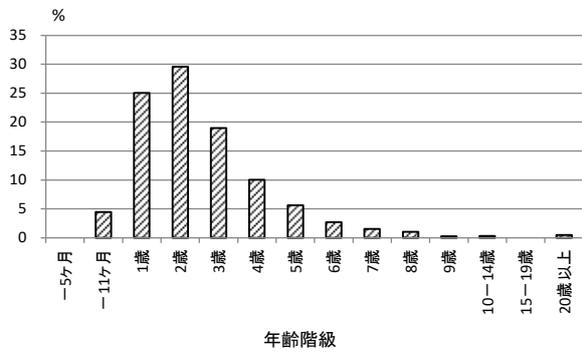
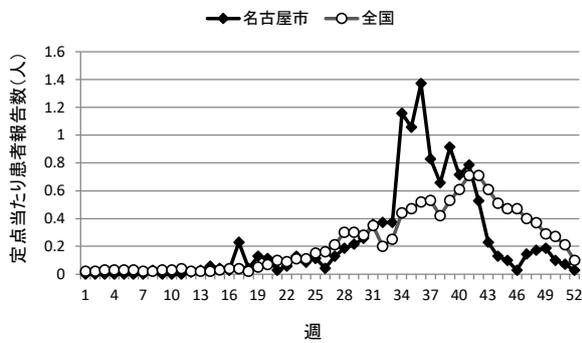
・突発性発しん



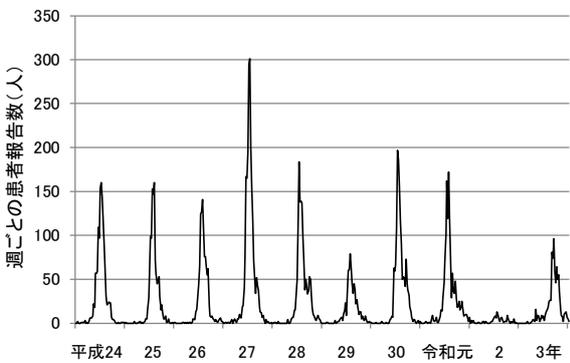
※ 年間の患者報告数は 645 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.18 人）で、これまでの 10 年間で 2 番目に少なかった。



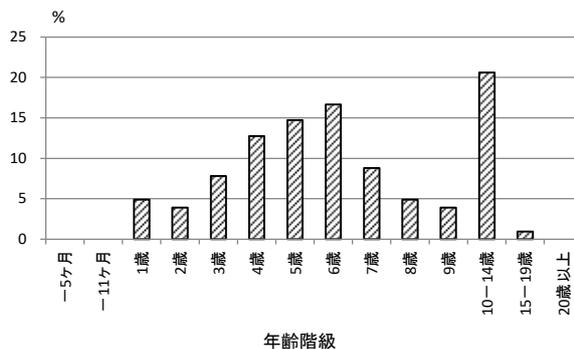
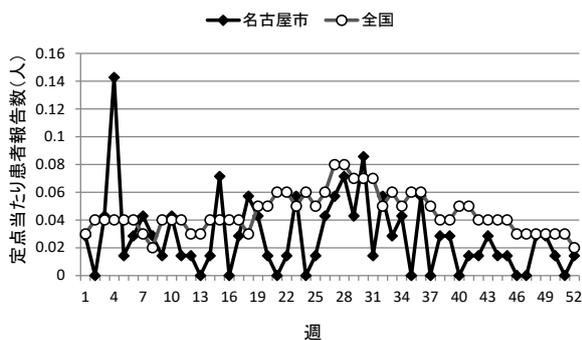
・ヘルパンギーナ



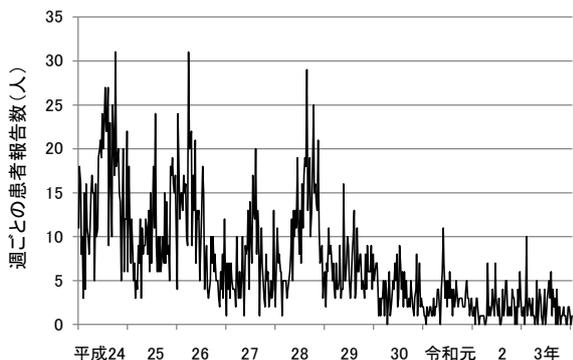
※ 年間の患者報告数は 858 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.24 人）で、これまでの 10 年間で 3 番目に少なかった。



・流行性耳下腺炎

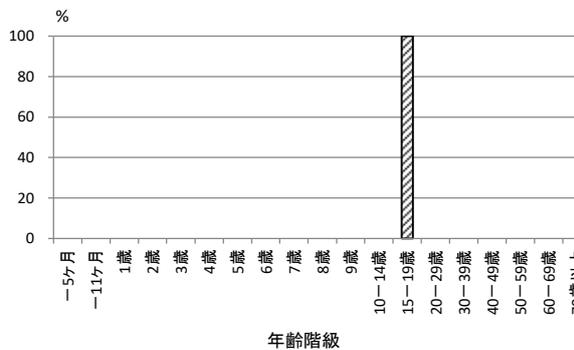
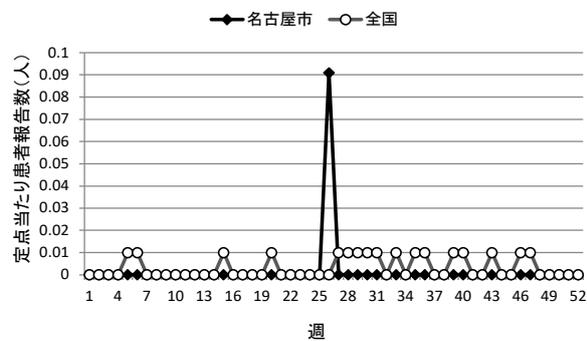


※ 年間の患者報告数は 102 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.03 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

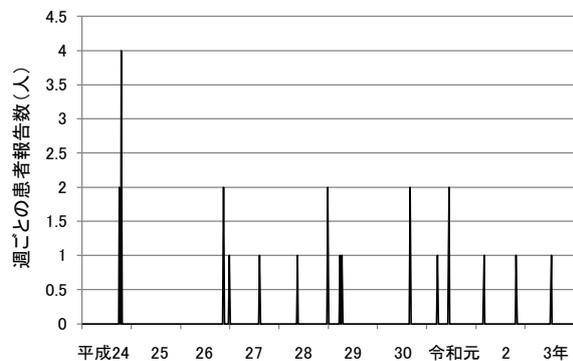


○ 眼科定点（週報）

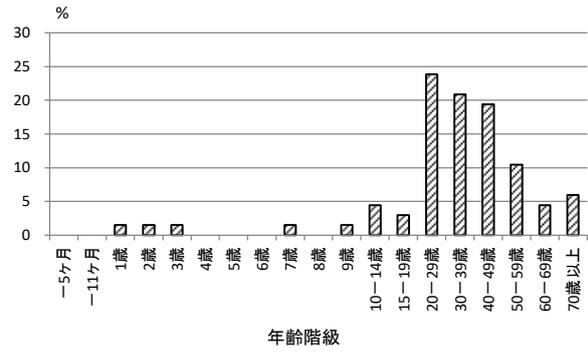
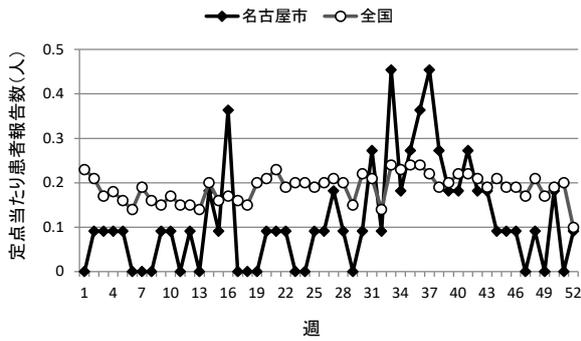
・急性出血性結膜炎



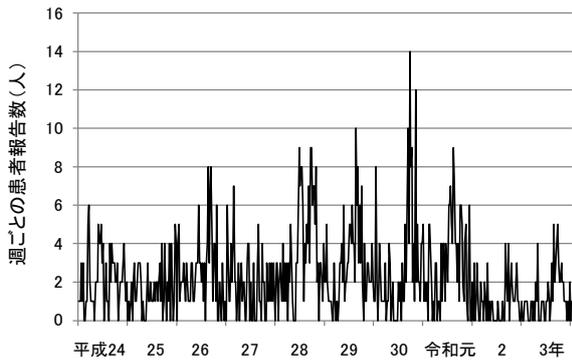
※ 年間の患者報告数は 1 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.002 人）であった。



・流行性角結膜炎

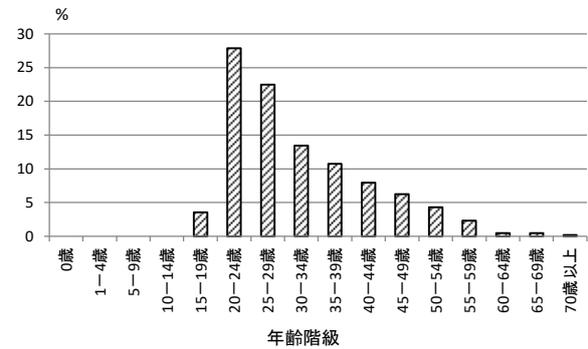
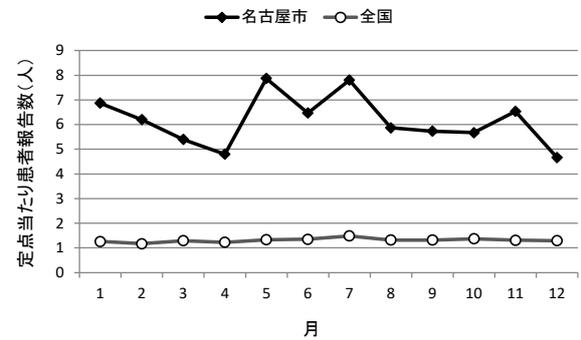


※ 年間の患者報告数は67人（定点・週当たり患者報告数平均0.12人）で、これまでの10年間で2番目に少なかった。



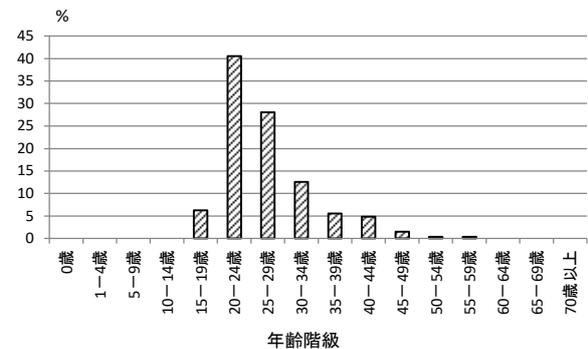
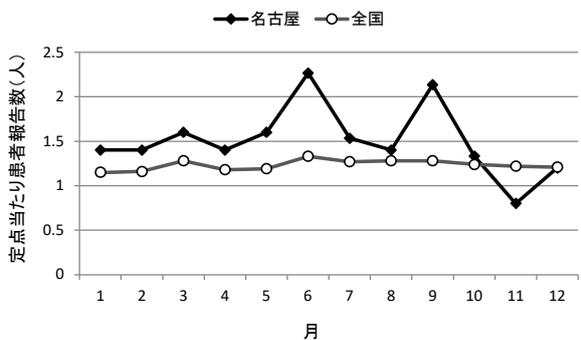
○ STD 定点（月報）

・性器クラミジア感染症
【男性】



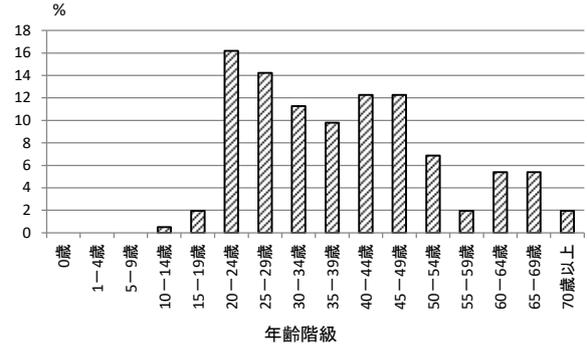
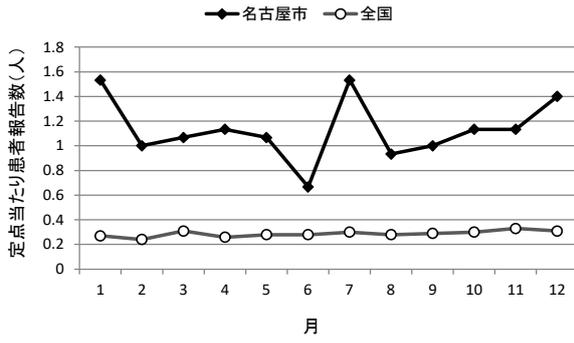
※ 年間の患者報告数は1,108人（定点・月当たり患者報告数平均6.16人）であった。

【女性】



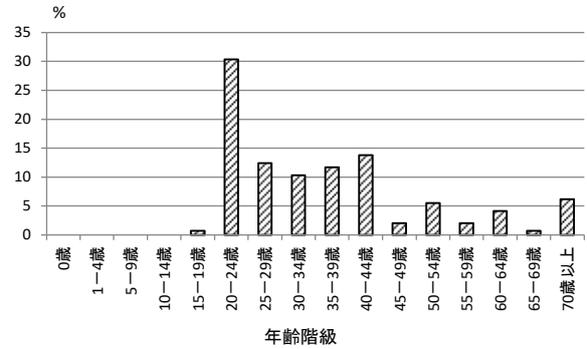
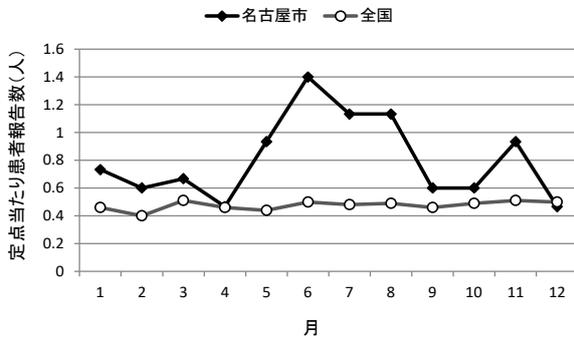
※ 年間の患者報告数は271人（定点・月当たり患者報告数平均1.51人）であった。

・性器ヘルペスウイルス感染症
【男性】



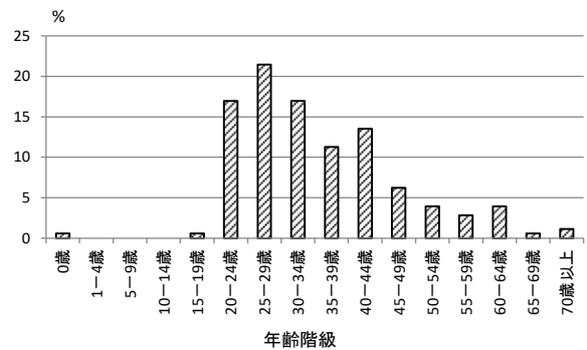
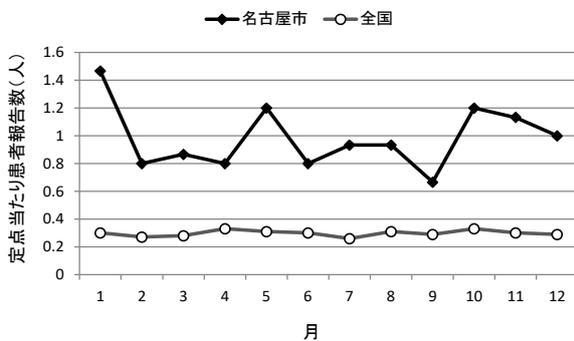
※ 年間の患者報告数は204人(定点・月当たり患者報告数平均1.13人)であった。

【女性】



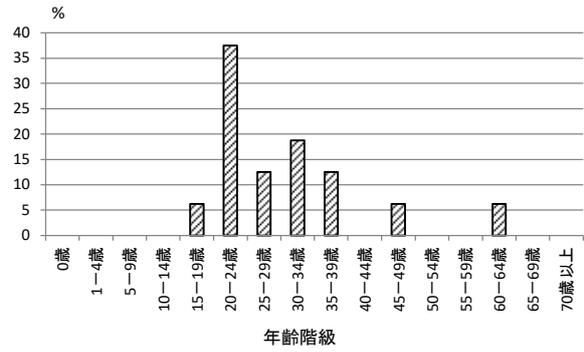
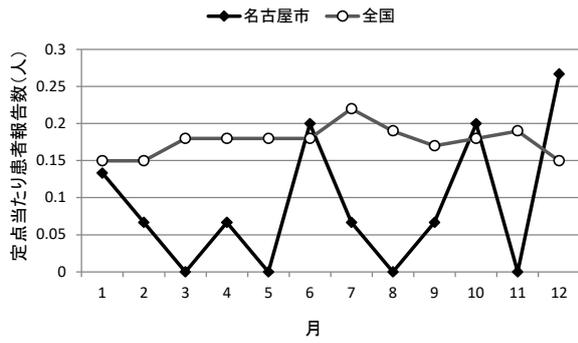
※ 年間の患者報告数は145人(定点・月当たり患者報告数平均0.81人)であった。

・尖圭コンジローマ
【男性】



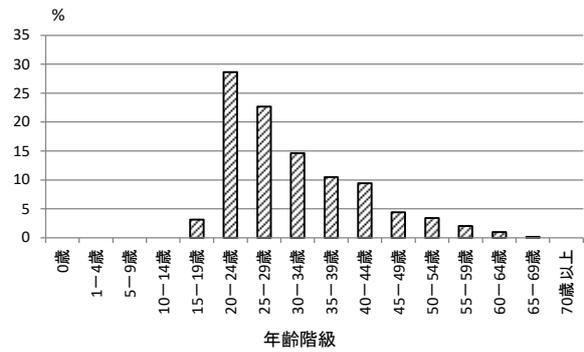
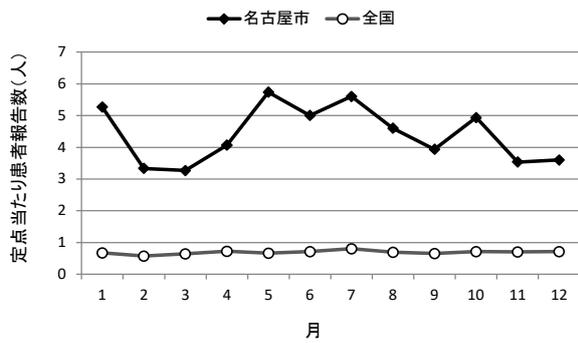
※ 年間の患者報告数は177人(定点・月当たり患者報告数平均0.98人)であった。

【女性】



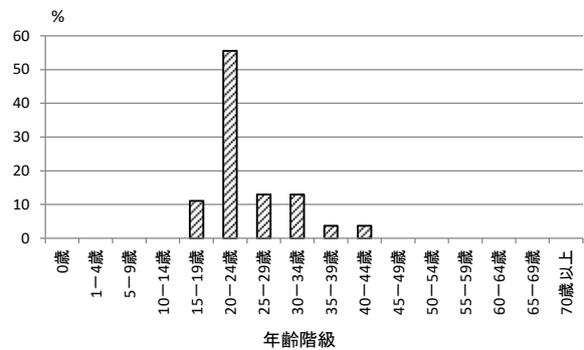
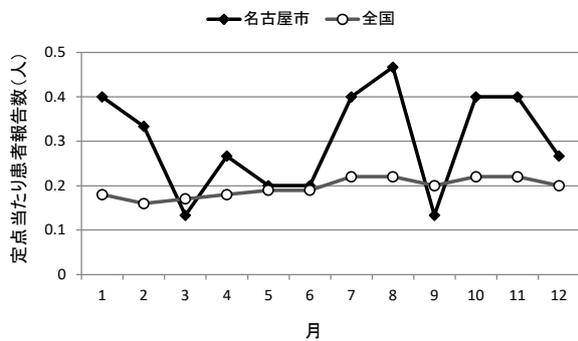
※ 年間の患者報告数は16人（定点・月当たり患者報告数平均0.09人）であった。

・ 淋菌感染症
【男性】



※ 年間の患者報告数は793人（定点・月当たり患者報告数平均4.41人）であった。

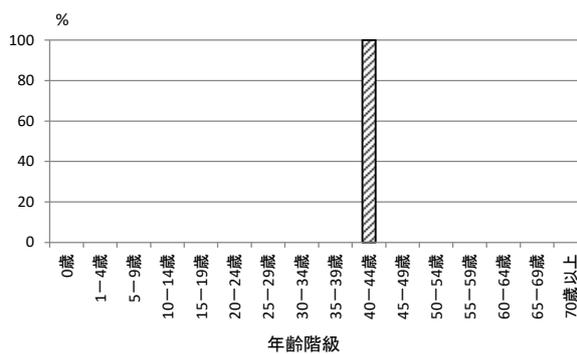
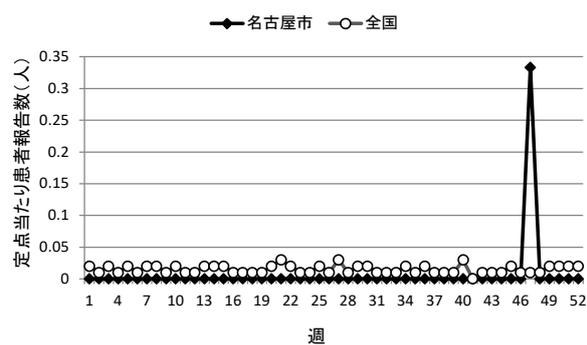
【女性】



※ 年間の患者報告数は54人（定点・月当たり患者報告数平均0.30人）であった。

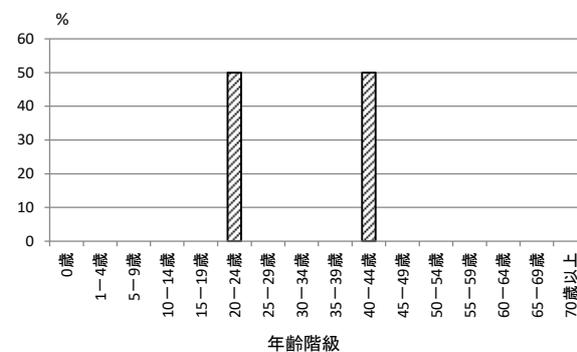
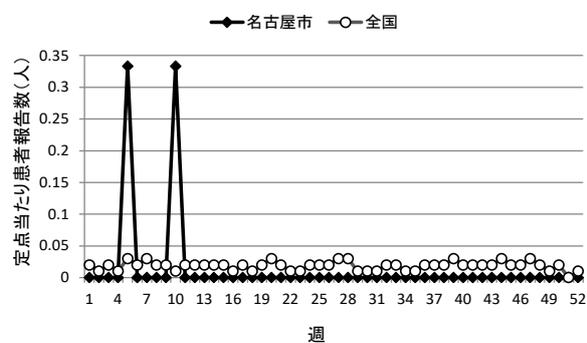
○ 基幹定点（週報）

- ・細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。）



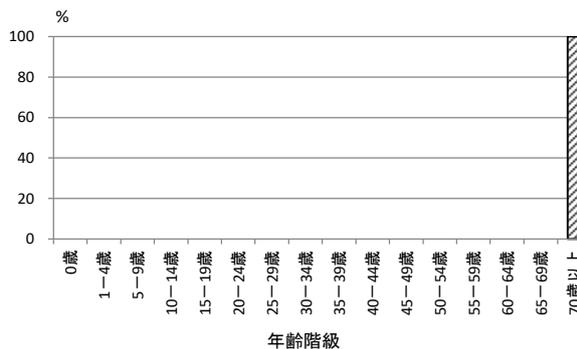
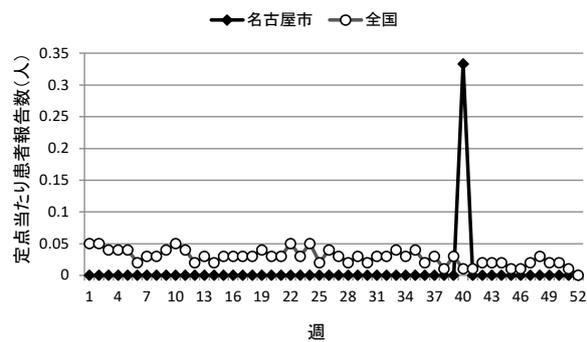
※ 年間の患者報告数は1人（定点・週当たり患者報告数平均0.01人）であった。

・無菌性髄膜炎



※ 年間の患者報告数は2人（定点・週当たり患者報告数平均0.01人）であった。

・マイコプラズマ肺炎



※ 年間の患者報告数は1人（定点・週当たり患者報告数平均0.01人）であった。

・クラミジア肺炎（オウム病を除く）

※ 報告はなかった。

・感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

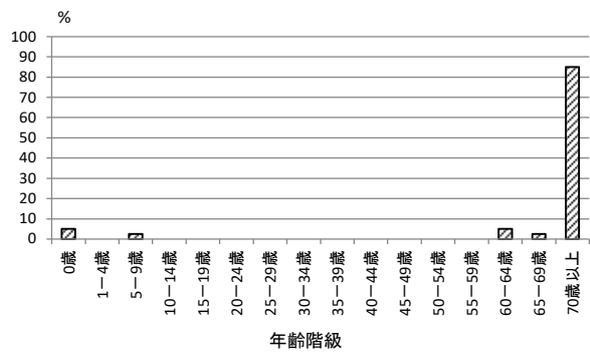
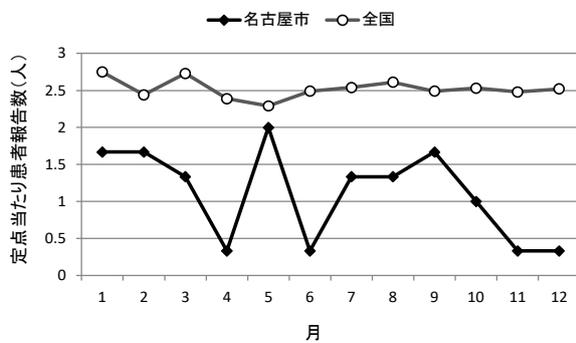
※ 報告はなかった。

・インフルエンザによる入院患者の報告

※ 報告はなかった。

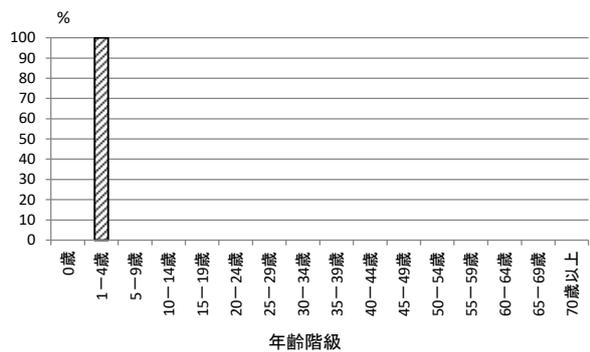
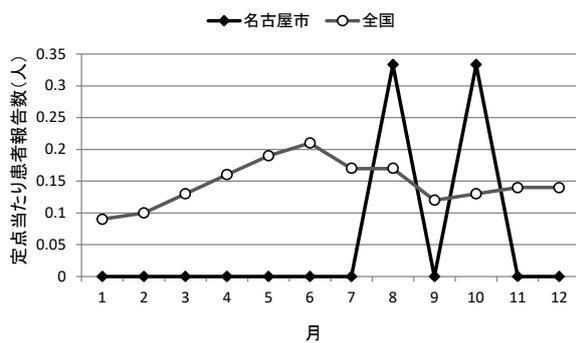
○ 基幹定点（月報）

・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



※ 年間の患者報告数は40人（定点・月当たり患者報告数平均1.11人）であった。

・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



※ 年間の患者報告数は2人（定点・月当たり患者報告数平均0.06人）であった。

・薬剤耐性緑膿菌感染症

※ 報告はなかった。

表1 週報対象疾病週別患者発生状況(令和3年・名古屋市)

月	週	合計	インフルエンザ等感染症(インフルエンザ及び新型インフルエンザを除く)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ
1	1	135	2	—	17	16	77	8	—	1	12	—
	2	118	1	2	6	11	78	6	1	1	11	—
	3	179	3	1	21	21	109	4	1	—	15	—
	4	175	—	2	13	23	103	9	—	—	14	—
2	5	204	1	2	17	26	134	2	1	1	17	—
	6	167	1	1	19	18	110	3	—	—	13	—
	7	145	—	—	9	17	105	2	—	—	9	—
	8	159	2	—	10	18	117	2	—	—	6	2
3	9	195	1	—	8	16	159	1	—	—	8	—
	10	187	2	1	6	13	144	1	—	—	15	—
	11	175	—	8	8	21	125	4	—	—	8	—
	12	190	—	5	17	18	125	1	1	—	20	1
	13	186	—	8	8	14	136	1	—	—	17	2
4	14	174	1	12	4	13	121	4	1	—	11	4
	15	257	1	28	4	18	174	3	—	2	18	3
	16	351	1	29	7	22	267	2	1	—	16	2
	17	327	—	43	10	31	216	1	1	1	6	16
5	18	172	—	27	20	9	94	—	1	—	14	3
	19	401	1	58	8	34	266	4	2	—	16	9
	20	404	—	101	10	24	242	1	3	—	13	8
	21	450	—	197	17	13	199	2	1	1	17	2
6	22	541	—	269	19	42	194	2	1	1	7	4
	23	448	—	216	16	21	162	3	5	3	9	9
	24	472	—	235	15	25	171	4	2	1	13	6
	25	463	—	254	6	23	148	4	3	1	14	8
	26	401	—	198	9	32	130	3	4	1	16	3
7	27	400	—	207	15	50	94	1	3	—	15	9
	28	371	—	187	8	35	102	5	5	—	10	13
	29	244	—	139	4	12	57	4	2	—	8	15
	30	241	—	95	3	15	86	—	3	2	12	18
8	31	244	—	85	12	16	84	—	4	—	14	25
	32	137	—	43	7	13	35	—	1	—	7	26
	33	188	—	30	1	12	88	4	8	—	12	26
	34	239	—	20	5	17	93	1	3	—	14	81
9	35	233	—	39	4	9	94	1	—	—	9	74
	36	249	—	21	6	11	85	3	1	—	18	96
	37	206	—	15	4	13	90	1	2	—	18	58
	38	155	—	4	3	16	59	2	3	—	17	46
	39	193	—	1	1	9	97	1	—	—	16	64
10	40	162	—	2	—	18	75	3	3	—	8	50
	41	160	—	2	4	26	61	2	1	1	4	55
	42	163	—	1	4	16	81	2	8	—	11	37
	43	132	—	4	2	15	71	2	3	—	15	16
11	44	124	—	1	2	17	72	3	5	—	13	9
	45	181	2	2	7	23	115	5	10	—	8	7
	46	189	1	—	9	9	136	2	16	—	13	2
	47	203	—	1	13	14	143	1	10	—	10	10
12	48	261	3	—	7	22	178	4	17	1	14	12
	49	325	—	2	9	25	240	2	21	—	11	13
	50	387	—	1	8	22	304	4	24	1	13	7
	51	387	—	2	15	17	308	4	19	1	16	5
	52	248	2	12	4	16	191	3	12	—	4	2
計		13,098	25	2,613	461	1,007	6,945	137	213	20	645	858

表2-1 週報対象疾病(インフルエンザ・小児科定点)年齢階層別患者発生状況(令和3年・名古屋市)

年齢階級	疾病名	疾病名									
	インフルエンザ(及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
-5ヶ月	2	218	1	-	63	2	3	-	11	-	-
-11ヶ月	1	302	35	10	344	3	20	2	160	38	-
1歳	6	758	197	152	1,117	13	93	5	330	215	5
2	2	675	105	193	926	4	48	1	81	254	4
3	-	384	63	137	764	7	17	2	40	163	8
4	1	185	33	122	571	13	11	3	15	86	13
5	1	65	12	81	471	15	5	-	7	48	15
6	1	11	4	67	291	14	2	3	1	23	17
7	-	5	3	38	212	13	1	2	-	13	9
8	-	2	-	33	217	13	4	1	-	9	5
9	-	-	2	22	154	9	1	-	-	2	4
10-14	1	1	3	67	423	23	3	1	-	3	21
15-19	-	-	-	14	125	2	-	-	-	-	1
20-29	4	7	3	71	1,267	6	5	-	-	4	-
30-39	-										
40-49	-										
50-59	1										
60-69	1										
70-79	3										
80歳以上	1										
計	25	2,613	461	1,007	6,945	137	213	20	645	858	102

表2-2 週報対象疾病(眼科・基幹定点)年齢階層別患者発生状況(令和3年・名古屋市)

年齢階層	疾病名		疾病名					
	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	原感染性胃腸炎(スデあるものに限る。)	
-5ヶ月	-	-	-	-	-	-	-	
-11ヶ月	-	-	-	-	-	-	-	
1歳	-	1	-	-	-	-	-	
2	-	1	-	-	-	-	-	
3	-	1	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	
7	-	1	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	1	-	-	-	-	-	
10-14	-	3	-	-	-	-	-	
15-19	1	2	-	-	-	-	-	
20-29	-	16	-	-	-	-	-	
30-39	-	14	-	-	-	-	-	
40-49	-	13	-	-	-	-	-	
50-59	-	7	-	-	-	-	-	
60-69	-	3	-	-	-	-	-	
70歳以上	-	4	-	-	-	-	-	
合計	1	67	1	2	1	-	-	

表3 月報対象疾病月別患者発生状況(令和3年・名古屋市)

○性感染症定点

月	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
1	124	34	24	85	267
2	114	24	13	55	206
3	105	26	13	51	195
4	93	24	13	65	195
5	142	30	18	89	279
6	131	31	15	78	255
7	140	40	15	90	285
8	109	31	14	76	230
9	118	24	11	61	214
10	105	26	21	80	232
11	110	31	17	59	217
12	88	28	19	58	193
合計	1,379	349	193	847	2,768

○基幹定点

月	黄色ブドウ球菌耐性	肺炎球菌耐性	薬剤耐性緑膿菌	合計
1	5	—	—	5
2	5	—	—	5
3	4	—	—	4
4	1	—	—	1
5	6	—	—	6
6	1	—	—	1
7	4	—	—	4
8	4	1	—	5
9	5	—	—	5
10	3	1	—	4
11	1	—	—	1
12	1	—	—	1
合計	40	2	—	42

表4-1 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階層別患者発生状況(令和3年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	5	35	31	21	9	4	9	5	4	—	1	—	124
	2	—	—	—	—	3	32	25	18	14	12	5	3	2	—	—	—	114
	3	—	—	—	—	5	30	25	16	4	13	5	1	5	—	1	—	105
	4	—	—	—	—	1	25	18	15	11	13	3	6	—	—	—	1	93
	5	—	—	—	—	8	42	42	14	8	8	8	5	5	2	—	—	142
	6	—	—	—	—	6	40	32	19	18	10	3	2	1	—	—	—	131
	7	—	—	—	—	3	51	30	15	19	7	4	6	4	—	—	1	140
	8	—	—	—	—	4	29	23	15	13	14	6	3	1	1	—	—	109
	9	—	—	—	—	4	43	29	14	13	5	7	2	—	1	—	—	118
	10	—	—	—	—	5	27	22	18	11	6	3	6	3	1	3	—	105
	11	—	—	—	—	6	38	29	8	4	8	13	4	—	—	—	—	110
	12	—	—	—	—	6	27	19	10	10	1	7	6	2	—	—	—	88
	合計	—	—	—	—	56	419	325	183	134	101	73	49	27	5	5	2	1379

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計	
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	8	6	6	3	—	2	4	—	3	2	—	34	
	2	—	—	—	—	—	5	1	5	3	3	2	—	1	3	—	1	24	
	3	—	—	—	—	1	2	4	2	6	6	2	—	1	1	—	1	26	
	4	—	—	—	—	—	1	3	3	4	5	4	1	—	—	2	1	24	
	5	—	—	—	—	1	7	3	5	3	5	1	1	1	1	1	1	30	
	6	—	—	—	—	—	4	7	2	7	—	2	2	—	2	1	4	31	
	7	—	—	—	—	—	16	5	7	2	3	2	2	—	1	—	2	40	
	8	—	—	—	—	—	9	1	2	3	3	3	3	5	1	2	2	—	31
	9	—	—	—	—	2	6	4	1	1	3	1	3	—	—	1	2	24	
	10	—	—	—	—	—	5	5	1	1	7	3	1	—	1	1	1	26	
	11	—	—	—	—	—	7	4	3	2	8	2	—	2	2	1	—	31	
	12	—	—	—	1	1	7	4	1	2	2	4	3	1	1	1	—	28	
	合計	—	—	—	1	5	77	47	38	37	45	28	22	7	17	12	13	349	

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	—	3	6	2	4	3	2	—	1	2	1	—	24
	2	1	—	—	—	—	3	1	3	3	—	2	—	—	—	—	—	13
	3	—	—	—	—	1	—	5	3	—	2	—	1	—	—	—	1	13
	4	—	—	—	—	1	2	2	5	—	1	1	1	—	—	—	—	13
	5	—	—	—	—	—	3	2	2	2	3	3	1	1	1	—	—	18
	6	—	—	—	—	—	3	4	1	1	1	2	1	1	1	—	—	15
	7	—	—	—	—	—	2	1	6	—	5	—	—	1	—	—	—	15
	8	—	—	—	—	—	2	2	2	4	1	1	2	—	—	—	—	14
	9	—	—	—	—	—	3	3	—	2	2	1	—	—	—	—	—	11
	10	—	—	—	—	—	6	5	4	3	1	—	1	—	1	—	—	21
	11	—	—	—	—	—	6	3	2	1	3	—	—	1	—	—	1	17
	12	—	—	—	—	—	3	6	3	2	2	—	—	—	3	—	—	19
	合計	1	—	—	—	2	36	40	33	22	24	12	7	5	8	1	2	193

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	1	22	19	15	9	14	2	2	1	—	—	—	85
	2	—	—	—	—	—	13	11	13	4	6	5	2	1	—	—	—	55
	3	—	—	—	—	1	15	12	2	9	7	3	1	1	—	—	—	51
	4	—	—	—	—	1	17	11	15	6	6	6	3	—	—	—	—	65
	5	—	—	—	—	7	26	21	14	6	6	2	3	2	2	—	—	89
	6	—	—	—	—	2	22	19	12	9	8	3	1	2	—	—	—	78
	7	—	—	—	—	3	28	23	13	12	3	1	3	2	2	—	—	90
	8	—	—	—	—	2	31	17	6	8	6	2	2	1	1	—	—	76
	9	—	—	—	—	3	23	13	7	4	4	3	2	1	1	—	—	61
	10	—	—	—	—	3	24	19	8	10	8	2	2	1	2	1	—	80
	11	—	—	—	—	5	19	11	6	6	4	3	3	2	—	—	—	59
	12	—	—	—	—	3	17	11	12	2	5	3	3	2	—	—	—	58
	合計	—	—	—	—	31	257	187	123	85	77	35	27	16	8	1	—	847

表4-2 月報対象疾病(基幹定点)月別・年齢階層別患者発生状況(令和3年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	4	5	
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	3	5	
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	
	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4
	8	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	合計		2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	34	40

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	8	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	10	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計		—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表5-1 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階層別患者発生状況(男性)(令和3年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	-	-	-	-	2	25	26	20	8	4	8	5	4	-	1	-	103
	2	-	-	-	-	2	25	20	12	13	11	5	3	2	-	-	-	93
	3	-	-	-	-	2	24	18	12	4	10	5	1	4	-	1	-	81
	4	-	-	-	-	-	16	14	14	9	10	3	5	-	-	-	1	72
	5	-	-	-	-	5	32	35	13	6	7	8	5	5	2	-	-	118
	6	-	-	-	-	3	26	23	16	17	7	2	2	1	-	-	-	97
	7	-	-	-	-	2	42	21	13	18	7	3	6	4	-	-	1	117
	8	-	-	-	-	4	21	18	10	12	13	5	3	1	1	-	-	88
	9	-	-	-	-	3	30	19	10	10	4	7	2	-	1	-	-	86
	10	-	-	-	-	4	18	17	14	10	6	3	6	3	1	3	-	85
	11	-	-	-	-	6	31	25	7	4	8	13	4	-	-	-	-	98
	12	-	-	-	-	6	19	13	8	8	1	7	6	2	-	-	-	70
	合計	-	-	-	-	39	309	249	149	119	88	69	48	26	5	5	2	1108

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計	
性器ヘルペスウイルス感染症	1	-	-	-	-	-	2	6	5	2	-	2	2	-	2	2	-	23	
	2	-	-	-	-	-	4	1	3	1	3	1	-	-	2	-	-	15	
	3	-	-	-	-	1	-	2	1	5	3	2	-	1	1	-	-	16	
	4	-	-	-	-	-	1	3	-	2	4	4	1	-	-	2	-	17	
	5	-	-	-	-	1	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	6	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-	2	-	-	1	1	1	10	
	7	-	-	-	-	-	8	5	2	1	2	2	2	-	1	-	-	23	
	8	-	-	-	-	-	2	1	2	1	2	2	2	1	-	1	-	14	
	9	-	-	-	-	1	2	3	1	1	2	1	2	-	-	1	1	15	
	10	-	-	-	-	-	2	2	1	1	5	2	1	-	1	1	1	17	
	11	-	-	-	-	-	4	1	3	1	3	2	-	1	1	1	-	17	
	12	-	-	-	1	1	5	2	1	2	-	4	3	-	1	1	-	21	
	合計	-	-	-	1	4	33	29	23	20	25	25	14	4	11	11	4	204	

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	-	-	-	-	-	2	6	2	3	3	2	-	1	2	1	-	22
	2	1	-	-	-	-	2	1	3	3	-	2	-	-	-	-	-	12
	3	-	-	-	-	1	-	5	3	-	2	-	1	-	-	-	1	13
	4	-	-	-	-	-	2	2	5	-	1	1	1	-	-	-	-	12
	5	-	-	-	-	-	3	2	2	2	3	3	1	1	1	-	-	18
	6	-	-	-	-	-	2	4	1	-	1	1	1	1	1	-	-	12
	7	-	-	-	-	-	2	1	5	-	5	-	-	1	-	-	-	14
	8	-	-	-	-	-	2	2	2	4	1	1	2	-	-	-	-	14
	9	-	-	-	-	-	2	3	-	2	2	1	-	-	-	-	-	10
	10	-	-	-	-	-	5	5	2	3	1	-	1	-	1	-	-	18
	11	-	-	-	-	-	6	3	2	1	3	-	-	1	-	-	1	17
	12	-	-	-	-	-	2	4	3	2	2	-	-	-	2	-	-	15
	合計	1	-	-	-	1	30	38	30	20	24	11	7	5	7	1	2	177

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	-	-	-	-	-	19	19	14	9	13	2	2	1	-	-	-	79
	2	-	-	-	-	-	11	11	10	4	6	5	2	1	-	-	-	50
	3	-	-	-	-	1	14	11	2	9	7	3	1	1	-	-	-	49
	4	-	-	-	-	1	15	10	15	6	5	6	3	-	-	-	-	61
	5	-	-	-	-	5	25	21	14	6	6	2	3	2	2	-	-	86
	6	-	-	-	-	2	19	19	12	9	8	3	1	2	-	-	-	75
	7	-	-	-	-	3	25	22	13	10	3	1	3	2	2	-	-	84
	8	-	-	-	-	2	25	16	6	8	6	2	2	1	1	-	-	69
	9	-	-	-	-	3	22	12	7	4	4	3	2	1	1	-	-	59
	10	-	-	-	-	1	20	19	8	10	8	2	2	1	2	1	-	74
	11	-	-	-	-	4	17	9	5	6	4	3	3	2	-	-	-	53
	12	-	-	-	-	3	15	11	10	2	5	3	3	2	-	-	-	54
	合計	-	-	-	-	25	227	180	116	83	75	35	27	16	8	1	-	793

表5-2 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階層別患者発生状況(女性)(令和3年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	3	10	5	1	1	—	1	—	—	—	—	—	21
	2	—	—	—	—	1	7	5	6	1	1	—	—	—	—	—	—	21
	3	—	—	—	—	3	6	7	4	—	3	—	—	1	—	—	—	24
	4	—	—	—	—	1	9	4	1	2	3	—	1	—	—	—	—	21
	5	—	—	—	—	3	10	7	1	2	1	—	—	—	—	—	—	24
	6	—	—	—	—	3	14	9	3	1	3	1	—	—	—	—	—	34
	7	—	—	—	—	1	9	9	2	1	—	1	—	—	—	—	—	23
	8	—	—	—	—	—	8	5	5	1	1	1	—	—	—	—	—	21
	9	—	—	—	—	1	13	10	4	3	1	—	—	—	—	—	—	32
	10	—	—	—	—	—	1	9	5	4	1	—	—	—	—	—	—	20
	11	—	—	—	—	—	7	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	12
	12	—	—	—	—	—	8	6	2	2	—	—	—	—	—	—	—	18
	合計	—	—	—	—	17	110	76	34	15	13	4	1	1	—	—	—	271

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	6	—	1	1	—	—	2	—	1	—	—	11
	2	—	—	—	—	—	1	—	2	2	—	1	—	1	1	—	1	9
	3	—	—	—	—	—	2	2	1	1	3	—	—	—	—	—	1	10
	4	—	—	—	—	—	—	—	3	2	1	—	—	—	—	—	1	7
	5	—	—	—	—	—	4	1	3	2	4	—	—	—	—	—	—	14
	6	—	—	—	—	—	4	6	—	5	—	—	2	—	1	—	3	21
	7	—	—	—	—	—	8	—	5	1	1	—	—	—	—	—	2	17
	8	—	—	—	—	—	7	—	—	2	1	1	3	—	2	1	—	17
	9	—	—	—	—	1	4	1	—	—	1	—	1	—	—	—	1	9
	10	—	—	—	—	—	3	3	—	—	2	1	—	—	—	—	—	9
	11	—	—	—	—	—	3	3	—	1	5	—	—	1	1	—	—	14
	12	—	—	—	—	—	2	2	—	—	2	—	—	1	—	—	—	7
	合計	—	—	—	—	1	44	18	15	17	20	3	8	3	6	1	9	145

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2
	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	3
	7	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	10	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	4
	合計	—	—	—	—	1	6	2	3	2	—	1	—	—	1	—	—	16

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	1	3	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	6
	2	—	—	—	—	—	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	3	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	4	—	—	—	—	—	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	4
	5	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	6	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	7	—	—	—	—	—	3	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	6
	8	—	—	—	—	—	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
	9	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	10	—	—	—	—	2	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	11	—	—	—	—	1	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	12	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	合計	—	—	—	—	6	30	7	7	2	2	—	—	—	—	—	—	54

表5-3 月報対象疾病(基幹定点)月別・年齢階層別患者発生状況 (令和3年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 感染症(男性)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	
	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	合計		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	27	30

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 感染症(女性)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計	
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症(男性)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計	
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症(女性)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌 感染症(男性)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌 感染症(女性)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表6 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（インフルエンザ・令和3年・名古屋市）

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		25	—	6	—	2	14	—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—
1	1	2	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	3	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	2	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	46	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	48	3	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—

表7 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（RSウイルス感染症・令和3年・名古屋市）

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		2,613	183	185	253	700	179	238	7	6	—	178	8	225	113	68	189	81
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
2	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	6	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	11	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	1	3	—
	12	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3	—	—
	13	8	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	1	—	1	3	—
4	14	12	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2	—	2	6	—
	15	28	—	—	—	—	5	—	—	—	—	3	—	6	1	4	7	2
	16	29	—	—	1	2	1	1	—	—	—	6	—	6	1	3	6	2
	17	43	1	—	—	11	9	1	—	—	—	1	—	4	2	3	9	2
5	18	27	3	1	1	5	5	4	—	—	—	—	1	3	—	2	2	—
	19	58	4	4	3	14	11	—	—	—	—	—	—	6	—	3	11	2
	20	101	4	4	8	51	13	1	—	—	—	5	—	4	1	1	4	5
	21	197	29	17	12	63	9	18	—	—	—	5	—	11	8	6	10	9
6	22	269	39	28	24	66	9	46	—	1	—	10	—	10	6	6	8	16
	23	216	13	16	20	72	11	16	2	—	—	11	—	17	11	1	16	10
	24	235	10	15	33	84	13	15	—	—	—	11	—	12	21	1	14	6
	25	254	19	18	27	79	10	14	—	—	—	26	—	26	12	5	15	3
	26	198	13	1	29	54	13	20	—	1	—	20	—	24	7	2	11	3
7	27	207	10	8	14	46	14	19	—	—	—	28	1	18	20	1	23	5
	28	187	11	35	16	49	16	20	1	1	—	9	2	9	7	3	7	1
	29	139	2	9	32	20	13	17	—	1	—	12	1	13	7	2	8	2
	30	95	2	10	15	11	6	20	2	1	—	6	—	12	1	2	5	2
8	31	85	3	16	3	23	5	11	—	—	—	5	—	6	1	4	7	1
	32	43	1	2	1	13	4	—	2	1	—	2	—	8	—	1	4	4
	33	30	2	1	4	13	2	1	—	—	—	1	—	1	1	—	4	—
	34	20	—	—	4	4	3	—	—	—	—	4	1	1	3	—	—	—
9	35	39	6	—	4	6	2	1	—	—	—	5	1	8	1	1	4	—
	36	21	6	—	1	1	2	—	—	—	—	5	1	1	2	—	—	2
	37	15	1	—	1	2	—	—	—	—	—	3	—	3	—	2	—	3
	38	4	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	39	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
10	40	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	42	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	43	4	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
11	44	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
12	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	49	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	50	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	51	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	52	12	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表8 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(咽頭結膜熱・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		461	34	41	30	122	1	4	—	—	—	88	—	50	26	5	57	3
1	1	17	2	2	1	6	—	—	—	—	—	2	—	3	—	—	1	—
	2	6	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3	—	—	—	1
	3	21	3	—	—	11	—	—	—	—	—	4	—	—	1	—	2	—
	4	13	—	2	—	1	—	—	—	—	—	3	—	2	3	—	2	—
2	5	17	—	2	1	5	—	—	—	—	—	3	—	3	1	1	1	—
	6	19	1	—	—	6	—	—	—	—	—	7	—	—	2	—	3	—
	7	9	1	1	2	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	2	—
	8	10	1	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	—
3	9	8	2	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	2	—
	10	6	1	1	—	1	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	11	8	—	—	1	5	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	12	17	—	1	2	2	—	—	—	—	—	6	—	3	2	—	1	—
	13	8	—	3	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	3	—
4	14	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
	15	4	—	1	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	16	7	—	5	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	17	10	—	2	—	4	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	1	—
5	18	20	5	2	1	8	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	2	—
	19	8	2	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	20	10	1	—	—	3	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	3	—
	21	17	1	1	1	6	1	—	—	—	—	3	—	2	—	—	2	—
6	22	19	2	—	1	9	—	—	—	—	—	3	—	—	2	—	2	—
	23	16	2	—	2	3	—	—	—	—	—	3	—	1	4	—	1	—
	24	15	3	1	1	—	—	—	—	—	—	6	—	2	1	—	1	—
	25	6	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	2	1	—	—	—
	26	9	1	—	—	—	—	1	—	—	—	4	—	1	—	1	—	1
7	27	15	—	—	—	2	—	—	—	—	—	10	—	1	—	—	2	—
	28	8	—	—	1	1	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	1	—
	29	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1	—
	30	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	31	12	—	1	1	1	—	—	—	—	—	4	—	1	2	—	2	—
	32	7	1	—	2	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
	33	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	34	5	—	—	—	2	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
9	35	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—
	36	6	1	—	—	4	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	37	4	—	1	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
	39	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
10	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	4	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	42	4	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	43	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
11	44	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	45	7	—	1	—	3	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—
	46	9	—	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	1
	47	13	1	3	1	3	—	—	—	—	—	1	—	3	1	—	—	—
12	48	7	—	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	49	9	1	1	2	3	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	50	8	—	1	1	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2	—
	51	15	—	—	1	8	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	3	—
	52	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—

表9 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		1,007	63	40	20	523	33	35	1	—	1	50	88	34	23	38	32	26
1	1	16	—	1	1	1	1	1	—	—	—	—	4	3	—	—	4	—
	2	11	3	2	—	2	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	2	—
	3	21	6	—	—	2	1	—	—	—	—	2	5	2	1	—	2	—
	4	23	6	1	—	5	—	—	—	—	—	2	5	—	2	—	2	—
2	5	26	8	—	1	4	—	1	—	—	—	2	5	2	1	—	1	1
	6	18	3	—	—	3	1	1	—	—	—	3	3	1	—	—	2	1
	7	17	2	—	1	6	—	—	—	—	—	2	2	—	—	1	1	2
	8	18	2	1	—	3	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	3	3
3	9	16	2	1	—	6	—	1	—	—	—	1	3	—	—	1	—	1
	10	13	3	1	—	3	—	2	—	—	—	2	—	1	—	—	1	—
	11	21	—	1	—	12	1	2	—	—	—	—	—	1	1	2	—	1
	12	18	1	—	—	10	—	1	—	—	—	1	4	—	—	—	1	—
	13	14	2	2	—	8	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
4	14	13	1	—	—	6	—	2	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—
	15	18	3	3	—	4	2	2	—	—	—	2	1	—	—	1	—	—
	16	22	1	2	—	10	—	—	—	—	—	1	3	1	—	1	3	—
	17	31	2	6	—	10	1	7	—	—	—	—	3	2	—	—	—	—
5	18	9	—	—	—	7	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	19	34	—	—	—	20	—	1	—	—	—	—	2	—	—	9	—	2
	20	24	1	1	1	16	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	—
	21	13	—	1	—	5	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
6	22	42	2	1	—	22	2	4	—	—	—	4	3	1	—	2	1	—
	23	21	1	3	—	8	2	—	—	—	—	3	1	1	—	1	—	1
	24	25	2	1	—	13	—	—	—	—	—	4	1	—	1	1	2	—
	25	23	1	—	—	15	—	2	—	—	—	2	1	—	1	1	—	—
	26	32	—	1	1	21	1	1	—	—	—	1	2	2	—	—	1	1
7	27	50	1	—	—	27	1	—	1	—	—	—	2	1	9	6	1	1
	28	35	—	—	—	23	1	—	—	—	—	2	2	2	—	4	1	—
	29	12	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	1	1	—	2	—	1
	30	15	1	—	—	10	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—
8	31	16	—	—	1	11	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	1
	32	13	—	—	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	33	12	—	—	1	9	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	34	17	5	1	1	7	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
9	35	9	—	—	—	6	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—	—
	36	11	—	1	—	6	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—
	37	13	—	1	—	9	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	16	—	—	—	12	1	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—
	39	9	—	—	1	7	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
10	40	18	—	1	—	12	1	—	—	—	—	—	1	3	—	—	—	—
	41	26	2	2	—	13	1	—	—	—	—	—	5	—	—	—	1	2
	42	16	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3
	43	15	1	2	1	9	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
11	44	17	—	—	—	13	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	1
	45	23	—	—	1	9	4	—	—	—	—	3	4	1	—	—	—	1
	46	9	—	1	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	47	14	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
12	48	22	—	—	1	12	1	—	—	—	—	2	2	—	4	—	—	—
	49	25	—	1	—	22	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	50	22	1	1	1	13	4	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	51	17	—	—	1	13	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
	52	16	—	—	5	10	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表10 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(感染性胃腸炎・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		6,945	598	169	495	916	518	538	214	—	1	710	611	218	502	578	422	455
1	1	77	3	—	9	4	9	6	3	—	—	1	9	5	5	16	2	5
	2	78	5	1	8	19	10	3	3	—	—	6	6	1	5	7	—	4
	3	109	—	2	6	23	9	10	4	—	—	9	7	2	12	13	3	9
	4	103	5	—	5	15	10	4	2	—	—	10	15	3	17	9	4	4
2	5	134	4	3	12	45	10	8	4	—	—	9	13	4	8	7	5	2
	6	110	9	—	5	18	9	2	7	—	—	4	13	7	6	14	10	6
	7	105	5	4	8	28	8	8	6	—	—	5	11	5	7	3	2	5
	8	117	5	3	8	18	10	14	5	—	—	14	13	3	4	9	2	9
3	9	159	5	6	7	31	9	8	8	—	—	24	7	7	21	11	4	11
	10	144	7	3	15	34	10	11	—	—	—	11	11	2	6	18	7	9
	11	125	4	5	16	22	8	9	3	—	—	10	9	3	9	13	3	11
	12	125	5	3	12	18	7	6	4	—	—	11	13	5	16	12	4	9
	13	136	9	2	15	33	7	6	3	—	—	3	11	10	9	13	3	12
4	14	121	9	8	15	15	4	11	3	—	—	17	11	3	6	9	2	8
	15	174	18	4	7	24	5	19	5	—	—	25	12	3	15	21	5	11
	16	267	74	6	6	18	21	25	9	—	—	29	10	4	21	19	14	11
	17	216	48	9	—	16	13	27	10	—	—	35	10	2	26	6	6	8
5	18	94	8	2	4	10	14	5	1	—	—	11	8	5	6	11	1	8
	19	266	46	12	38	31	8	17	4	—	—	32	21	2	23	14	7	11
	20	242	37	5	26	43	13	17	11	—	—	16	17	7	16	10	7	17
	21	199	22	3	22	36	17	10	3	—	—	19	19	3	13	10	12	10
6	22	194	17	—	23	18	13	12	3	—	—	27	18	6	17	17	16	7
	23	162	16	1	8	27	8	13	2	—	—	19	7	11	4	23	7	16
	24	171	13	3	10	22	6	20	6	—	—	29	14	6	6	17	11	8
	25	148	10	7	9	22	14	6	2	—	—	23	8	8	8	19	3	9
	26	130	5	4	10	12	8	8	11	—	—	11	14	10	17	10	4	6
7	27	94	3	—	12	7	9	11	3	—	—	10	12	3	1	3	14	6
	28	102	12	5	7	4	5	16	3	—	—	4	15	4	8	9	3	7
	29	57	5	2	1	1	8	11	2	—	—	4	5	2	1	8	—	7
	30	86	1	—	6	2	12	7	6	—	—	10	17	5	2	6	4	8
8	31	84	7	2	7	9	5	7	3	—	—	4	15	1	4	8	4	8
	32	35	3	1	—	2	6	1	1	—	—	2	7	—	3	5	1	3
	33	88	5	4	7	13	6	7	2	—	—	2	18	1	3	5	10	5
	34	93	—	3	6	8	14	6	3	—	1	6	20	3	5	7	3	8
9	35	94	4	1	12	14	9	10	3	—	—	6	13	1	3	12	—	6
	36	85	7	2	6	6	12	4	2	—	—	8	8	—	8	8	4	10
	37	90	2	1	13	5	8	6	3	—	—	10	9	9	8	6	6	4
	38	59	7	—	5	1	7	6	2	—	—	7	12	3	1	3	1	4
	39	97	7	—	2	4	13	9	4	—	—	12	16	12	5	3	3	7
10	40	75	5	2	4	5	5	7	1	—	—	17	11	1	4	4	6	3
	41	61	4	—	3	6	11	1	5	—	—	5	9	—	2	6	1	8
	42	81	4	2	4	3	8	13	2	—	—	10	5	—	4	5	4	17
	43	71	6	2	4	1	10	4	5	—	—	10	5	2	12	4	2	4
11	44	72	4	1	1	5	4	10	2	—	—	11	7	4	4	7	8	4
	45	115	11	1	8	11	11	4	4	—	—	13	13	2	5	7	20	5
	46	136	9	1	3	13	10	11	2	—	—	22	6	4	18	13	16	8
	47	143	13	1	3	14	12	16	2	—	—	17	9	3	7	10	25	11
12	48	178	18	—	7	18	15	20	8	—	—	13	15	4	11	21	21	7
	49	240	10	4	17	42	24	9	9	—	—	21	13	3	17	21	31	19
	50	304	28	24	22	27	14	16	9	—	—	28	15	8	26	24	40	23
	51	308	26	6	18	62	11	28	4	—	—	27	17	7	19	24	36	23
	52	191	8	8	13	31	9	13	2	—	—	21	12	9	18	18	15	14

表11 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(水痘・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		137	18	7	10	24	5	7	4	—	4	11	2	2	14	13	10	6
1	1	8	1	1	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	2	—	—
	2	6	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—
	3	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	1	—	—	—
	4	9	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	4	—
2	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
	6	3	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	7	2	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	8	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
3	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	10	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	11	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	12	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	13	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
4	14	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	15	3	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	16	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	17	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	20	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
6	22	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	3	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	24	4	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	1	—	—	—
	25	4	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	26	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
7	27	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	5	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	29	4	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	33	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	1
	34	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	35	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	36	3	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	38	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	39	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	40	3	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	41	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	3	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	5	—	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	47	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	48	4	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	49	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	4	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	51	4	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	52	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—

表12 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(手足口病・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		213	47	9	3	16	9	23	-	-	1	29	4	8	29	18	8	9
1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	14	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
5	18	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	21	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
6	22	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	23	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	24	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	25	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	26	4	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
7	27	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	28	5	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	29	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
8	31	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-
	32	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	33	8	4	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
	34	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
9	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	36	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	37	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	38	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-
	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	40	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1
	41	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	42	8	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-
	43	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
11	44	5	-	1	-	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	45	10	4	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
	46	16	2	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	3	1	-	-
	47	10	2	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	1	2	1	-	-
12	48	17	3	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	4
	49	21	13	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	2	-	1	-
	50	24	5	-	-	5	-	2	-	-	-	2	-	1	-	5	2	2
	51	19	3	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	6	3	-	-
	52	12	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	2	-

表13 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(伝染性紅斑・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		20	1	1	1	4	-	-	1	-	1	-	-	2	2	5	1	1
1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
5	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
6	22	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	23	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	24	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	26	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
7	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
8	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	41	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	48	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	51	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表14 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(突発性発しん・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		645	68	37	48	128	9	55	4	—	3	22	9	15	66	100	54	27
1	1	12	—	2	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	—	1
	2	11	2	—	1	3	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2	1	—
	3	15	—	—	2	4	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2	2	3
	4	14	2	—	—	3	—	2	—	—	—	1	—	—	1	4	—	1
2	5	17	1	2	2	3	—	2	—	—	—	—	—	1	2	3	1	—
	6	13	—	—	—	5	—	1	—	—	—	—	1	—	—	3	2	1
	7	9	1	1	1	2	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1
	8	6	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	1	—
3	9	8	1	1	1	—	—	1	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1
	10	15	2	—	1	1	1	3	—	—	—	—	—	1	2	2	1	1
	11	8	—	1	1	4	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	12	20	—	4	3	3	1	3	—	—	—	1	—	1	2	2	—	—
	13	17	—	3	—	3	—	—	—	—	—	2	2	—	1	2	4	—
4	14	11	1	—	—	5	1	—	—	—	—	—	1	—	1	2	—	—
	15	18	3	1	—	5	—	1	—	—	—	1	—	1	2	2	2	—
	16	16	2	1	1	1	—	1	—	—	—	1	1	—	6	1	1	—
	17	6	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
5	18	14	2	—	1	2	1	2	—	—	—	1	—	1	2	1	1	—
	19	16	1	1	2	4	—	1	1	—	—	—	—	1	2	1	2	—
	20	13	3	2	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	1	2	2	1
	21	17	2	1	2	2	—	2	—	—	—	1	1	—	2	—	2	2
6	22	7	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1
	23	9	1	—	1	1	—	2	1	—	—	—	—	—	—	1	—	2
	24	13	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	1	1
	25	14	1	1	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	1	1
	26	16	3	1	1	3	—	2	—	—	—	—	—	—	1	3	2	—
7	27	15	1	—	1	5	1	—	—	—	—	—	—	—	1	4	2	—
	28	10	2	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	2	3	—	—
	29	8	1	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	1	1	2	—	—
	30	12	3	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	1
8	31	14	1	1	1	4	—	—	—	—	—	—	—	1	3	2	1	—
	32	7	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—	1
	33	12	2	—	4	1	1	1	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—
	34	14	—	1	2	4	—	—	—	—	—	1	1	—	2	2	—	1
9	35	9	—	1	1	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	3	—	—
	36	18	2	1	1	1	—	3	—	—	—	1	—	1	2	2	4	—
	37	18	2	2	—	1	—	1	—	—	—	1	—	1	6	2	1	1
	38	17	2	1	2	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	7	—
	39	16	4	—	1	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
10	40	8	1	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	1
	41	4	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	42	11	1	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	1	2	1	1	1
	43	15	3	—	1	2	—	1	—	—	—	3	—	—	2	2	—	1
11	44	13	2	—	1	3	—	4	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
	45	8	1	—	1	1	—	2	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—
	46	13	3	—	—	3	—	2	—	—	—	—	—	—	2	3	—	—
	47	10	1	1	1	1	—	1	—	—	—	—	1	1	—	2	—	1
12	48	14	—	—	2	4	—	2	—	—	—	1	—	—	2	2	1	—
	49	11	1	1	—	3	—	2	—	—	—	—	—	—	2	1	—	1
	50	13	1	—	2	1	—	1	—	—	1	2	—	—	3	2	—	—
	51	16	1	1	3	4	—	3	—	—	—	1	—	—	—	2	1	—
	52	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	2	—

表15 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(ヘルパンギーナ・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		858	91	24	20	183	11	66	5	—	3	272	3	16	50	49	59	6
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
3	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	13	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
4	14	4	—	—	—	—	—	—	1	—	—	3	—	—	—	—	—	—
	15	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
	16	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	17	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	—	—	—	—	—
5	18	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
	19	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—
	20	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	1	—
	21	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
6	22	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—
	23	9	—	1	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	1	—
	24	6	—	—	—	—	—	1	—	—	—	4	—	—	—	—	1	—
	25	8	—	1	—	—	1	1	—	—	—	4	—	—	—	1	—	—
	26	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
7	27	9	—	—	—	—	2	—	—	—	—	6	—	—	1	—	—	—
	28	13	—	—	—	—	—	1	—	—	—	9	—	1	—	2	—	—
	29	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	1	1	—	—
	30	18	—	1	—	6	—	—	—	—	—	8	—	1	—	1	1	—
8	31	25	1	—	—	9	1	—	—	—	—	10	—	—	3	—	1	—
	32	26	—	—	—	13	—	—	—	—	—	4	—	—	—	7	2	—
	33	26	—	—	1	11	—	1	—	—	—	8	1	—	—	1	3	—
	34	81	2	1	2	30	—	12	—	—	1	19	—	—	5	2	7	—
9	35	74	8	—	5	23	—	14	1	—	—	13	—	—	4	2	4	—
	36	96	14	—	4	27	2	8	—	—	—	20	—	2	8	6	5	—
	37	58	11	—	4	12	1	7	1	—	—	11	1	1	3	1	3	2
	38	46	3	1	—	24	—	4	—	—	—	10	—	1	—	2	1	—
	39	64	9	10	1	9	1	6	2	—	—	19	—	—	—	3	3	1
10	40	50	11	2	1	3	2	3	—	—	1	10	—	4	5	4	2	2
	41	55	14	1	2	8	—	3	—	—	—	13	—	3	3	4	4	—
	42	37	7	3	—	—	—	4	—	—	—	4	1	1	6	4	7	—
	43	16	2	2	—	4	—	—	—	—	—	2	—	—	1	2	2	1
11	44	9	2	1	—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	3	—
	45	7	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	3	1	1	—
	46	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	47	10	2	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	1	1	3	—
12	48	12	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	7	—	—	1	1	—
	49	13	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	5	1	2	—
	50	7	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4	—	1	—	1	—	—
	51	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	1	1	—
	52	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—

表16 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(流行性耳下腺炎・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		102	17	—	10	26	—	8	—	—	1	12	1	1	6	7	10	3
1	1	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	3	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	10	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
2	5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	7	3	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
3	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	10	3	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	11	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	12	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	5	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
5	18	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	19	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	20	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	4	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
7	27	4	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	28	5	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—	1	—	1
	29	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
	30	6	—	—	1	—	—	—	—	—	—	4	1	—	—	—	—	—
8	31	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	32	4	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	33	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	34	3	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	36	4	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	2	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
10	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	42	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	43	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	48	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	49	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表17 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(急性出血性結膜炎 ・ 令和3年 ・ 名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—
1	1	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	2	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	3	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	4	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
2	5	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	6	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	7	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	8	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
3	9	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	10	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	11	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	12	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
4	13	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	14	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	15	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	16	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
5	17	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	18	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	19	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	20	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
6	21	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	22	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	23	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	24	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
7	25	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	26	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	27	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	28	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
8	29	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	30	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	31	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	32	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
9	33	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	34	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	35	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	36	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
10	37	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	38	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	39	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	40	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
11	41	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	42	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	43	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	44	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
12	45	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	46	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	47	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	48	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
12	49	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	50	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	51	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	52	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—

表18 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(流行性角結膜炎・令和3年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		67	13	・	12	11	3	—	3	9	5	・	・	—	・	5	—	6
1	1	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	2	1	—	・	—	—	1	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	3	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	4	1	—	・	—	—	1	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
2	5	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	—
	6	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	7	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	8	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
3	9	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	10	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	11	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	12	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	13	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
4	14	2	1	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
	15	1	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
	16	4	1	・	1	—	—	—	1	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	17	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
5	18	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	19	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	20	1	—	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	21	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
6	22	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	23	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	24	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	25	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	26	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
7	27	2	—	・	—	1	1	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	28	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	29	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	30	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
8	31	3	—	・	—	1	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	1
	32	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	33	5	—	・	2	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	2
	34	2	1	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
9	35	3	1	・	—	1	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	36	4	1	・	—	—	—	—	—	3	—	・	・	—	・	—	—	—
	37	5	1	・	2	—	—	—	—	2	—	・	・	—	・	—	—	—
	38	3	1	・	1	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	39	2	—	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	—
10	40	2	—	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	—
	41	3	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	1
	42	2	—	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	43	2	—	・	1	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
11	44	1	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
	45	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	46	1	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
	47	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
12	48	1	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	49	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	50	2	—	・	—	—	—	—	2	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	51	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	52	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	1	—	—

表19-1 月報対象疾病別・月別患者発生状況(性器クラミジア感染症・令和3年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	124	2	・	19	—	8	45	9	1	・	22	2	1	・	12	2	1
2	114	2	・	23	—	6	32	13	3	・	15	6	2	・	5	1	6
3	105	2	・	14	1	3	46	5	—	・	12	7	1	・	8	1	5
4	93	2	・	13	2	2	40	8	1	・	10	8	—	・	6	1	—
5	142	5	・	29	2	3	47	13	3	・	22	6	1	・	7	2	2
6	131	4	・	26	4	6	46	5	3	・	19	5	1	・	6	4	2
7	140	7	・	32	2	9	42	6	—	・	15	4	3	・	14	1	5
8	109	4	・	19	1	5	34	9	1	・	15	7	1	・	9	1	3
9	118	3	・	20	3	11	37	9	—	・	15	9	—	・	9	1	1
10	105	2	・	15	—	3	42	12	1	・	10	4	5	・	6	1	4
11	110	7	・	27	—	6	39	11	—	・	8	1	1	・	9	—	1
12	88	2	・	18	—	7	34	6	2	・	9	1	1	・	6	2	—
合計	1379	42	・	255	15	69	484	106	15	・	172	60	17	・	97	17	30

表19-2 月報対象疾病別・月別患者発生状況(性器ヘルペスウイルス感染症・令和3年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	34	—	・	7	1	2	8	—	1	・	1	5	1	・	4	—	4
2	24	—	・	4	1	—	8	3	1	・	1	3	1	・	—	—	2
3	26	—	・	7	2	2	7	—	—	・	—	4	—	・	2	1	1
4	24	—	・	3	1	1	11	—	2	・	—	2	1	・	1	—	2
5	30	—	・	3	5	—	6	3	—	・	1	3	3	・	1	2	3
6	31	—	・	3	4	—	6	1	1	・	—	8	4	・	2	—	2
7	40	—	・	2	1	—	15	5	2	・	—	9	—	・	3	—	3
8	31	—	・	4	2	—	11	—	5	・	—	4	—	・	3	—	2
9	24	—	・	—	—	1	9	4	2	・	—	4	—	・	3	—	1
10	26	—	・	5	2	—	6	3	2	・	—	2	—	・	3	—	3
11	31	—	・	2	2	1	9	2	1	・	—	7	—	・	2	—	5
12	28	—	・	9	1	—	9	1	—	・	—	3	—	・	4	—	1
合計	349	—	・	49	22	7	105	22	17	・	3	54	10	・	28	3	29

表19-3 月報対象疾病別・月別患者発生状況(尖圭コンジローマ・令和3年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	24	—	・	7	—	2	4	2	—	・	4	—	—	・	2	—	3
2	13	—	・	1	1	—	1	3	1	・	4	—	—	・	1	—	1
3	13	—	・	1	—	2	2	1	—	・	6	—	—	・	1	—	—
4	13	—	・	1	—	—	2	1	—	・	6	—	1	・	2	—	—
5	18	—	・	3	—	—	7	3	—	・	4	—	—	・	1	—	—
6	15	—	・	5	—	—	4	1	—	・	3	—	—	・	1	—	1
7	15	—	・	1	—	—	7	—	—	・	5	—	—	・	2	—	—
8	14	—	・	—	—	—	4	2	—	・	6	—	—	・	2	—	—
9	11	—	・	1	—	1	5	1	—	・	3	—	—	・	—	—	—
10	21	—	・	2	—	1	7	2	—	・	6	1	—	・	1	—	1
11	17	—	・	2	—	—	5	4	—	・	4	—	—	・	2	—	—
12	19	—	・	3	—	3	6	1	—	・	5	—	—	・	1	—	—
合計	193	—	・	27	1	9	54	21	1	・	56	1	1	・	16	—	6

表19-4 月報対象疾病別・月別患者発生状況(淋菌感染症・令和3年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	85	3	・	10	—	4	28	6	—	・	22	—	1	・	11	—	—
2	55	1	・	10	—	2	16	8	—	・	12	—	1	・	3	—	2
3	51	4	・	10	—	3	15	5	—	・	7	—	—	・	6	—	1
4	65	2	・	12	—	4	25	3	—	・	14	—	—	・	3	—	2
5	89	1	・	23	—	6	28	5	—	・	20	1	—	・	5	—	—
6	78	2	・	14	—	4	21	7	—	・	20	—	—	・	8	—	2
7	90	—	・	19	—	9	24	6	—	・	20	—	1	・	7	2	2
8	76	3	・	21	—	4	26	3	—	・	15	—	—	・	3	—	1
9	61	1	・	10	—	6	21	11	—	・	9	—	—	・	3	—	—
10	80	—	・	8	—	9	32	6	—	・	17	1	1	・	3	—	3
11	59	3	・	11	—	3	22	4	—	・	7	—	2	・	4	—	3
12	58	—	・	15	1	2	20	4	—	・	7	—	—	・	7	1	1
合計	847	20	・	163	1	56	278	68	—	・	170	2	6	・	63	3	17

表20 週報対象疾病年次別発生状況(名古屋市)

疾病名	年次									
	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
インフルエンザ	14,281	15,967	18,199	14,735	21,920	17,589	22,231	22,832	7,554	25
R S ウイルス感染症	1,347	1,728	1,393	1,327	1,353	1,662	1,294	1,828	185	2,613
咽頭結膜熱	691	772	1,281	1,096	731	1,100	762	1,049	608	461
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,823	1,965	3,259	4,943	3,279	3,417	3,753	3,466	1,993	1,007
感染性胃腸炎	19,114	15,898	14,616	13,361	14,270	10,619	10,947	9,350	5,398	6,945
水痘	1,899	1,533	1,036	838	861	808	757	443	296	137
手足口病	379	4,272	1,270	2,936	788	4,348	748	4,657	139	213
伝染性紅斑	350	65	99	956	520	168	261	1,296	235	20
突発性発しん	1,148	1,099	1,095	949	746	664	684	602	711	645
百日咳	71	25	39	30	40	19	・	・	・	・
ヘルパンギーナ	1,354	1,157	1,101	2,167	1,428	689	1,511	1,389	125	858
流行性耳下腺炎	819	535	562	353	567	333	197	149	106	102
急性出血性結膜炎	6	-	3	1	3	2	2	3	2	1
流行性角結膜炎	111	84	131	97	187	148	150	153	51	67
細菌性髄膜炎	-	-	5	1	2	1	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	4	5	3	4	2	3	3	2
マイコプラズマ肺炎	3	-	29	103	205	104	46	92	28	1
クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	-	-	1	-	-	2	2	-	1	-
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	・	-	23	13	31	31	31	44	-	-

3 検査情報

患者定点のうち、名古屋市立大学病院及び市立2病院、中京病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋掖済会病院の小児科、くつなこどもクリニック及びまじま眼科を病原体定点として、ウイルス感染及びそれが疑われる感染症を対象として検査を実施した。その結果、患者75名のうち延べ34名からウイルスを分離・検出した。

アデノウイルスは14名より分離・検出され、2型が1名、37型が8名、53型が2名、64型が3名であった。

ピコルナウイルスは5名より分離・検出され、Echo-30が1名、HRV-Aが1名、HRV-Cが1名、HPeV-1が2名であった。

ヘルペスウイルスは11名より検出され、VZV-Cが1名、EBVが2名、CMVが2名、HHV-7が6名であった。パラミクソウイルスは1名より検出され、HPIV-3が1名であった。

ニューモウイルスは1名より検出され、RSV-Aが1名

パルボウイルスは1名より検出され、HBoVが1名であった。

コロナウイルスは1名より検出され、HCoV-OC43が1名であった。

	患者数	検体数	鼻咽頭材料	便	髄液	尿	眼材料	血液	その他
名古屋市立大学	6	20	6	6	1	1		5	1
東部医療センター	1	11	1						
西部医療センター	2	7	2	2	1			2	
中 京	0	0							
名古屋第二赤十字	52	135	44	31	20	32		5	3
名古屋掖済会	1	1		1					
くつなこどもクリニック	0	0							
まじま眼科	13	13					13		
合 計	75	177	53	40	22	33	13	12	4

(1) 月別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和3年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アデノウイルス													
2型						1							1
37型				1			2	2	1		2		8
53型		1	1										2
64型									1	2			3
ヒコルナウイルス													
Echo-30										1			1
HRV-A						1							1
HRV-C				1									1
HPeV-1			1			1							2
ヘルペスウイルス													
VZV-C			1										1
EBV			1				1						2
CMV							1				1		2
HHV-7		1	2				1			1		1	6
パラミクソウイルス													
HPIV-3						1							1
ニューモウイルス													
RSV-A						1							1
パルボウイルス													
HBoV							1						1
コロナウイルス													
HCoV-OC43							1						1
合計	0	2	6	2	0	5	7	2	2	4	3	1	34
患者数	4	4	9	10	3	4	14	7	3	8	5	4	75
陽性率 (%)	0.0	50.0	66.7	20.0	0.0	125.0	50.0	28.6	66.7	50.0	60.0	25.0	45.3

※同一患者での重複感染あり。

Echo:エコーウイルス、HRV:ヒトライノウイルス、HPeV:ヒトパレコウイルス、VZV:水痘・帯状疱疹ウイルス、
 EBV:Epstein-Barrウイルス、CMV:サイトメガロウイルス、HHV:ヒトヘルペスウイルス、HPIV:ヒトパラインフルエンザウイルス、
 RSV:RSウイルス、HBoV:ヒトボカウイルス、HCoV:ヒトコロナウイルス

(2) 年齢別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和3年）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳～	不詳	合計	
アデノウイルス																				
2型	1																			1
37型																	8			8
53型																	2			2
64型																	3			3
ヒコルナウイルス																				
Echo-30	1																			1
HRV-A	1																			1
HRV-C	1																			1
HPeV-1	2																			2
ヘルペスウイルス																				
VZV-C													1							1
EBV				1									1							2
CMV	1			1																2
HHV-7						1							1		1	1	2			6
パラミクソウイルス																				
HPIV-3	1																			1
ニューモウイルス																				
hMPV	1																			1
パルボウイルス																				
HBov		1																		1
コロナウイルス																				
HCoV-OC43				1																1
合計	9	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	1	15	0		34
患者数	36	5	2	2	4	1	0	0	1	0	0	1	2	1	4	1	15	0		75
陽性率 (%)	25.0	20.0	0.0	150.0	0.0	100.0	-	-	0.0	-	-	0.0	150.0	0.0	25.0	100.0	100.0	-		45.3

※同一患者での重複感染例あり。

Echo:エコーウイルス、HRV:ヒトライノウイルス、HPeV:ヒトパレコウイルス、VZV:水痘・帯状疱疹ウイルス、EBV:Epstein-Barrウイルス、CMV:サイトメガロウイルス
 HHV:ヒトヘルペスウイルス、HPIV:ヒトパラインフルエンザウイルス、RSV:RSウイルス、HBov:ヒトボカウイルス、HCoV:ヒトコロナウイルス

(3) 診断名別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和3年）

	インフルエンザ様疾患	感染性胃腸炎	ヘルパンギーナ	手足口病	急性脳炎・急性脳症	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	不明発疹症	上気道炎	下気道炎	その他	不詳	合計
アデノウイルス														
2型					1									1
37型								8						8
53型								2						2
64型								3						3
ヒコルナウイルス														
Echo-30												1		1
HRV-A					1									1
HRV-C												1		1
HPeV-1		1										1		2
ヘルペスウイルス														
VZV-C												1		1
EBV					1							1		2
CMV					1							1		2
HHV-7									2			4	1	7
パラミクソウイルス														
HPIV-3					1									1
ニューモウイルス														
RSV-A					1									1
パルボウイルス														
HBoV					1									1
コロナウイルス														
HCoV-OC43					1									1
合計	0	1	0	0	8	0	0	13	2	0	0	10	1	35
患者数	0	1	0	0	3	8	0	13	2	0	4	44	2	77
陽性率 (%)	—	100.0	—	—	266.7	0.0	—	100.0	100.0	—	0.0	22.7	50.0	45.5

※同一患者での重複感染あり。

※同一患者での複数の臨床診断名あり。

Echo:エコーウイルス、HRV:ヒトライノウイルス、HPeV:ヒトパレコウイルス、VZV:水痘・帯状疱疹ウイルス、EBV:Epstein-Barrウイルス

CMV:サイトメガロウイルス、HHV:ヒトヘルペスウイルス、HPIV:ヒトパライノウイルス、RSV:RSウイルス、HBoV:ヒトボカウイルス、HCoV:ヒトコロナウイルス

エイズ対策

II エイズ対策

1 概況

本市における令和3年の新規報告件数（受理日で集計）は、H I V感染者44件、A I D S患者23件の計67件で、前年から7件増加した。

全国の状況は、H I V感染者が742件、A I D S患者が315件の計1,057件で、前年から38件減少した。

エイズ治療の進歩により、H I V感染を早期に発見することが益々重要になってきている。

本市においては、市民にとって利便性が高い夜間や休日（土曜日・日曜日）にもH I V検査を定例実施する等、検査機会の拡大を図った。

令和3年度に本市が実施したH I V検査件数は2,901件（陽性件数9件）となっている。

エイズに関する市民の理解促進を図るため、普及啓発事業として、地下鉄車両広告の作成・掲示、インターネット広告の掲載等を実施した。

2 名古屋市におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数等（受理日で集計）

(1) H I V感染者報告件数（令和3年）

7 H I V感染者報告件数

区分	男性	女性	計
H I V	40 (6)	4 (2)	44 (8)

注1：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく報告件数

注2：以下（ ）内は外国人（不明を含む）の再掲

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	3 (2)	37 (4)	- (-)	- (-)	40 (6)
女性	4 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (2)
計	7 (4)	37 (4)	- (-)	- (-)	44 (8)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	5 (2)	36 (4)	- (-)	- (-)	41 (6)
海外	1 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	2 (1)
不明	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
計	7 (4)	37 (4)	- (-)	- (-)	44 (8)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
20～29歳	3 (2)	9 (-)	- (-)	- (-)	12 (2)
30～39歳	2 (1)	18 (3)	- (-)	- (-)	20 (4)
40～49歳	1 (-)	4 (-)	- (-)	- (-)	5 (-)
50歳～	1 (1)	6 (1)	- (-)	- (-)	7 (2)
不明	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	7 (4)	37 (4)	- (-)	- (-)	44 (8)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	- (-)	9 (-)	20 (4)	4 (-)	7 (2)	- (-)	40 (6)
女性	- (-)	3 (2)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	4 (2)
計	- (-)	12 (2)	20 (4)	5 (-)	7 (2)	- (-)	44 (8)

(2) A I D S 患者報告件数 (令和3年)

7 A I D S 患者報告件数

区分	男性	女性	計
A I D S	23 (2)	- (-)	23 (2)

注：以下 () 内は外国人 (不明を含む) の再掲

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	3 (1)	15 (1)	1 (-)	4 (-)	23 (2)
女性	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	3 (1)	15 (1)	1 (-)	4 (-)	23 (2)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	3 (1)	14 (-)	1 (-)	3 (-)	21 (1)
海外	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
不明	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)
計	3 (1)	15 (1)	1 (-)	4 (-)	23 (2)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
20～29歳	2 (1)	5 (1)	- (-)	- (-)	7 (2)
30～39歳	- (-)	3 (-)	- (-)	1 (-)	4 (-)
40～49歳	- (-)	5 (-)	- (-)	1 (-)	6 (-)
50歳～	1 (-)	2 (-)	1 (-)	2 (-)	6 (-)
不明	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	3 (1)	15 (1)	1 (-)	4 (-)	23 (2)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	- (-)	7 (2)	4 (-)	6 (-)	6 (-)	- (-)	23 (2)
女性	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	- (-)	7 (2)	4 (-)	6 (-)	6 (-)	- (-)	23 (2)

(3) HIV感染者・AIDS患者累積報告件数（令和3年）

7 HIV感染者・AIDS患者報告件数

区分	男性	女性	計
HIV	1,009 (114)	109 (59)	1,118 (173)
AIDS	434 (47)	26 (12)	460 (59)
計	1,443 (161)	135 (71)	1,578 (232)

注1：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく報告件数。

平成11年3月31日以前は、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律に基づく報告件数

注2：平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告件数4件を含む。

注3：以下（ ）内は外国人（不明を含む。）の再掲

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	234 (51)	1,091 (70)	15 (7)	103 (32)	1,443 (160)
女性	107 (50)	- (-)	6 (3)	22 (19)	135 (72)
計	341 (101)	1,091 (70)	21 (10)	125 (51)	1,578 (232)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	227 (33)	1,043 (55)	12 (3)	42 (1)	1,324 (92)
海外	84 (49)	32 (9)	8 (6)	24 (22)	148 (86)
不明	30 (19)	16 (6)	1 (1)	59 (28)	106 (54)
計	341 (101)	1,091 (70)	21 (10)	125 (51)	1,578 (232)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	3 (1)	6 (-)	- (-)	- (-)	9 (1)
20～29歳	74 (35)	304 (23)	6 (4)	32 (24)	416 (86)
30～39歳	117 (44)	387 (30)	8 (5)	36 (19)	548 (98)
40～49歳	67 (11)	238 (11)	6 (1)	20 (5)	331 (28)
50歳～	80 (10)	156 (6)	1 (-)	36 (2)	273 (18)
不明	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)
計	341 (101)	1,091 (70)	21 (10)	125 (51)	1,578 (232)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	6 (-)	363 (44)	504 (74)	318 (24)	252 (15)	- (-)	1,443 (157)
女性	3 (1)	53 (42)	44 (24)	13 (4)	21 (3)	1 (1)	135 (75)
計	9 (1)	416 (86)	548 (98)	331 (28)	273 (18)	1 (1)	1,578 (232)

(4) HIV感染者・AIDS患者報告件数の推移

※ () 内は外国人(不明を含む。)の再掲

7 HIV感染者+AIDS患者

区分	平成元年 ~4年まで	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
異性間	10 (8)	2 (-)	3 (1)	4 (3)	4 (1)	4 (1)	3 (2)	2 (-)	7 (2)	12 (3)	16 (7)	8 (2)	4 (1)	9 (3)	22 (7)
同性間	4 (1)	2 (-)	3 (-)	8 (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	6 (-)	8 (-)	22 (1)	24 (1)	26 (2)	38 (2)	39 (-)	55 (2)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	2 (1)
不明	8 (8)	2 (2)	4 (4)	3 (2)	4 (3)	4 (3)	2 (2)	4 (2)	3 (1)	4 (3)	8 (5)	10 (1)	8 (2)	7 (1)	3 (-)
計	22 (17)	6 (2)	10 (5)	15 (5)	8 (4)	10 (4)	7 (4)	13 (2)	18 (3)	39 (8)	48 (13)	44 (5)	51 (5)	56 (4)	82 (10)

区分	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年
異性間	19 (10)	18 (5)	12 (3)	23 (3)	10 (3)	16 (4)	19 (4)	19 (5)	19 (6)	21 (2)	10 (2)	13 (4)	15 (3)	17 (6)	10 (5)
同性間	69 (5)	55 (4)	46 (2)	80 (2)	90 (1)	83 (5)	60 (2)	55 (6)	60 (6)	50 (2)	38 (2)	71 (9)	54 (5)	41 (11)	52 (5)
その他	1 (-)	1 (1)	- (-)	3 (1)	1 (-)	2 (1)	4 (3)	- (-)	1 (1)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
不明	10 (4)	9 (1)	5 (1)	2 (-)	4 (2)	- (-)	3 (2)	8 (-)	1 (-)	3 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	2 (1)	4 (-)
計	99 (19)	83 (11)	63 (6)	108 (6)	105 (6)	101 (10)	86 (11)	82 (11)	81 (13)	75 (4)	50 (5)	85 (13)	71 (8)	60 (18)	67 (10)

イ HIV感染者

区分	平成元年 ~4年まで	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
異性間	9 (7)	1 (-)	3 (1)	1 (1)	1 (-)	4 (1)	3 (2)	- (-)	5 (2)	10 (3)	13 (7)	7 (2)	2 (1)	5 (3)	17 (6)
同性間	2 (-)	2 (-)	2 (-)	4 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	5 (-)	7 (0)	19 (1)	22 (1)	22 (1)	32 (1)	31 (-)	43 (2)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	2 (1)
不明	8 (8)	2 (2)	3 (3)	2 (1)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	3 (1)	3 (3)	6 (3)	7 (-)	3 (1)	3 (-)	1 (-)
計	19 (15)	5 (2)	8 (4)	7 (2)	5 (3)	7 (2)	5 (3)	10 (2)	15 (3)	33 (8)	41 (11)	36 (3)	38 (3)	39 (3)	63 (9)

区分	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年
異性間	12 (5)	9 (3)	6 (1)	11 (2)	6 (1)	11 (4)	13 (4)	10 (3)	9 (3)	16 (2)	4 (1)	6 (3)	9 (3)	13 (5)	7 (4)
同性間	52 (4)	42 (4)	27 (0)	54 (2)	56 (1)	60 (5)	42 (2)	42 (5)	39 (4)	38 (0)	30 (1)	58 (9)	45 (5)	35 (8)	37 (4)
その他	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (-)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)
不明	7 (3)	- (0)	4 (1)	2 (0)	4 (2)	- (-)	1 (1)	5 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	0 (-)
計	72 (12)	51 (7)	37 (2)	68 (5)	67 (4)	72 (9)	57 (8)	57 (8)	49 (7)	55 (2)	35 (3)	64 (12)	55 (8)	48 (13)	44 (8)

ウ AIDS患者

区分	平成元年 ~4年まで	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
異性間	1 (1)	1 (-)	- (-)	3 (2)	3 (1)	- (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	2 (-)	3 (-)	1 (-)	2 (-)	4 (-)	5 (1)
同性間	2 (1)	- (-)	1 (-)	4 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	3 (-)	2 (-)	4 (1)	6 (1)	8 (-)	12 (-)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)
不明	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	3 (2)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	2 (2)	3 (1)	5 (1)	4 (1)	2 (-)
計	3 (2)	1 (-)	2 (1)	8 (3)	3 (1)	3 (2)	2 (1)	3 (-)	3 (-)	6 (-)	7 (2)	8 (2)	13 (2)	17 (1)	19 (1)

区分	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年
異性間	7 (5)	9 (2)	6 (2)	12 (1)	4 (2)	5 (-)	6 (-)	9 (2)	10 (3)	5 (-)	6 (1)	7 (1)	6 (-)	4 (1)	3 (1)
同性間	17 (1)	13 (-)	19 (2)	26 (-)	34 (0)	23 (-)	18 (-)	13 (1)	21 (2)	12 (2)	8 (1)	13 (-)	9 (-)	6 (3)	15 (1)
その他	- (-)	1 (1)	- (-)	2 (-)	- (-)	1 (1)	3 (2)	- (-)	1 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	1 (-)
不明	3 (1)	9 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)	3 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (1)	4 (-)
計	27 (7)	32 (4)	26 (4)	40 (1)	38 (2)	29 (1)	29 (3)	25 (3)	32 (6)	20 (2)	15 (2)	21 (1)	16 (-)	12 (5)	23 (2)

(5) A I D S 患者指標疾病別内訳（令和3年）

指標疾病名	件数	割合
ニューモシスティス肺炎	11	45.8%
カンジダ症（食道、気管、気管支、肺）	3	12.5%
サイトメガロウイルス感染症（生後1か月以後で、肝、脾、リンパ節以外）	3	12.5%
HIV消耗性症候群（全身衰弱またはスリム病）	2	8.3%
非ホジキンリンパ腫	2	8.3%
トキソプラズマ脳症（生後1か月以後）	1	4.2%
活動性結核（肺結核又は肺外結核）	1	4.2%
進行性多巣性白質脳症	1	4.2%
計	24	100.0%

注：件数は延べ件数

3 日本におけるH I V感染者・A I D S 患者報告件数（累計）

（エイズ発生動向委員会発表、令和4年6月26日現在）

(1) H I V 感染者

	男 性		女 性		合 計	
異性間性的接触	3,878	(533)	1,774	(911)	5,652	(1,444)
同性間性的接触 *1	14,434	(1,086)	6	(1)	14,440	(1,087)
静注薬物濫用	78	(31)	6	(4)	84	(35)
母子感染	26	(8)	19	(9)	45	(17)
その他 *2	547	(97)	76	(34)	623	(131)
不 明	1,986	(510)	723	(582)	2,709	(1,092)
合 計	20,949	(2,265)	2,604	(1,541)	23,553	(3,806)

(2) A I D S 患者

	男 性		女 性		合 計	
異性間性的接触	2,791	(338)	536	(248)	3,327	(586)
同性間性的接触 *1	4,474	(244)	5	(2)	4,479	(246)
静注薬物濫用	62	(29)	7	(3)	69	(32)
母子感染	11	(1)	9	(6)	20	(7)
その他 *2	324	(40)	44	(18)	368	(58)
不 明	1,884	(445)	291	(176)	2,175	(621)
合 計 *3	9,546	(1,097)	892	(453)	10,438	(1,550)

注：（ ）内は外国国籍の再掲

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血等に伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

(3) 死亡者報告数

ア 感染症法施行後の任意報告数（平成11年4月1日～令和4年6月30日） 479名

イ エイズ予防法に基づく法定報告数（平成元年2月17日～平成11年3月31日） 596名

(4) 血液凝固因子製剤による感染者数 *4

1,440名（男性1,422名、女性18名）

*4 「血液凝固異常症全国調査」による令和3年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

(5) HIV感染者・AIDS患者報告件数感染経路別年次推移

(単位：件)

区分	60年	61年	62年	63年	平成 元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	31年	令和 元年	2年	3年	累計	
総 数	異性間の性的接触	-	-	26	12	40	34	123	253	170	194	227	287	312	283	372	331	352	336	309	335	337	363	375	367	342	322	330	294	310	299	291	284	248	246	192	153	144	8,893
	同性間の性的接触	6	4	33	18	47	30	43	58	61	122	108	151	156	180	256	291	405	413	452	609	664	768	886	968	904	974	984	962	1,053	1,047	941	976	935	875	831	733	693	18,637
	静注薬物濫用	-	-	-	-	1	2	3	3	2	3	2	5	4	7	4	2	3	3	6	5	10	7	6	10	8	7	5	8	5	7	5	2	4	2	3	8	1	153
	母子感染	-	-	-	-	-	3	1	1	4	4	3	9	4	2	3	5	2	3	1	2	1	1	-	-	-	3	1	-	1	2	1	-	4	1	1	1	1	65
	その他・不明	-	1	8	6	7	6	1	7	6	6	5	9	11	4	19	22	23	14	29	31	20	55	54	42	49	55	47	26	37	35	27	39	44	35	62	54	71	967
	不明	-	-	2	1	6	22	67	171	120	105	101	149	160	177	177	140	168	153	179	183	167	164	179	170	149	183	162	159	184	156	169	147	154	158	147	146	147	4,822
	合 計	6	5	69	37	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389	1,317	1,236	1,095	1,057	33,537
H I V	異性間の性的接触	-	-	21	6	36	26	114	232	136	148	147	169	186	179	207	169	213	203	178	200	203	223	221	220	210	195	206	180	194	179	196	170	149	157	136	96	91	5,596
	同性間の性的接触	-	-	25	12	35	20	25	44	45	77	68	102	121	134	201	218	314	329	356	468	529	604	729	779	694	744	722	724	780	789	691	735	709	670	651	543	531	14,218
	静注薬物濫用	-	-	-	-	1	1	3	3	1	1	1	1	2	5	3	1	3	1	4	3	3	4	3	5	5	3	4	5	2	3	2	1	3	-	2	5	-	84
	母子感染	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	3	8	2	1	2	3	1	3	-	1	1	1	-	-	-	3	1	-	1	1	1	-	3	1	-	1	1	45
	その他	-	-	7	5	5	4	1	6	4	2	3	4	8	2	13	10	12	5	18	20	11	40	25	29	34	38	32	18	23	24	21	23	22	24	38	34	41	606
	不明	-	-	2	-	3	13	57	156	90	68	55	92	78	101	104	61	78	73	84	88	85	80	104	93	78	92	91	75	106	95	95	82	90	88	76	71	78	2,682
	合 計	-	-	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	742	23,231
A I D S	異性間の性的接触	-	-	5	6	4	8	9	21	34	46	80	118	126	104	165	162	139	133	131	135	134	140	154	147	132	127	124	114	116	120	95	114	99	89	56	57	53	3,297
	同性間の性的接触	6	4	8	6	12	10	18	14	16	45	40	49	35	46	55	73	91	84	96	141	135	164	157	189	210	230	262	238	273	258	250	241	226	205	180	190	162	4,419
	静注薬物濫用	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	1	4	2	2	1	1	-	2	2	2	7	3	3	5	3	4	1	3	3	4	3	1	1	2	1	3	1	69
	母子感染	-	-	-	-	-	1	1	-	3	2	-	1	2	1	1	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	20
	その他	-	1	1	1	2	2	-	1	2	4	2	5	3	2	6	12	11	9	11	11	9	15	29	13	15	17	15	8	14	11	6	16	22	11	24	20	30	361
	不明	-	-	-	1	3	9	10	15	30	37	46	57	82	76	73	79	90	80	95	95	82	84	75	77	71	91	71	84	78	61	74	65	64	70	71	75	69	2,140
	合 計	6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	10,306

4 本市のエイズ対策（令和3年度）

(1) エイズ対策の概要

種別	事業内容	対象	時期	説明
相談・検査	相談と無料匿名検査の実施	一般市民	通年	昼間検査（即日・通常検査） 即日：3保健センターで月1回 通常：13保健センターで月1回
		一般市民	通年	夜間検査（即日検査） ※千種（第2金）・中保健センター（第3木） で各月1回
		一般市民	通年	土曜日検査（即日検査・委託） ※(財)公衆保健協会で月2回（第1・第3）
		一般市民	通年	日曜日検査（即日検査・委託） ※栄ナディアパークで月2回（第2・第4）
		一般市民	通年	平日昼間HIV検査に併せて梅毒検査、性器クラミジア感染症検査を無料匿名で実施
	一般市民	12月	国際デザインセンターにてITを活用したHIV等臨時検査会（iTesting@Nagoya）の実施 日時：12月5日（日）10：00～16：00	
	検査時におけるカウンセリングの実施	一般市民	通年	平日昼間即日HIV検査時等において、HIV相談員によるカウンセリングを実施（平成28年度から配置）
	リーフレット（外国語版）配布	一般市民	通年	保健センター・国際センター等で配布 ※英語、ポルトガル語等7カ国語
	リーフレット（中学生向け）配布	中学生	3月	市内全中学3年生に配布
	地下鉄への予防啓発ステッカーの掲載	一般市民	8月、11月	名古屋市営地下鉄へのステッカーの掲出
	インターネットを利用した予防啓発	一般市民	11月	Yahoo!を利用したインターネットバナー広告等を実施
	世界エイズデー関連事業 レッドリボンライブの実施	一般市民	11月	FM AICHIにおいて、HIV/エイズの予防啓発にかかるラジオ番組を放送 日時：11月21日（日）19：00～20：00
	成人式チラシを配布	新成人	1月	成人式で配布されるチラシに、梅毒の予防啓発に関する記事を掲載
人材育成	HIV／エイズ基礎研修会	保健センター職員	6月	基礎知識について研修（Web開催）
	医療従事者向け講演会の実施	医療従事者等	3月	市医師会共催（Web開催）
その他	エイズ対策懇談会の開催	医療従事者・学識経験者等	3月	本市エイズ対策に関する情報提供（書面開催）

(2) エイズ相談件数・HIV検査採血件数

	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総数	1,503 (2,901)	182 (237)	148 (162)	82 (154)	149 (296)	148 (247)	65 (141)	179 (364)	139 (291)	207 (544)	94 (221)	58 (113)	52 (131)
千種	83 (62)	6 (7)	5 -	4 (9)	13 (12)	5 -	7 -	7 (10)	7 (13)	10 (11)	8 -	6 -	5 -
東	111 (83)	15 (12)	- -	- -	16 (16)	10 (9)	2 -	13 (11)	14 (10)	38 (25)	- -	- -	3 -
北	66 (51)	9 (6)	2 -	9 (8)	13 (10)	2 -	- -	10 (10)	7 (7)	11 (10)	1 -	- -	2 -
西	125 (84)	15 (7)	37 (17)	2 -	- (8)	7 (9)	1 -	22 (18)	8 (5)	27 (20)	1 -	1 -	4 -
中村	111 (70)	20 (15)	7 -	3 -	16 (13)	18 (13)	7 -	16 (9)	11 (11)	13 (9)	- -	- -	- -
中	207 (128)	28 (14)	45 (16)	12 -	11 (17)	17 (16)	10 -	15 (16)	9 (14)	17 (16)	12 (19)	18 -	13 -
昭和	93 (91)	11 (10)	6 -	10 (14)	7 (9)	2 -	6 -	16 (23)	8 (16)	10 (19)	6 -	6 -	5 -
瑞穂	143 (107)	7 (5)	18 (19)	3 -	19 (13)	16 (13)	5 -	14 (12)	20 (14)	18 (12)	22 (19)	1 -	- -
熱田	35 (124)	4 (14)	3 (11)	6 -	5 (9)	2 (12)	3 -	4 (20)	5 (16)	3 (12)	- (30)	- -	- -
中川	25 (87)	5 (13)	3 -	8 (11)	- (14)	- (10)	- -	3 (13)	1 (12)	5 (14)	- -	- -	- -
港	36 (47)	4 (5)	2 -	2 -	2 (5)	3 (7)	2 -	3 (9)	3 (7)	3 (6)	5 (8)	3 -	4 -
南	60 (52)	7 (6)	5 (3)	5 -	3 (7)	6 (4)	7 -	5 (11)	9 (5)	5 (16)	5 -	- -	3 -
守山	30 (76)	3 (7)	3 -	3 -	3 (9)	3 (9)	3 -	3 (16)	3 (10)	3 (9)	3 (16)	- -	- -
緑	172 (73)	15 (3)	8 -	1 -	20 (9)	31 (16)	2 -	25 (14)	15 (7)	27 (12)	25 (12)	3 -	- -
名東	131 (57)	23 (10)	4 -	3 -	11 (6)	19 (13)	5 -	18 (12)	11 (8)	12 (8)	5 -	13 -	7 -
天白	49 (50)	6 (6)	- -	9 (12)	6 (9)	3 -	5 -	2 (2)	5 (11)	3 (10)	- -	5 -	5 -
夜間 (千種)	. (96)	. (16)	. -	. -	. (16)	. (14)	. -	. (14)	. (13)	. (14)	. (9)	. -	. -
夜間 (中)	. (113)	. (21)	. -	. -	. (21)	. (19)	. -	. (20)	. (16)	. (16)	. -	. -	. -
日曜日	. (683)	. (42)	. (55)	. (55)	. (60)	. (48)	. (71)	. (61)	. (47)	. (67)	. (59)	. (51)	. (67)
土曜日	. (569)	. (18)	. (41)	. (45)	. (33)	. (35)	. (70)	. (63)	. (49)	. (40)	. (49)	. (62)	. (64)
臨時検査	. (198)	. -	. -	. -	. -	. -	. -	. -	. -	. (198)	. -	. -	. -
感染症対策室	26 .	4 .	- .	2 .	4 .	4 .	- .	3 .	3 .	2 .	1 .	2 .	1 .

注：1. ()内はエイズ検査のための採血件数
2. コロナにより定例の検査会を一部休止、縮小

(3) HIV検査採血件数年度別（次記(4)を除く。）

期間	採血件数		うち夜間採血件数		うち土曜日採血件数		うち日曜日採血件数	
		()		()		()		()
昭和62年度	42	(1)						
63年度	154	(-)						
平成元年度	140	(-)						
2年度	194	(-)						
3年度	860	(-)						
4年度	3,885	(1)						
5年度	2,936	(2)						
6年度	2,231	(2)						
7年度	1,763	(2)						
8年度	2,311	(2)						
9年度	1,617	(2)						
10年度	1,999	(1)						
11年度	1,740	(-)						
12年度	1,709	(5)						
13年度	2,506	(8)						
14年度	2,042	(9)						
15年度	2,551	(10)	609	(2)				
16年度	3,286	(12)	341	(3)			874	(2)
17年度	3,185	(14)	301	(1)			886	(5)
18年度	3,385	(16)	259	(2)			894	(4)
19年度	4,244	(14)	459	(1)			957	(4)
20年度	4,934	(21)	822	(5)			984	(5)
21年度	3,937	(14)	422	(2)	229	(1)	996	(3)
22年度	4,510	(33)	366	(6)	1,212	(7)	874	(5)
23年度	4,671	(16)	531	(3)	1,283	(3)	934	(4)
24年度	4,630	(19)	849	(5)	1,306	(1)	777	(3)
25年度	5,042	(21)	946	(3)	1,289	(2)	836	(6)
26年度	4,998	(30)	1,033	(7)	1,342	(6)	878	(8)
27年度	4,787	(15)	996	(2)	1,210	(7)	928	(3)
28年度	4,516	(14)	867	(1)	1,164	(6)	888	(2)
29年度	5,653	(13)	798	(2)	1,090	(4)	898	(4)
30年度	6,459	(23)	694	(3)	1,080	(4)	811	(8)
令和元年度	6,155	(21)	650	(2)	763	(5)	595	(1)
2年度	858	(3)	60	(-)	30	(-)	470	(3)
3年度	2,703	(8)	209	(0)	569	(3)	683	(1)

注1：()内は陽性件数

注2：抗体検査開始は昭和63年2月（各区保健所）

注3：夜間検査は平成15年4月から千種保健所、平成19年11月から中保健所において毎月1回実施、平成24年4月から即日検査で実施

注4：土曜日検査は平成22年1月から中保健所において毎月2回、即日検査で実施、令和3年度から(財)公衆保健協会に委託

注5：日曜日検査は平成16年7月から青少年文化センターにおいて開始
平成17年10月から事前予約制、平成25年3月より携帯サイト予約を導入
NPO法人HIVと人権・情報センターに運営委託

注6：日曜日検査は令和元年12月から令和2年8月まで休止
令和2年9月から(財)公衆保健協会に委託して再開

(4) 臨時検査実施状況（同性愛者等対象検査会）

	令和2年度		令和3年度	
			採血件数	陽性件数
NLGR+	新型コロナの影響で中止		-	-
性感染症無料検査会			-	-
iTesting@Nagoya	-	-	198	1
計	-	-	198	1

注1：名古屋医療センターに委託し実施

注2：令和2年度以降のNLGR+及び性感染症無料検査会は中止

注3：令和3年度のiTesting@Nagoyaは、12月に国際デザインセンターで実施。当日は採血のみ、結果は翌日以降に結果通知サイトにて通知

(5) HIV啓発事業

ア なごやHIV・性感染症ガイド

令和3年4月からHIV・性感染症にかかる本市公式サブサイトを運用

イ リーフレット

- ・外国人向け 英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、ハンデル、及びやさしい日本語の計7ヶ国語のリーフレットを作製し、保健センター、国際センター等に設置
- ・中学生向け 市内全中学校の3年生を対象に、エイズに関する理解促進を目的としたリーフレットを作製し配布

ウ 地下鉄車両広告

令和3年8月にツインステッカーを、11月に扉ステッカーを各1か月間、全線の地下鉄（上飯田線、広告貸切電車、女性専用車両を除く）に掲出し、検査広報を実施

エ インターネット広告

令和3年11月にYahoo! バナー広告とテキスト広告を掲出し、臨時検査会の広報と、検査予約定員到達後は世界エイズデーについて周知

オ RED RIBBON LIVE 2021

11月21日（日）に本市職員と名古屋市立大学医学部生による特別ラジオ番組を、(株)エフエム愛知との共催により開催

カ 啓発資材

一般市民を対象に、検査日程等の周知を目的としたアルコールジェルを作製し、保健センター、名古屋市立大学、同性愛者団体等へ配布

キ 啓発動画

一般市民向けに、HIV/エイズの基礎知識や本市が実施するHIV検査について周知するための動画（基礎知識編及び検査編各15秒）を作製し、「なごやHIV・性感染症ガイド」や、名古屋市公式Youtube「まるはっちゅ〜ぶ」に掲載

ク 成人式チラシ

成人式で配布されるチラシに、梅毒及び性器クラミジアの予防啓発に関する記事を掲載

インフルエンザ対策

Ⅲ インフルエンザ対策

令和3年9月からのシーズンでは、学級閉鎖等の措置がとられた施設はなかった。

1 区別措置状況

措置がとられた施設はなかった。

2 施設別患者数等

	延べ施設数	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	在籍者数	患者数	欠席者数
保育園	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-
小学校	-	-	-	-	-	-	-
中学校	-	-	-	-	-	-	-
高校	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-	-
全国	1	-	-	1	120	21	3

注) 全国の数値は、厚生労働省のインフルエンザ様疾患発生報告（最終報：令和4年3月18日）による。

3 検査結果

ウイルス検査は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。

4 過去の集団かぜ発生状況

		23年～24年	24年～25年	25年～26年	26年～27年	27年～28年						
初発		23. 11. 14 港区 呉武幼稚園	25. 1. 10 熱田区 名古屋工学院 専門学校	25. 12. 13 千種区 千種聾学校	26. 10. 28 名東区 高針台中学校	27. 10. 6 西区 山田小学校						
ウイルス検査	検査実施施設	(天白区) 表山小学校 (緑区) 大清水小学校 (名東区) 極楽小学校	(緑区) 緑小学校 (南区) 呼続小学校 (北区) 楠小学校	(千種区) 上野小学校 (南区) 大磯小学校 (中川区) 昭和橋小学校	(守山区) 白沢小学校 (南区) 新郊中学校 (中川区) 荒子小学校 (西区) 那古野小学校	(西区) 枇杷島小学校 (緑区) 南陵小学校 (中川区) 篠原小学校 (千種区) 上野小学校						
	分離型	インフルエンザウイルス A香港型	インフルエンザウイルス A香港型/B型	インフルエンザウイルス A香港型/B型	インフルエンザウイルス A香港型	インフルエンザウイルス A(2009)/B型						
措置発生区		16区	16区	16区	16区	16区						
		施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	
措置数	学年・学級閉鎖	高校	1	1	6	7	3	3	3	4	5	5
		中学校	43	100	30	38	33	63	38	77	102	166
		小学校	228	308	260	325	270	312	355	454	592	788
		幼稚園	65	87	37	47	40	43	45	56	56	63
		保育園	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
		その他	10	24	7	15	9	16	1	1	6	9
		計	347	520	340	432	357	440	442	592	761	1031
	休校(休園)	高校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		幼稚園	3	16	4	16	3	13	2	10	6	34
		保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	3	16	4	16	3	13	2	10	6	34		
欠席者数(人)		4,651	4,225	4,121	5,854	9,944						
最終年月日		24.5.24	25.5.21	26.5.19	27.4.30	28.4.12						

		28年～29年	29年～30年	30年～31年	31年～令和2年	2年～3年	3年～4年							
初発		28. 10. 13 北区 清水小学校	29.10.23 名東区 高針台中学校	30.9.10 北区 名北小学校	1.9.9 天白区 山根小学校	- - -	- - -							
ウイルス検査	検査実施施設	(名東区) 藤森中学校 (瑞穂区) 中根小学校 (港区) 中川小学校 (中川区) 春田小学校 (守山区) 二城小学校	(守山区) 志段味東小学校 (南区) 宝南小学校 (北区) 楠西小学校 (西区) 名塚中学校 (北区) 杉村小学校 (昭和区) 松栄小学校	(北区)名北小学校 (名東区)平和が丘小学校 (南区)大磯小学校 (西区)中小田井小学校 (守山区)大森北小学校 (昭和区)伊勝小学校 (中村区)諏訪小学校 (天白区)平針小学校 (西区)山田小学校	(天白区) 山根小学校 (南区) 呼続小学校 (中川区) 八熊小学校 (守山区) 瀬古小学校	新型コロナウイルス感染症発生のため、中止	新型コロナウイルス感染症発生のため、中止							
	分離型	インフルエンザウイルス A香港型	インフルエンザウイルス A香港型/A(2009)/B型	インフルエンザウイルス A(2009)/B型	インフルエンザウイルス A(2009)/B型	/		/						
措置発生区		16 区	16 区	16 区	16 区	-	-							
		施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数			
措置数	学年・学級閉鎖	高 校	21	30	15	16	5	7	3	3	-	-	-	-
		中学校	70	114	69	88	33	53	42	76	-	-	-	-
		小学校	381	497	559	706	339	449	328	415	-	-	-	-
		幼稚園	38	42	68	76	60	75	34	40	-	-	-	-
		保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	5	9	2	2	4	6	-	-	-	-	-	-
	計	515	692	713	888	441	590	407	534	0	0	0	0	
休校(休園)	高 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	幼稚園	1	6	3	14	5	23	2	4	-	-	-	-	
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	2	7	1	4	-	-	-	-	-	-	
計	1	6	5	21	6	27	2	4	0	0	0	0		
欠席者数(人)		6,686	8,723	5,822	5,422	-	-							
最終年月日		29.7.3	30.5.14	1.7.8	2.6.25	-	-							

そ の 他

VI その他

1 感染性胃腸炎の集団発生（令和3年度・感染症対策室感染症係把握分・食中毒を除く。）

(1) 施設区別・月別（件数及び有症者数）

区分	高齢者施設		障害者福祉施設		児童・保育施設		医療機関		その他		計	
	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者
4月	-	-	-	-	11	361	-	-	-	-	11	361
5月	-	-	1	24	8	249	-	-	-	-	9	273
6月	-	-	-	-	3	128	-	-	-	-	3	128
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9月	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	1	27
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月	1	30	-	-	2	38	-	-	-	-	3	68
12月	1	16	-	-	2	37	-	-	-	-	3	53
1月	1	21	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21
2月	1	13	-	-	2	41	-	-	-	-	3	54
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	4	80	1	24	29	881	-	-	-	-	34	985

(2) 施設区別・区別（件数）

区分	高齢者施設	障害者福祉施設	児童・保育施設	医療機関	その他	計
千種	1	-	-	-	-	1
東	1	-	-	-	-	1
北	1	-	4	-	-	5
西	-	-	-	-	-	-
中村	-	-	3	-	-	3
中	-	-	4	-	-	4
昭和	-	-	2	-	-	2
瑞穂	-	-	-	-	-	-
熱田	1	-	-	-	-	1
中川	-	-	3	-	-	3
港	-	-	4	-	-	4
南	-	-	-	-	-	-
守山	-	-	1	-	-	1
緑	-	-	4	-	-	4
名東	-	-	3	-	-	3
天白	-	1	1	-	-	2
計	4	-	29	-	-	34

2 浸水被害発生状況（令和3年度）

令和3年度は、本市内の公共的な場所において浸水被害の発生はなかった。

3 疫学調査等実施状況（令和3年度）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症等の発生に伴う疫学調査の実施状況等を示したものである。

		千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計		
三類感染症関係疫学調査実施状況（人数）	コ レ ラ	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	国内	3	-	-	1	18	21	-	-	1	10	5	1	6	4	-	2	-	72
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	腸チフス	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3
	パラチフス	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	国内	3	-	-	1	18	21	-	-	1	10	8	1	6	5	-	2	-	76
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3
四類感染症関係疫学調査実施状況	件数	-	-	1	4	4	1	-	2	-	4	2	4	1	3	-	6	-	32	
	人数	-	-	1	4	4	1	-	2	-	4	5	4	1	5	-	5	-	36	
五類感染症関係疫学調査実施状況	件数	4	-	-	1	-	5	1	-	8	3	2	3	1	6	4	1	-	39	
	人数	6	-	-	-	-	166	5	-	8	305	9	3	103	131	3	1	-	740	

注1：令和3年度は一類感染症及び二類感染症（結核を除く）の発生はなかった。

注2：疑い事例や接触者調査を含む

参 考 资 料

HIV／性感染症検査アンケート結果 令和3(2021)年度実施分

<方法>

令和3年度に実施された平日昼間検査(各区保健センター)、平日夜間検査(千種、中保健センター)、土曜日検査及び日曜日検査の各 HIV／性感染症検査(平日昼間検査以外は HIV 検査のみを実施)において調査票が回収された延べ 2,753 人を対象として分析を行った。集計は検査時間帯別に、平日昼間、平日夜間、土曜日、日曜日の4区分で行い、平日夜間については千種及び中保健センターの集計結果を再掲した。各検査時間帯のアンケート回答者数、検査件数及び回収割合は表1の通りである。回答者数はすべて延べ人数である。アンケートは回答したが検査を受けなかった者も存在するため、アンケート回答者数が検査件数を上回る場合がある。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて一部の会場では実施されなかった質問が存在するため、回答者数が表1とは異なる質問が存在する。

表1. 検査時間帯・性別－回答者数(延べ人数)

	回答者数(人)					検査件数	回収割合(%)
	全体	男性	女性	その他	無回答		
平日昼間	1,285	894	383	6	2	1,242	100.0
平日夜間	210	160	48	1	1	209	100.0
(再掲) 千種夜間	96	77	17	1	1	96	100.0
(再掲) 中夜間	114	83	31	-	-	113	100.0
土曜日	574	451	121	2	-	569	100.0
日曜日	684	538	140	5	1	683	100.0
全体	2,753	2,043	692	14	4	2,703	100.0

※アンケート回答者の中に検査を受けなかった者がいるため、回答者数が検査件数を上回る場合がある。
 ※一部の検査会場では実施しなかった質問がある。そのため、回答者数が上表とは異なる質問が存在する。

<結果>

1. 各質問の集計結果

問1. 性別

男性の割合は、回答者全体の74.2%であった。検査時間帯別にみると、男性の割合は日曜日が78.7%で最も高く、以下は土曜日が78.6%、平日夜間が76.2%、平日昼間が69.6%の順であった。

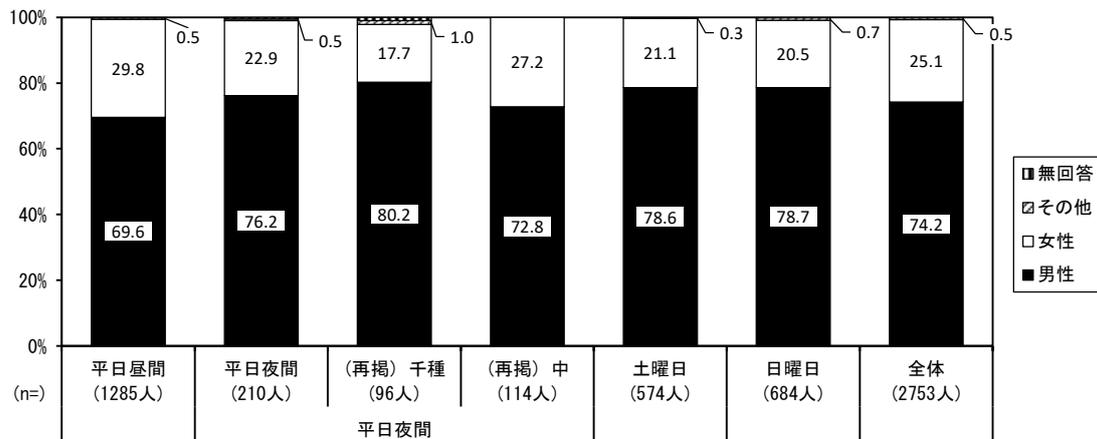


図1. 検査時間帯別－回答者の性別

問2. 年齢層

30歳以下の割合は、回答者全体の73.4%であった。検査時間帯別にみると、30歳以下の割合は土曜日が77.9%で最も高く、以下は平日夜間が77.1%、日曜日が76.9%、平日昼間が69.0%の順であった。

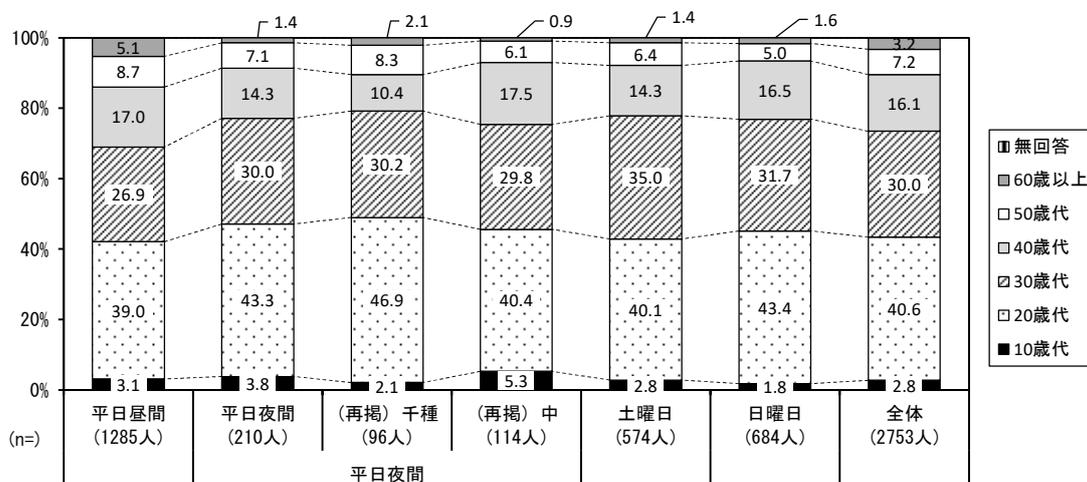


図2. 検査時間帯別－回答者の年齢層

回答者の年齢層について、経年変化を図3に示した。30歳以下の割合は、平成30年度から4年連続で上昇した。令和3年度は30歳以下の割合が73.4%で、前年度の72.6%より0.8ポイント上昇した。

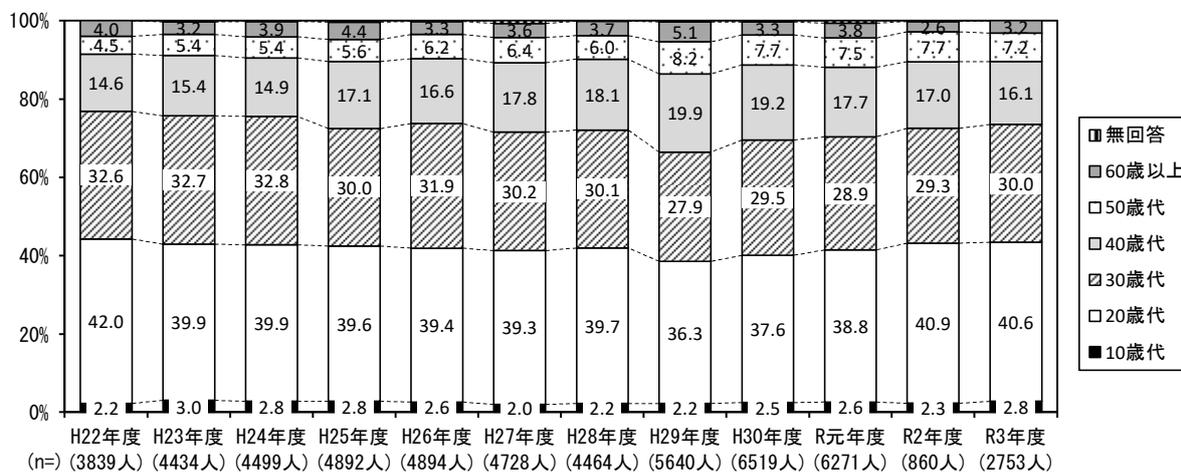


図3. 経年変化－回答者の年齢層

(年齢層別に応じた男女割合)

年齢層別に回答者の男女割合をみると、10歳代では男性の割合が53.9%であったが、年齢層が高くなるにつれて男性の割合が上昇し、60歳以上では90.9%が男性であった。

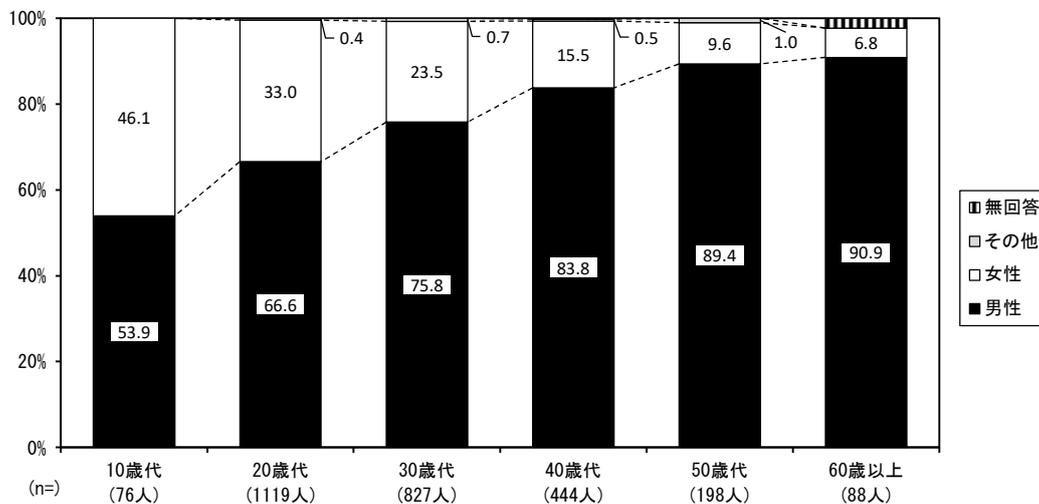


図4. 年齢層別—回答者の男女割合

(性・年齢層別に応じた今年度と前年度の回答者数比較)

令和3年度の検査件数は2,703件であり、前年度の858件より1,845件(215.0%)増加した。

アンケート回答者数も、令和3年度は2,753人であり、前年度の860人より1,893人(220.0%)増加した。性・年齢層別に回答者数をみると、すべての性・年齢層において、回答者数は前年度より増加した。

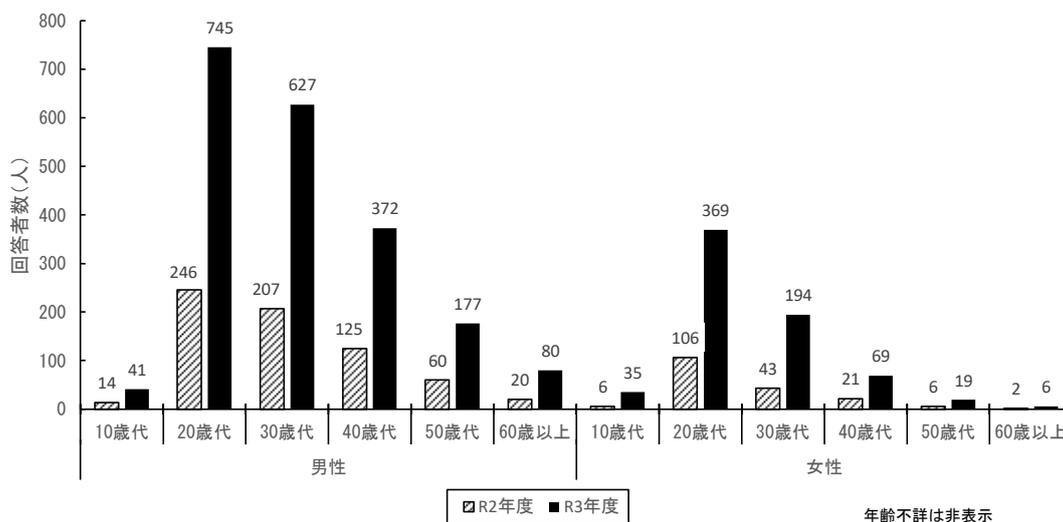


図5. 性・年齢層別に応じた今年度と前年度の回答者数の比較

問 3. 居住地

回答者全体に占める名古屋市内在住者の割合は 67.6%で、前年度の 65.9%から 1.7 ポイント上昇した。検査時間帯別にみると、市内在住者の割合は平日昼間が 74.1%で最も高く、以下は平日夜間が 71.9%、日曜日が 62.6%、土曜日が 57.3%の順であった。愛知県外在住者の割合は、日曜日が 6.6%で最も高く、以下は土曜日が 5.9%、平日夜間が 4.3%、平日昼間が 3.3%の順であった。

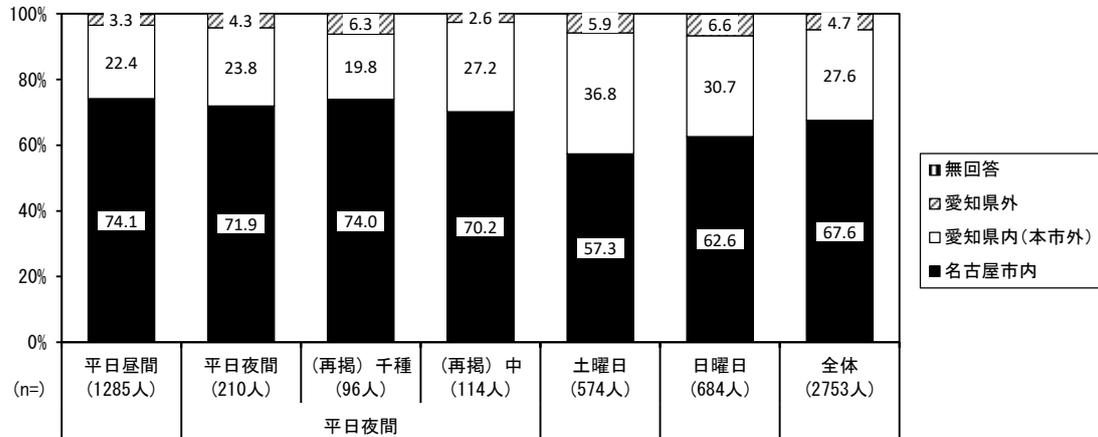


図 6. 検査時間帯別－回答者の居住地

問 4. 今回の検査を知った情報源

回答者全体では、「名古屋市ホームページ」と回答した人が 75.9%で最も多く、以下は「友人・知人」が 7.7%、「民間ホームページ」が 5.3%の順であった。各検査時間帯とも「名古屋市ホームページ」が最も多かった。

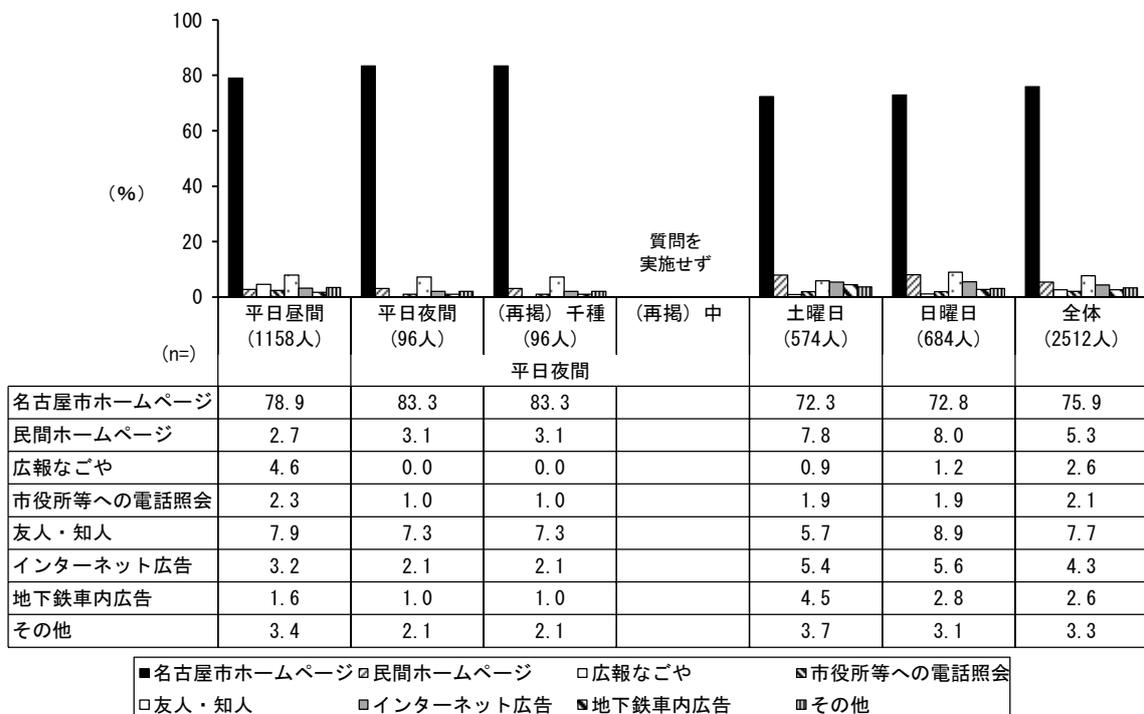


図 7. 検査時間帯別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

今回の検査を知った情報源を年齢層別にみると、すべての年齢層で「名古屋市ホームページ」が最も多かった。「名古屋市ホームページ」と回答した人の割合は30歳代が最も高かった。2番目に多かった情報源は、10～20歳代では「友人・知人」、30歳代では「民間ホームページ」、40歳代では「インターネット広告」、50歳代では「友人・知人」・「インターネット広告」、60歳以上では「広報なごや」であった。

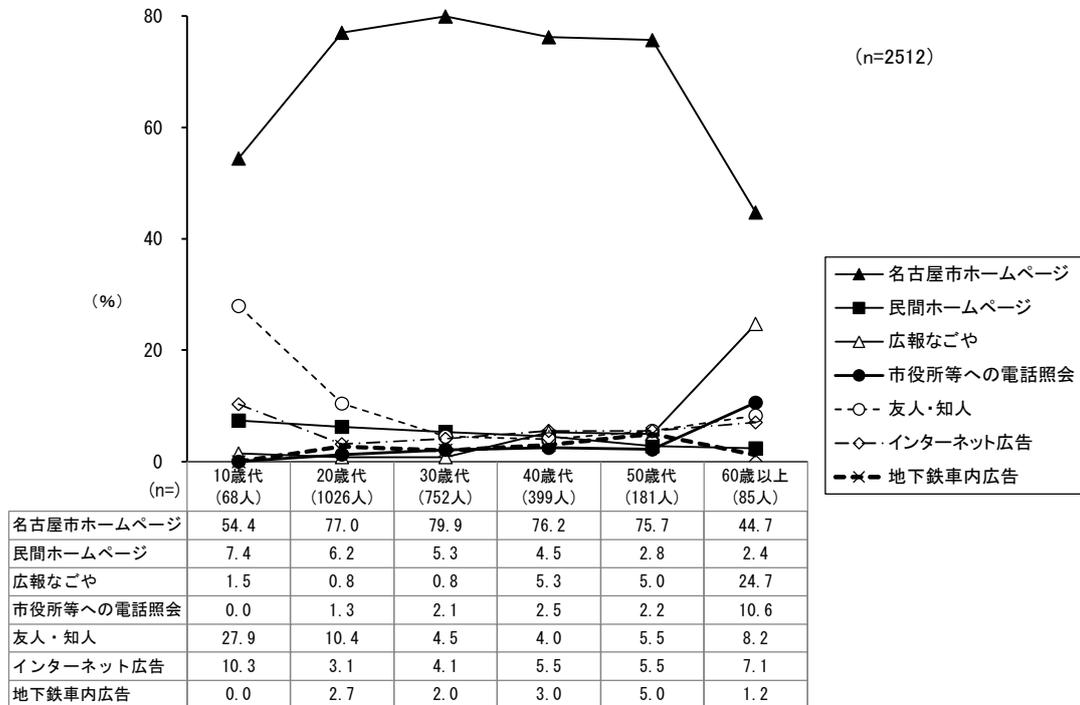


図 8. 年齢層別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

問 5. 今回の検査を受けた理由

回答者全体をみると、「ただ単に感染の有無を知りたい」が 63.0%で最も多く、以下は「体調に変化はないが、HIV*の情報に触れて感染が心配になったから」が 16.4%、「定期的に検査を受けているから」が 14.9%の順であった。「身近な人（パートナーなど）が HIV*に感染していることがわかったから」は 4.2%であった。

*：平日昼間の調査票では「HIV／性感染症」という表記になっている。

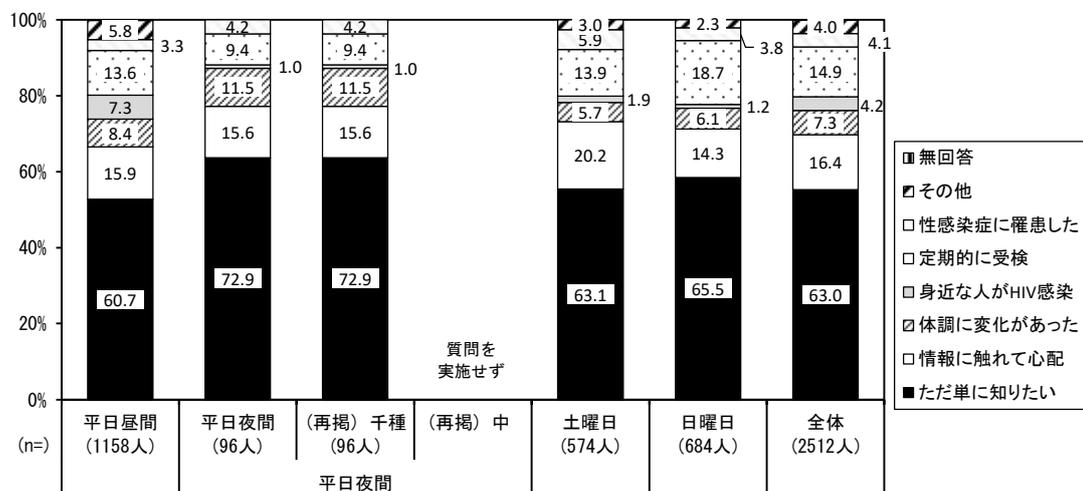


図 9. 検査時間帯別－今回の検査を受けた理由

問 6. 感染が心配な出来事

回答者全体をみると、感染が心配な出来事としては「異性間性的接触」が75.1%で最も多く、次いで「同性間性的接触」が22.8%であった。「同性間性的接触」の割合を検査時間帯別にみると、日曜日が34.6%で最も高く、以下は土曜日が30.7%、平日夜間が27.1%、平日夜間が11.6%の順であった。

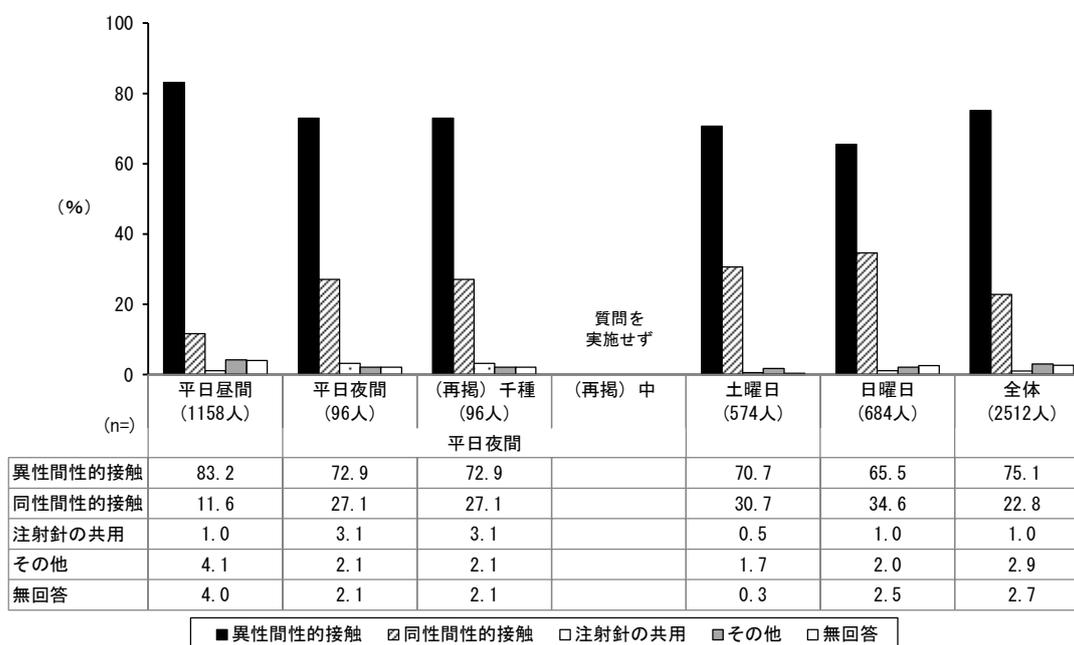


図 10. 検査時間帯別—感染が心配な出来事（複数選択可）

男性を対象に「異性間性的接触」または「同性間性的接触」と回答した割合を年齢層別にみた。「同性間性的接触」と回答した割合は男性回答者全体の29.6%であり、年齢層別にみると10歳代から40歳代では約30%であったが、50歳代では22.8%、60歳以上では18.2%と低下していた。

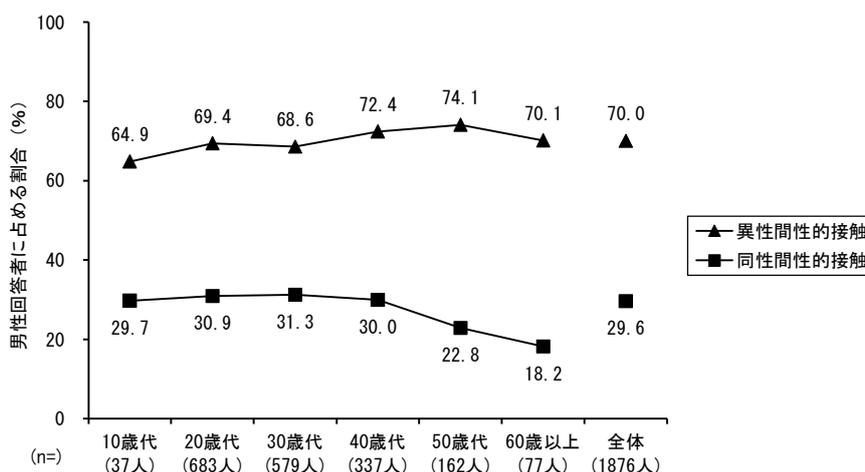


図 11. 男性の年齢層別—感染が心配な出来事（複数選択可）

※質問を実施しなかった平日夜間（中保健センター）の回答者を除いて集計した。

(回答者に占める MSM の割合)

性別で「男性」を選択し、かつ感染が心配な出来事として「同性間性的接触」を選択した者を男性同性愛者 (MSM: men who have sex with men) と定義し、集計を行った。令和 3 年度における回答者全体に占める MSM の割合は 22.1% で、前年度より 5.3 ポイント低下した。

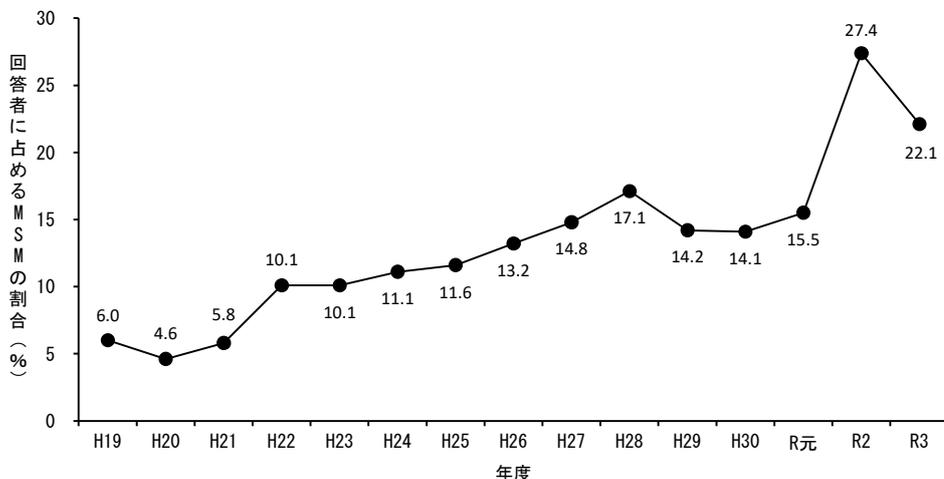


図 12. 回答者全体に占める MSM の割合

※質問を実施しなかった平日夜間 (中保健センター) の回答者を除いて集計した。

問 7. 感染が心配な出来事を経験した場所

回答者全体でみると、感染が心配な出来事を経験した場所は、「国内」が 93.1%、「国外」が 1.7%、「国内と国外」が 2.1%であった。「国内」の割合は、土曜日が 95.8%で最も高く、以下は平日夜間が 92.7%、平日昼間が 92.4%、日曜日が 92.1%の順であった。

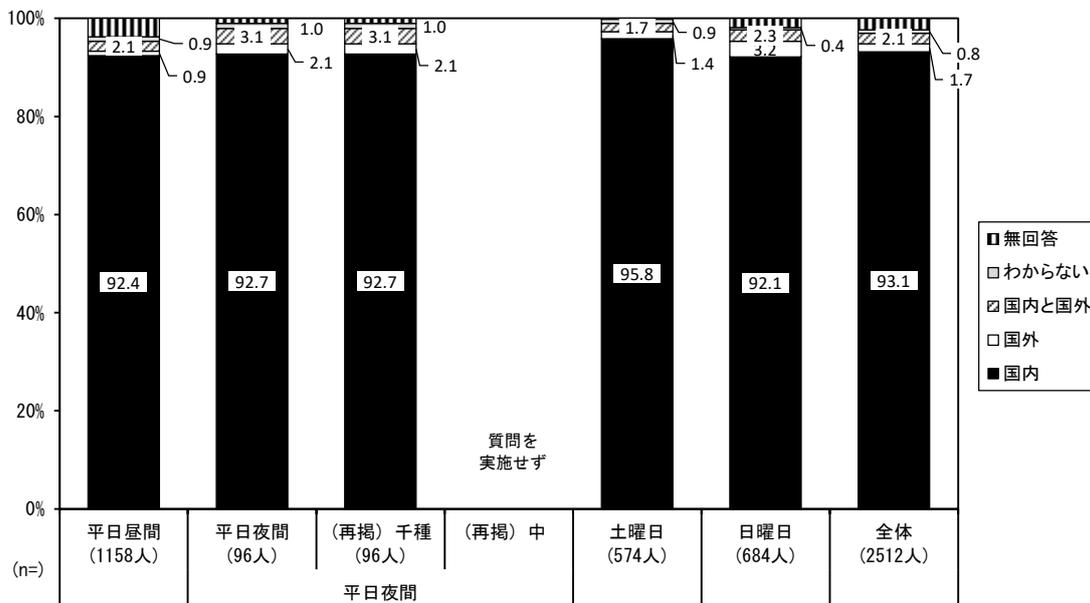


図 13. 検査時間帯別—感染が心配な出来事を経験した場所

問 8. 感染が心配な出来事からの経過期間

回答者全体でみると、「2 か月以内」は 23.5%、「2 か月～3 か月」は 17.1%であった。ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満に該当した人（「2 か月以内」または「2 か月～3 か月」と回答した人）は回答者全体の 40.6%であった。3 か月未満の割合を検査時間帯別にみると、平日昼間が 44.1%で最も高く、以下は土曜日が 39.7%、日曜日が 37.4%、平日夜間が 26.0%の順であった。

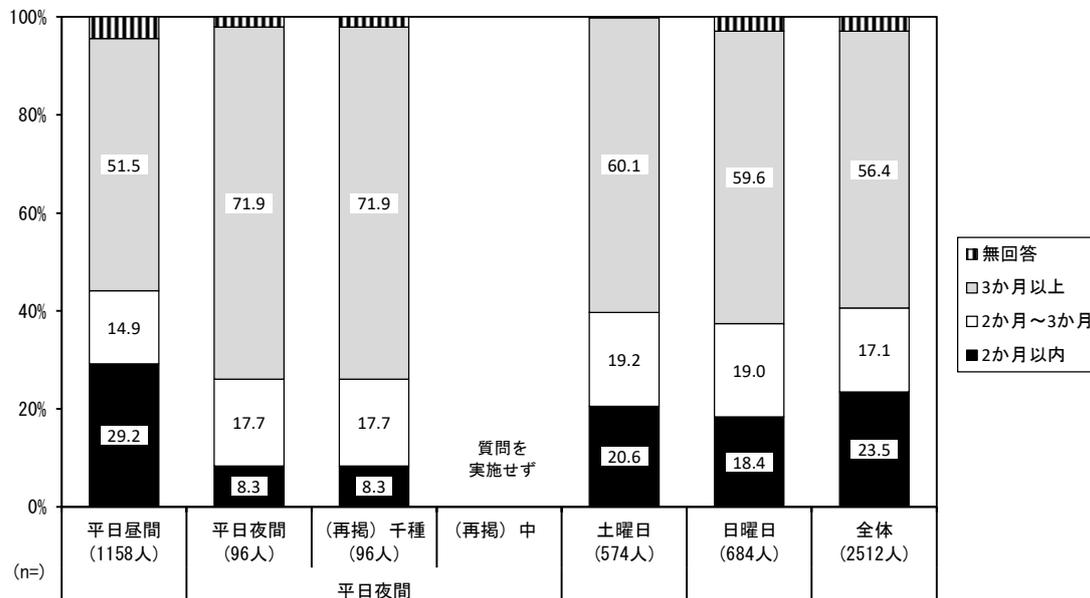


図 14. 検査時間帯別－感染が心配な出来事からの経過期間

感染が心配な出来事からの経過期間を年齢層別にみると、ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満の割合は 10 歳代が 52.9%で最も高く、以下は 20 歳代が 43.7%、30 歳代が 41.1%の順であった。

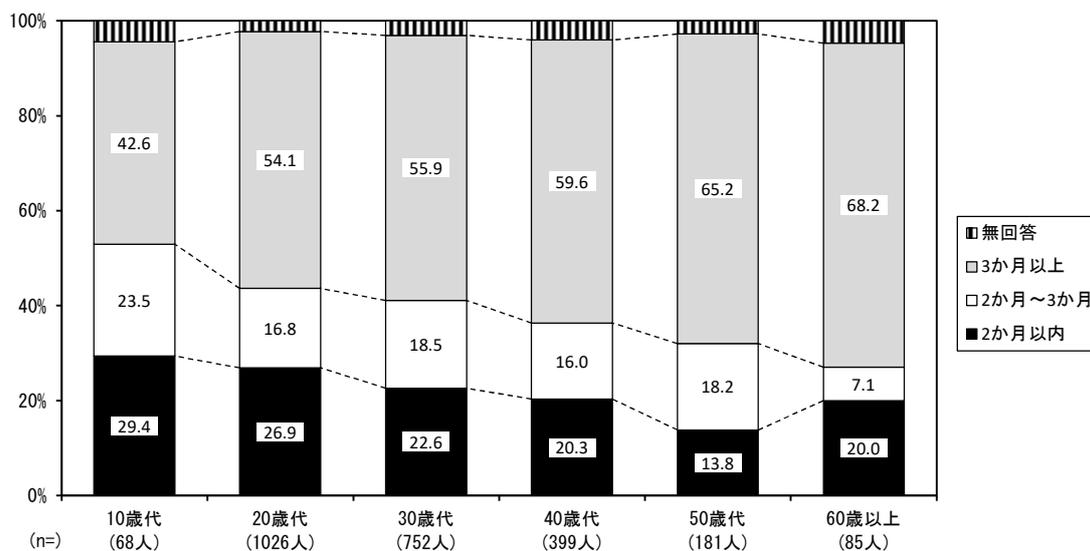


図 15. 年齢層別－感染が心配な出来事からの経過期間

※質問を実施しなかった平日夜間（中保健センター）の回答者を除いて集計した。

問 9. 過去の HIV／性感染症検査の受検経験

過去（今回を含まない）の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、回答者全体では、受検経験が「ない」人は 42.9%、「ある」人は 57.0%であった。受検経験が「ない」人の割合は、平日昼間が 48.0%で最も高く、以下は土曜日が 42.0%、日曜日が 36.0%、平日夜間が 35.4%の順であった。

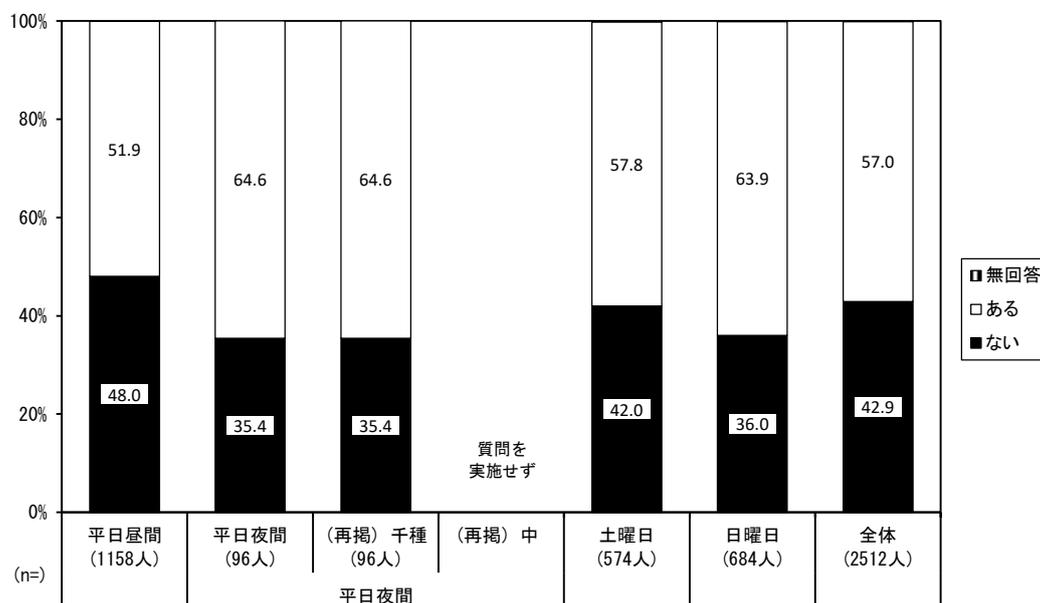


図 16. 検査時間帯別－過去の HIV／性感染症検査の受検経験

年齢層別に過去の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、受検経験が「ない」人の割合は 10 歳代が 77.9%で最も高く、以下は 20 歳代が 54.4%、30 歳代が 35.1%の順であった。

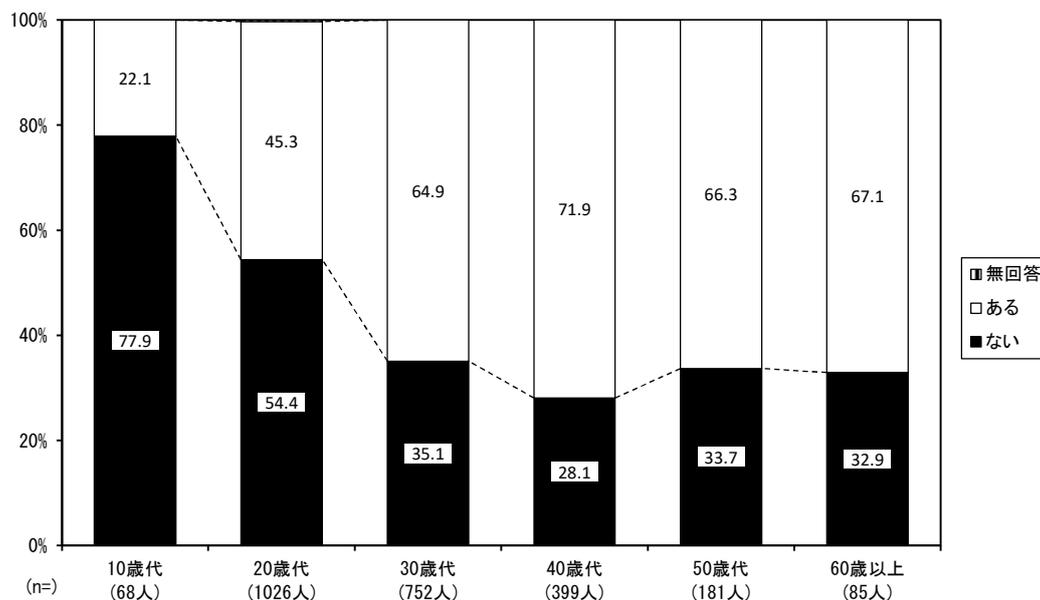


図 17. 年齢層別－過去の HIV／性感染症検査の受検経験

※質問を実施しなかった平日夜間（中保健センター）の回答者を除いて集計した。

問 10-1. 最近 1 年以内の HIV／性感染症検査の受検経験

過去に HIV／性感染症検査を受けたことが「ある」と回答した 1,432 人を対象に、最近 1 年以内の受検経験を尋ねたところ、711 人（49.7%）が「ある」と回答した。すなわち、過去の受検経験に関する質問の対象となった 2,512 人のうち、28.3%が最近 1 年以内に受検経験していた計算になる。

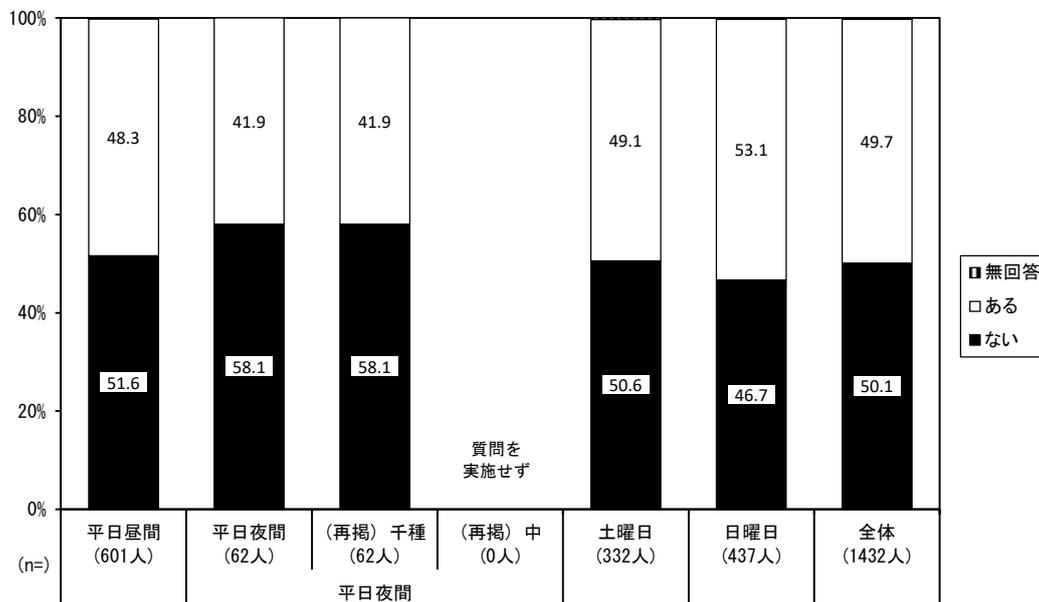


図 18. 検査時間帯別－最近 1 年以内の受検経験（過去に受検経験がある人を対象に集計）

問 10-2. 最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けた場所

最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けたことがある 711 人を対象に、HIV／性感染症検査を受けた場所を尋ねたところ、回答者全体では「医療機関」が 30.2%で最も多く、以下は「平日昼間」が 25.0%、「日曜日」が 21.9%の順であった。

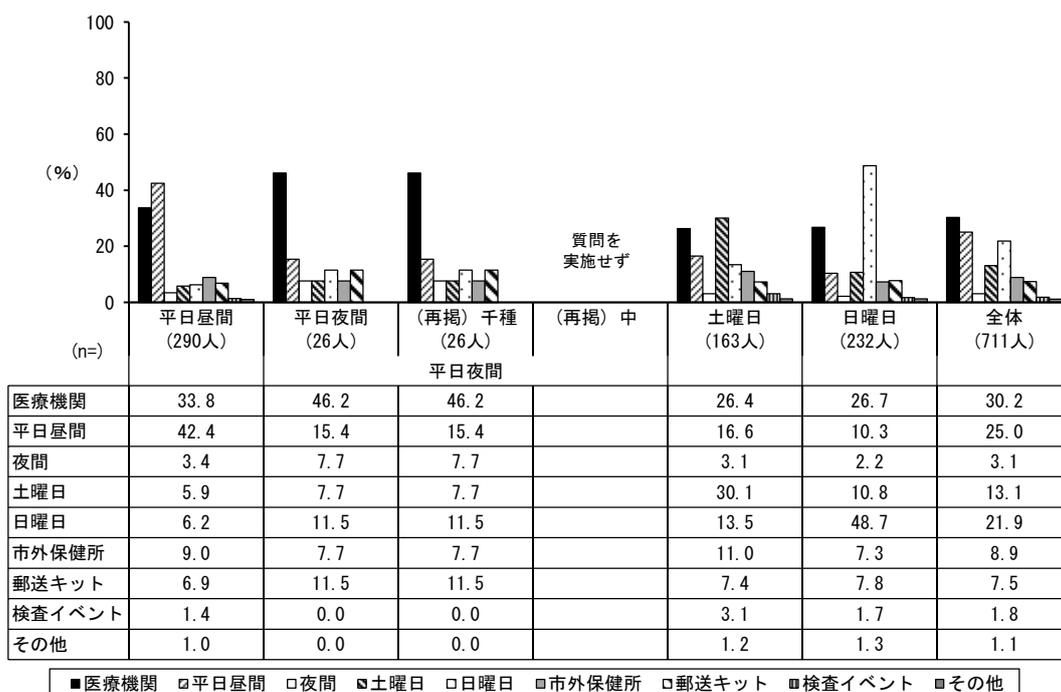


図 19. 検査時間帯別－最近 1 年以内に受検した場所
（最近 1 年以内に受検経験がある人を対象に集計）

問 10-3. 最近 1 年以内に受けた HIV／性感染症検査の検査項目

最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けたことがある 711 人を対象に、受けた検査項目を尋ねたところ、回答者全体では「HIV」が 82.1%で最も多く、以下は「梅毒」が 46.7%、「クラミジア」が 42.3%の順であった。

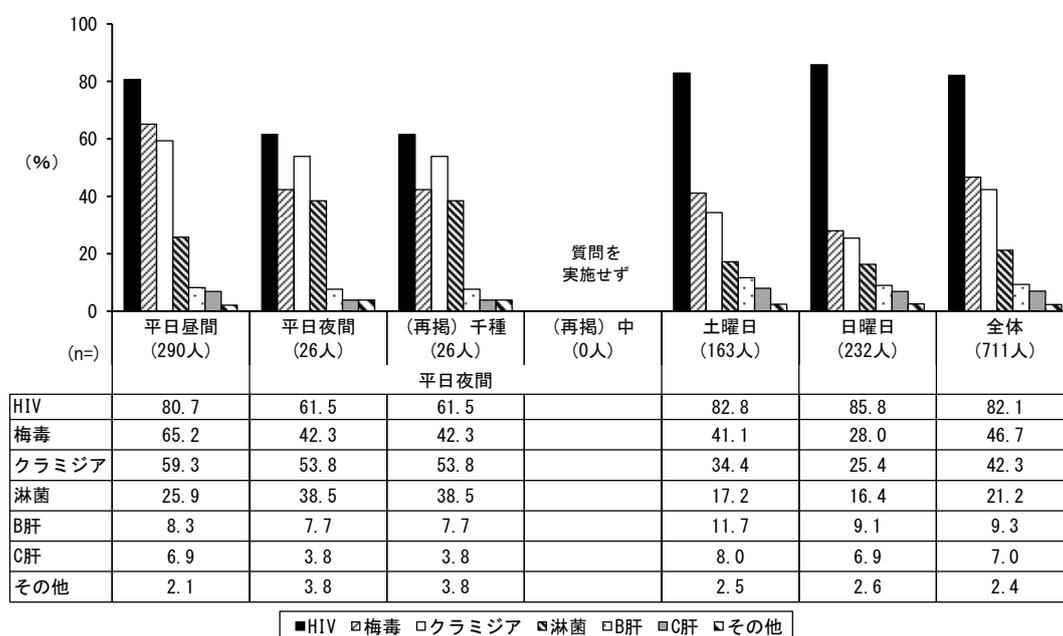


図 20. 検査時間帯別－最近 1 年以内に受検した検査項目
(最近 1 年以内に受検経験がある人を対象に集計)

問 11. 梅毒・性器クラミジア感染症の既往歴

性感染症検査は平日昼間検査のみで実施された。検査会場によって、梅毒検査のみを行う検査会場 (A 会場) と、梅毒・性器クラミジア感染症検査を行う検査会場 (B 会場) が存在する。梅毒に関する質問は A 会場及び B 会場、性器クラミジア感染症に関する質問は B 会場のみで実施された。梅毒及び性器クラミジア感染症に関する質問の回答者数は表 2 及び表 3 のとおりである。

表 2. 梅毒に関する質問の回答者数 (延べ人数)

		(単位 人)							
性別	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
男性	810	(69.9)	21	278	215	149	90	56	1
女性	341	(29.4)	17	175	88	44	11	6	-
その他	5	(0.4)	-	1	2	1	1	-	-
無回答	2	(0.2)	-	-	-	-	-	2	-
全体	1,158	(100.0)	38	454	305	194	102	64	1

表 3. 性器クラミジア感染症に関する質問の回答者数 (延べ人数)

		(単位 人)							
性別	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
男性	717	(69.9)	21	254	191	126	76	48	1
女性	304	(29.6)	16	156	78	38	10	6	-
その他	4	(0.4)	-	1	1	1	1	-	-
無回答	1	(0.1)	-	-	-	-	-	1	-
全体	1,026	(100.0)	37	411	270	165	87	55	1

梅毒及び性器クラミジア感染症の既往歴有無を尋ねたところ、既往歴がある人の割合は梅毒が3.5%、性器クラミジア感染症が17.2%であった。

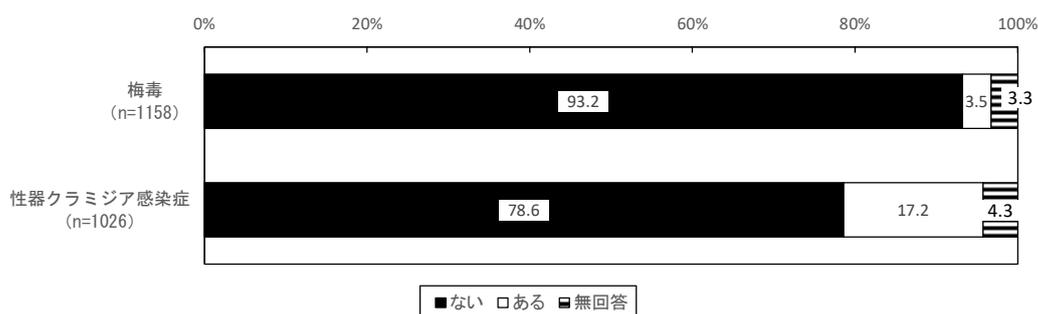


図 21. 梅毒及び性器クラミジア感染症の既往歴

梅毒検査と性器クラミジア感染症検査では検査件数が異なるため、両者は回答者数が異なる。

問 12. 性器クラミジア感染症検査について(排尿時間、月経)

性器クラミジア感染症検査は、排尿から1時間以上経過していない場合や月経中の場合に、検査結果が正確に出ないことがある。最後の排尿から1時間以上経過していない人は15.6%であった。また、現在月経中の人(女性のみを集計)は11.8%であった。

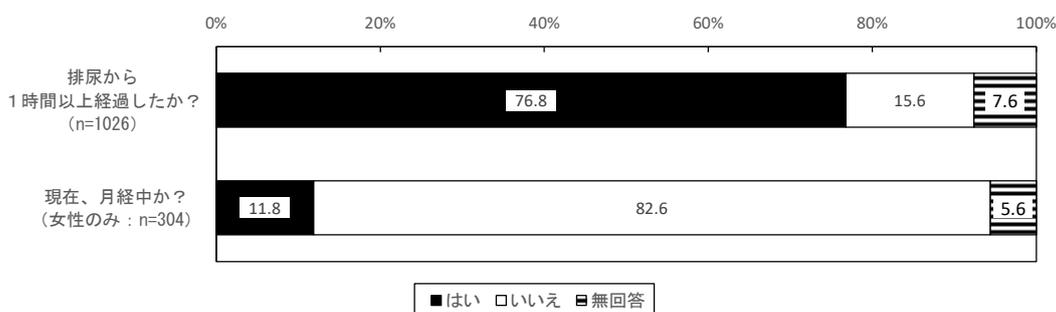


図 22. 排尿からの経過時間及び月経に関する回答

2. 男性同性愛者と非男性同性愛者の比較

性別で「男性」を選択し、かつ感染が心配な出来事として「同性間性的接触」を選択した男性を男性同性愛者(MSM)、「同性間性的接触」を選択しなかった男性を非男性同性愛者(非MSM)と定義して、MSMと非MSMの回答結果を比較した。MSMは555人(男性の29.6%)、非MSMは1,280人(男性の68.2%)であった。

表 4. 年齢層及びMSM・非MSM別にみた男性回答者数(延べ人数)

	(単位 人)								
	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
男性同性愛者(MSM)	555	(29.6)	11	211	181	101	37	14	-
非男性同性愛者(非MSM)	1,280	(68.2)	24	462	386	229	120	58	1
不詳	41	(2.2)	2	10	12	7	5	5	-
男性全体	1,876	(100.0)	37	683	579	337	162	77	1

男性同性愛者(MSM)；感染が心配な出来事で「同性間性的接触」と回答した男性

感染が心配な出来事に関する質問を実施しなかった平日夜間(中保健センター)の回答者を除いて集計した。

非男性同性愛者(非MSM)；感染が心配な出来事で「同性間性的接触」と回答しなかった男性

不詳；感染が心配な出来事に関する質問に無回答の男性

年齢構成をみると MSM、非 MSM ともに 20 歳代の割合が最も高かった。30 歳代以下の割合は、MSM が 72.6%、非 MSM が 68.1%であり、MSM の方が 4.5 ポイント高かった（図 23 左）。

居住地をみると、名古屋市内在住者の割合は MSM が 57.7%、非 MSM が 68.9%であり、非 MSM の方が 11.2 ポイント高かった（図 23 右）。

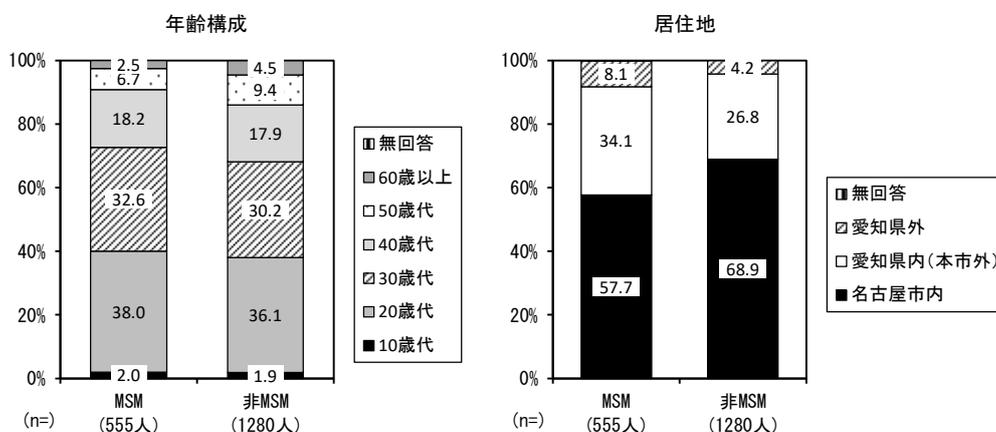


図 23. MSM・非 MSM 別一年齢構成及び居住地

今回の検査を知った情報源は、MSM、非 MSM ともに「名古屋市ホームページ」が 70%以上で最も多かった。「友人・知人」の割合は、MSM が 8.5%、非 MSM が 6.0%であり、MSM の方が 2.5 ポイント高かった。

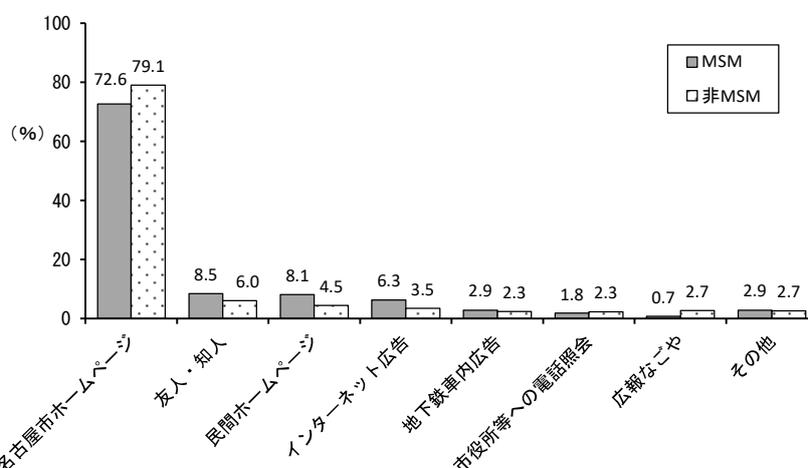


図 24. MSM・非 MSM 別—今回の検査を知った情報源

感染が心配な出来事を経験した場所をみると、「国内」は MSM が 96.8%、非 MSM が 93.8%であり、MSM の方が 3.0 ポイント高かった。「国外」は MSM が 0.7%、非 MSM が 2.5%であり、非 MSM の方が 1.8 ポイント高かった。「国内と国外」は MSM が 2.0%、非 MSM が 2.7%であり、非 MSM の方が 0.7 ポイント高かった（図 25 左）。

感染が心配な出来事からの経過期間をみると、ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満の割合は、MSM が 41.3%、非 MSM が 42.5%であり、非 MSM の方が 1.2 ポイント高かった（図 25 右）。

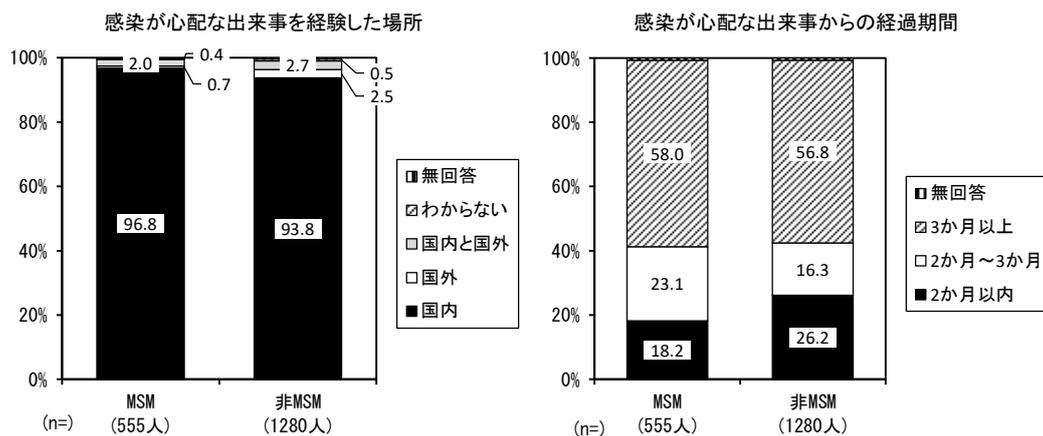


図 25. MSM・非MSM 別－感染が心配な出来事を経験した場所及び経過期間

過去の HIV/性感染症検査の受検経験をみると、受検経験が「ある」人の割合は、MSM が 79.6%、非MSM が 51.7%であり、MSM の方が 27.9 ポイント高かった (図 26 左)。

過去に HIV/性感染症検査を受検したことが「ある」と回答した人 (MSM : 442 人、非MSM : 662 人) を対象に、最近 1 年以内の受検経験を尋ねたところ、受検したことが「ある」人の割合は、MSM が 56.1%、非MSM が 42.4%であり、MSM の方が 13.7 ポイント高かった (図 26 右)。最近 1 年以内に受検したことがある人の割合を、回答者全体 (MSM : 555 人、非MSM : 1,280 人) を母数として算出すると、MSM が 44.7%、非MSM が 22.0%であり、MSM の方が 22.7 ポイント高かった。

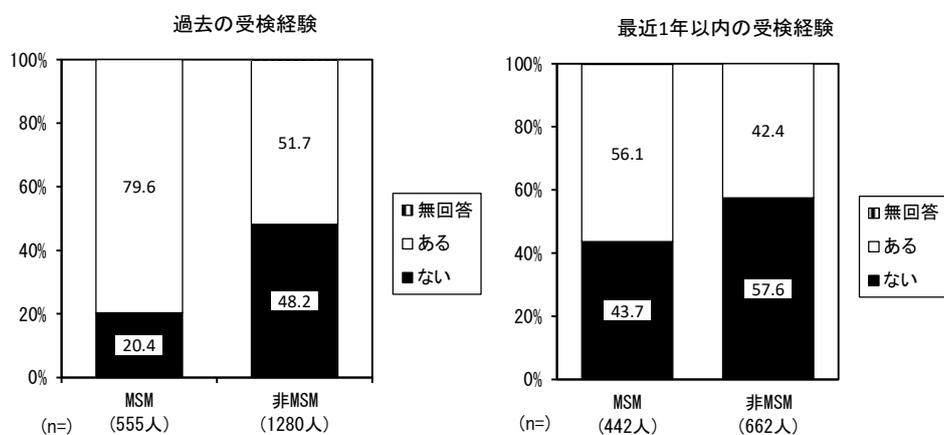


図 26. MSM・非MSM 別－HIV/性感染症検査の受検経験

右上図 (最近 1 年以内の受検経験) については、過去に受検経験がある人を母数として割合を算出した。

<まとめ>

- ・ 各年齢層とも、名古屋市ホームページから検査の情報を得た人の割合が最も高かった。
- ・ 回答者全体のうち、MSM の割合は 22.1%で、前年度より 5.3 ポイント低下した。
- ・ 感染の疑いがある出来事から 3 か月未満 (ウインドウ期間に相当) に受検した人は 40.6%であった。特に 10 歳代では 52.9%が 3 か月未満に受検していた。
- ・ 回答者全体のうち、過去に HIV/性感染症検査を受けたことがある人は 57.0%であった。
- ・ 回答者全体のうち、梅毒の既往歴がある人は 3.5%、性器クラミジア感染症の既往歴がある人は 17.2%であった。

HIV／性感染症検査を受けられる方へ

今回は、HIV／性感染症検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV／性感染症検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性(894人, 69.6%) | 2. 女性(383人, 29.8%) |
| 3. その他(6人, 0.5%) | 無回答(2人, 0.2%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 10代(40人, 3.1%) | 2. 20代(501人, 39.0%) | 3. 30代(346人, 26.9%) |
| 4. 40代(219人, 17.0%) | 5. 50代(112人, 8.7%) | 6. 60代以上(66人, 5.1%) |
| | | 無回答(1人, 0.1%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市内(952人, 74.1%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(288人, 22.4%) |
| 3. 愛知県外(42人, 3.3%) | 無回答(3人, 0.2%) |

※以下の設問は新型コロナウイルス感染症の影響で一部検査場では実施していない。【回答者：1,158人】

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(914人, 78.9%) | 2. 民間ホームページ(31人, 2.7%) |
| 3. 広報なごや(53人, 4.6%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(27人, 2.3%) |
| 5. 友人・知人(92人, 7.9%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(37人, 3.2%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(19人, 1.6%) | |
| 8. その他(39人, 3.4%) | 無回答(5人, 0.4%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|---|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (703人, 60.7%) |
| 2. HIV／性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (184人, 15.9%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV／性感染症の感染が心配になったから | (97人, 8.4%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV／性感染症に感染していることがわかったから | (85人, 7.3%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (157人, 13.6%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (38人, 3.3%) |
| 7. その他 | (67人, 5.8%) |
| 無回答 | (2人, 0.2%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 異性との性的接触(963人, 83.2%) | 2. 同性との性的接触(134人, 11.6%) |
| 3. 注射針の共用(12人, 1.0%) | 4. その他(48人, 4.1%) |
| | 無回答(46人, 4.0%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|----------------------|------------------|---------------------|
| 1. 国内(1,070人, 92.4%) | 2. 国外(10人, 0.9%) | 3. 国内と国外(24人, 2.1%) |
| 4. わからない(10人, 0.9%) | 無回答(44人, 3.8%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(338人, 29.2%) | 2. 2か月～3か月(173人, 14.9%) |
| 3. 3か月以上(596人, 51.5%) | 無回答(51人, 4.4%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV／性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. ない(556人, 48.0%) | → (問11へ進む) |
| 2. ある(601人, 51.9%) | → (問10へ進む) |
| 無回答(1人, 0.1%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：601人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(310人, 51.6%) 2. ある(290人, 48.3%) 無回答(1人, 0.2%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：290人】

1. 医療機関(98人, 33.8%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(123人, 42.4%) 平日夜間(10人, 3.4%)
 土曜日(17人, 5.9%) 日曜日(18人, 6.2%)
3. 名古屋市以外の保健所(26人, 9.0%)
4. 郵送検査キット(20人, 6.9%)
5. 検査イベント(NLGR検査会等)(4人, 1.4%)
6. その他(3人, 1.0%)
無回答(4人, 1.4%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：290人】

1. HIV(234人, 80.7%) 2. 梅毒(189人, 65.2%)
3. クラミジア(172人, 59.3%) 4. 淋菌感染症(75人, 25.9%)
5. B型肝炎ウイルス(24人, 8.3%) 6. C型肝炎ウイルス(20人, 6.9%)
7. その他(6人, 2.1%) 無回答(4人, 1.4%)

※問 11 及び問 12 について、HIV・梅毒検査を実施する会場では梅毒関連の質問を、HIV・梅毒・性器クラミジア検査を実施する会場では梅毒及び性器クラミジア感染症に関する質問を実施した。

問 11. 既往歴について

11-1 これまでに梅毒にかかったことはありますか。【回答者：1,158人】

1. ない(1,079人, 93.2%) 2. ある(41人, 3.5%) 無回答(38人, 3.3%)

11-2 これまでに性器クラミジア感染症にかかったことはありますか。【回答者：1,026人】

1. ない(806人, 78.6%) 2. ある(176人, 17.2%) 無回答(44人, 4.3%)

問 12. 性器クラミジア感染症検査について【回答者：1,026人】

12-1 最後の排尿から1時間以上経過していますか。

1. はい(788人, 76.8%)
2. いいえ(検査結果が正確に出ないことがあります)(160人, 15.6%)
無回答(78人, 7.6%)

12-2 現在、月経ですか。(女性のみ回答ください。)(回答者：304人)

1. はい(検査結果が正確に出ないことがあります)(36人, 11.8%)
2. いいえ(251人, 82.6%)
無回答(17人, 5.6%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV 検査を受けられる方へ

今回は、HIV 検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV 検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 男性(160人, 76.2%) | 2. 女性(48人, 22.9%) |
| 3. その他(1人, 0.5%) | 無回答(1人, 0.5%) |

問2. 年代

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 10代(8人, 3.8%) | 2. 20代(91人, 43.3%) | 3. 30代(63人, 30.0%) |
| 4. 40代(30人, 14.3%) | 5. 50代(15人, 7.1%) | 6. 60代以上(3人, 1.4%) |
| | | 無回答(0人, 0.0%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 名古屋市内(151人, 71.9%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(50人, 23.8%) |
| 3. 愛知県外(9人, 4.3%) | 無回答(0人, 0.0%) |

※以下の設問は千種保健センターのみで実施した。【回答者：96人】

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(80人, 83.3%) | 2. 民間ホームページ(3人, 3.1%) |
| 3. 広報なごや(0人, 0.0%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(1人, 1.0%) |
| 5. 友人・知人(7人, 7.3%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(2人, 2.1%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(1人, 1.0%) | |
| 8. その他(2人, 2.1%) | 無回答(0人, 0.0%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (70人, 72.9%) |
| 2. HIVの情報にふれて感染が心配になったから | (15人, 15.6%) |
| 3. 体調に変化があり、HIVの感染が心配になったから | (11人, 11.5%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIVに感染していることがわかったから | (1人, 1.0%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (9人, 9.4%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (4人, 4.2%) |
| 7. その他 | (0人, 0.0%) |
| 無回答 | (0人, 0.0%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 1. 異性との性的接触(70人, 72.9%) | 2. 同性との性的接触(26人, 27.1%) | |
| 3. 注射針の共用(3人, 3.1%) | 4. その他(2人, 2.1%) | 無回答(2人, 2.1%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------------------|
| 1. 国内(89人, 92.7%) | 2. 国外(2人, 2.1%) | 3. 国内と国外(3人, 3.1%) |
| 4. わからない(1人, 1.0%) | 無回答(1人, 1.0%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 2か月以内(8人, 8.3%) | 2. 2か月～3か月(17人, 17.7%) |
| 3. 3か月以上(69人, 71.9%) | 無回答(2人, 2.1%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV検査/性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. ない(34人, 35.4%) | → (問11へ進む) |
| 2. ある(62人, 64.6%) | → (問10へ進む) |
| 無回答(0人, 0.0%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：62人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(36人, 58.1%) 2. ある(26人, 41.9%) 無回答(0人, 0.0%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：26人】

1. 医療機関(12人, 46.2%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(4人, 15.4%) 平日夜間(2人, 7.7%)
 土曜日(2人, 7.7%) 日曜日(3人, 11.5%)
3. 名古屋市以外の保健所(2人, 7.7%)
4. 郵送検査キット(3人, 11.5%)
5. 検査イベント(NLGR検査会等)(0人, 0.0%)
6. その他(0人, 0.0%)
無回答(0人, 0.0%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：26人】

1. HIV(16人, 61.5%) 2. 梅毒(11人, 42.3%)
3. クラミジア(14人, 53.8%) 4. 淋菌感染症(10人, 38.5%)
5. B型肝炎ウイルス(2人, 7.7%) 6. C型肝炎ウイルス(1人, 3.8%)
7. その他(1人, 3.8%) 無回答(0人, 0.0%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV 検査を受けられる方へ

今回は、HIV 検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV 検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性(451人, 78.6%) | 2. 女性(121人, 21.1%) |
| 3. その他(2人, 0.3%) | 無回答(0人, 0.0%) |

問2. 年代

- | | | |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 10代(16人, 2.8%) | 2. 20代(230人, 40.1%) | 3. 30代(201人, 35.0%) |
| 4. 40代(82人, 14.3%) | 5. 50代(37人, 6.4%) | 6. 60代以上(8人, 1.4%) |
| | | 無回答(0人, 0.0%) |

問3. お住まい

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市(329人, 57.3%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(211人, 36.8%) |
| 3. 愛知県外(34人, 5.9%) | 無回答(0人, 0.0%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(415人, 72.3%) | 2. 民間ホームページ(45人, 7.8%) |
| 3. 広報なごや(5人, 0.9%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(11人, 1.9%) |
| 5. 友人・知人(33人, 5.7%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(31人, 5.4%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(26人, 4.5%) | |
| 8. その他(21人, 3.7%) | 無回答(1人, 0.2%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (362人, 63.1%) |
| 2. HIVの情報にふれて感染が心配になったから | (116人, 20.2%) |
| 3. 体調に変化があり、HIVの感染が心配になったから | (33人, 5.7%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIVに感染していることがわかったから | (11人, 1.9%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (80人, 13.9%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (34人, 5.9%) |
| 7. その他 | (17人, 3.0%) |
| 無回答 | (0人, 0.0%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 異性との性的接触(406人, 70.7%) | 2. 同性との性的接触(176人, 30.7%) |
| 3. 注射針の共用(3人, 0.5%) | 4. その他(10人, 1.7%) |
| | 無回答(2人, 0.3%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|--------------------|-----------------|---------------------|
| 1. 国内(550人, 95.8%) | 2. 国外(8人, 1.4%) | 3. 国内と国外(10人, 1.7%) |
| 4. わからない(5人, 0.9%) | 無回答(1人, 0.2%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(118人, 20.6%) | 2. 2か月～3か月(110人, 19.2%) |
| 3. 3か月以上(345人, 60.1%) | 無回答(1人, 0.2%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV検査/性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. ない(241人, 42.0%) | → (問11へ進む) |
| 2. ある(332人, 57.8%) | → (問10へ進む) |
| 無回答(1人, 0.2%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：332人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(168人, 50.6%) 2. ある(163人, 49.1%) 無回答(1人, 0.3%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：163人】

1. 医療機関(43人, 26.4%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(27人, 16.6%) 平日夜間(5人, 3.1%)
 土曜日(49人, 30.1%) 日曜日(22人, 13.5%)
3. 名古屋市以外の保健所(18人, 11.0%)
4. 郵送検査キット(12人, 7.4%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (5人, 3.1%)
6. その他(2人, 1.2%)
無回答(0人, 0.0%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：163人】

1. HIV(135人, 82.8%) 2. 梅毒(67人, 41.1%)
3. クラミジア(56人, 34.4%) 4. 淋菌感染症(28人, 17.2%)
5. B型肝炎ウイルス(19人, 11.7%) 6. C型肝炎ウイルス(13人, 8.0%)
7. その他(4人, 2.5%) 無回答(2人, 1.2%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV 検査を受けられる方へ

今回は、HIV 検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV 検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性(538人, 78.7%) | 2. 女性(140人, 20.5%) |
| 3. その他(5人, 0.7%) | 無回答(1人, 0.1%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 10代(12人, 1.8%) | 2. 20代(297人, 43.4%) | 3. 30代(217人, 31.7%) |
| 4. 40代(113人, 16.5%) | 5. 50代(34人, 5.0%) | 6. 60代以上(11人, 1.6%) |
| | | 無回答(0人, 0.0%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市内(428人, 62.6%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(210人, 30.7%) |
| 3. 愛知県外(45人, 6.6%) | 無回答(1人, 0.1%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(498人, 72.8%) | 2. 民間ホームページ(55人, 8.0%) |
| 3. 広報なごや(8人, 1.2%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(13人, 1.9%) |
| 5. 友人・知人(61人, 8.9%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(38人, 5.6%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(19人, 2.8%) | |
| 8. その他(21人, 3.1%) | 無回答(0人, 0.0%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (448人, 65.5%) |
| 2. HIVの情報にふれて感染が心配になったから | (98人, 14.3%) |
| 3. 体調に変化があり、HIVの感染が心配になったから | (42人, 6.1%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIVに感染していることがわかったから | (8人, 1.2%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (128人, 18.7%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (26人, 3.8%) |
| 7. その他 | (16人, 2.3%) |
| 無回答 | (0人, 0.0%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|----------------|
| 1. 異性との性的接触(448人, 65.5%) | 2. 同性との性的接触(237人, 34.6%) | |
| 3. 注射針の共用(7人, 1.0%) | 4. その他(14人, 2.0%) | 無回答(17人, 2.5%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|--------------------|------------------|---------------------|
| 1. 国内(630人, 92.1%) | 2. 国外(22人, 3.2%) | 3. 国内と国外(16人, 2.3%) |
| 4. わからない(3人, 0.4%) | 無回答(13人, 1.9%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(126人, 18.4%) | 2. 2か月～3か月(130人, 19.0%) |
| 3. 3か月以上(408人, 59.6%) | 無回答(20人, 2.9%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV検査/性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. ない(246人, 36.0%) | → (問11へ進む) |
| 2. ある(437人, 63.9%) | → (問10へ進む) |
| 無回答(1人, 0.1%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：437人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(204人, 46.7%) 2. ある(232人, 53.1%) 無回答(1人, 0.2%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：232人】

1. 医療機関(62人, 26.7%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(24人, 10.3%) 平日夜間(5人, 2.2%)
 土曜日(25人, 10.8%) 日曜日(113人, 48.7%)
3. 名古屋市以外の保健所(17人, 7.3%)
4. 郵送検査キット(18人, 7.8%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (4人, 1.7%)
6. その他(3人, 1.3%)
無回答(2人, 0.9%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：232人】

1. HIV(199人, 85.8%) 2. 梅毒(65人, 28.0%)
3. クラミジア(59人, 25.4%) 4. 淋菌感染症(38人, 16.4%)
5. B型肝炎ウイルス(21人, 9.1%) 6. C型肝炎ウイルス(16人, 6.9%)
7. その他(6人, 2.6%) 無回答(3人, 1.3%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

○附属機関の会議開催状況（令和3年度）

1 名古屋市感染症予防協議会

新型コロナウイルス感染症の流行により、書面開催とした。

開催日時：令和3年8月30日から令和3年10月15日まで（書面による審議期間）

2 名古屋市感染症診査協議会感染症部会

年4回の定例開催予定のうち、審議対象である就業制限等事例があった以下の3回開催した。

(1) 令和3年4月16日

新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

(2) 令和3年7月16日

新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

(3) 令和3年10月15日

腸管出血性大腸菌感染症の就業制限（3件）。

他に新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

(4) 令和4年1月21日

腸管出血性大腸菌感染症の就業制限（1件）。

他に新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

3 関係条例等

(1) 名古屋市感染症予防協議会条例

(2) 名古屋市感染症診査協議会条例

(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則

(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿

(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿

(1) 名古屋市感染症予防協議会条例

(設置)

第1条 感染症の予防に関する重要事項を調査審議するため、本市に市長の附属機関として、名古屋市感染症予防協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関する技術的又は専門的事項について調査審議し、その結果を市長に答申する。

- (1) 感染症の発生の予防及びまん延の防止のための施策に関すること。
- (2) 緊急時における感染症の発生の予防及びまん延の防止並びに医療の提供のための施策に関すること。

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、必要があると認めるときは、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第3条 協議会は、委員30人以内をもって組織する。

2 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、協議会に臨時委員を置くことができる。

(委員)

第4条 委員は、感染症の予防のための施策及び感染症の患者の医療に関し学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

2 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(臨時委員)

第5条 臨時委員は、感染症の予防のための施策若しくは感染症の患者の医療に関し学識経験のある者又は関係行政機関の職員のうちから、調査審議事項を明示して市長が委嘱し、又は任命する。

2 臨時委員は、当該事項に関する調査審議が終了したときに解嘱され、又は解任されるものとする。

(会長)

第6条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、委員のうちから会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、その委員の過半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによ

る。

(部会)

第8条 協議会には、必要に応じ、委員（その調査審議事項に係る臨時委員を含む。以下同じ。）の一部をもって部会を置くことができる。

2 協議会は、前項の規定により部会を置いた場合においては、あらかじめ協議会の定めるところにより、当該部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

3 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

4 部会に部会長を置き、会長が指名する。

5 部会長は、会務を総理し、部会の会議の議長となる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、健康福祉局において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際現に名古屋市結核予防協議会の委員である者は、この条例の施行の日、この条例による改正後の名古屋市感染症予防協議会条例第4条第1項の規定により、名古屋市感染症予防協議会の委員として委嘱され、又は任命されたものとみなす。この場合において、その委嘱され、又は任命されたものとみなされる者の任期は、平成21年3月31日までとする。

附 則（平成27年条例第18号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(2) 名古屋市感染症診査協議会条例

(趣旨)

第1条 この条例は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第24条第6項の規定に基づき、名古屋市感染症診査協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 協議会は、委員35人以内をもって組織する。

2 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長がこれを招集し、会長はその議長となる。

2 協議会は、その委員の過半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第5条 協議会は、議事について必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(部会)

第6条 協議会には、専門の事項を審議させるため、部会を置くことができる。

2 協議会は、前項の規定により部会を置いた場合においては、あらかじめ協議会の定めるところにより、当該部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

3 前2項に定めるもののほか、部会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、健康福祉局において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成11年条例第31号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成19年条例第4号）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

2 結核診査協議会条例（昭和26年名古屋市条例第44号）は、廃止する。

附 則（平成30年条例第29号）

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、名古屋市感染症診査協議会条例（平成11年名古屋市条例第15号。以下「条例」という。）第6条第3項の規定に基づき、名古屋市感染症診査協議会（以下「協議会」という。）に置く部会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(部会の設置、名称及び所管区域)

第2条 条例第6条第1項の規定に基づき、協議会に、感染症部会及び4の結核部会（以下「部会」と総称する。）を置く。

2 結核部会の名称及び所管区域は、次の表のとおりとする。

名称	所管区域
第1結核部会	千種区、昭和区、瑞穂区及び名東区
第2結核部会	西区、中村区、熱田区及び中川区
第3結核部会	東区、北区、中区及び守山区
第4結核部会	港区、南区、緑区及び天白区

(所掌事務)

第3条 感染症部会は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「法」という。）第24条第3項に掲げる事務のうち、結核以外の感染症に係る案件を取り扱う。

2 結核部会は、法第24条第3項に掲げる事務のうち、当該部会の所管区域内に居住地を有する結核患者に係る案件を取り扱う。

(組織)

第4条 部会は、委員6人をもって組織する。

2 部会に属すべき委員（以下「部会委員」という。）は、協議会の会長が指名する。

(部会長)

第5条 部会に部会長を置き、部会委員の互選によって定める。

2 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長の指名する部会委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 部会の会議（以下「会議」という。）は、部会長がこれを招集し、部会長はその議長となる。

2 部会は、その部会委員の半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席部会委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 部会は、議事について必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 感染症部会の庶務は健康福祉局新型コロナウイルス感染症対策部感染症対策室において、第1結核部会の庶務は名古屋市千種区役所保健福祉センター保健予防課において、第2結核部会の庶務は名古屋市中村区役所保健福祉センター保健予防課において、第3結核部会の庶務は名古屋市中区役所保健福祉センター保健予防課において、第4結核部会の庶務は名古屋市南区役所保健福祉センター保健予防課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、部会の組織及び運営に関し必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成23年規則第19号）抄

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成30年規則第45号）抄

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年規則第128号）抄

1 この規則は、令和2年12月14日から施行する。

(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿（令和4年3月31日時点）

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

区分	職名	氏名	備考
学識	岐阜保健大学 教授	石井 英子	
〃	名古屋大学 名誉教授	太田 美智男	
〃	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター病院長	大手 信之	
〃	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター病院長	大原 弘隆	
〃	東名古屋病院 医療顧問	小川 賢二	
〃	名古屋大学 教授	柴山 恵吾	
〃	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院感染管理室長	富田 ゆうか	
〃	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院第一新生児科部長	田中 太平	
〃	名古屋市立大学病院感染制御室長	中村 敦	
〃	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター感染症センター長	長谷川 千尋	
〃	名古屋掖済会病院小児科部長	星野 伸	
〃	大同病院 副院長	水野 美穂子	
〃	名鉄病院 予防接種センター顧問	宮津 光伸	
〃	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター小児科部長	森川 治子	
〃	名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部長	八木 哲也	
〃	名古屋医療センター エイズ総合診療部長	横幕 能行	
〃	社会医療法人宏潤会 名誉理事長	吉川 公章	
団体	名古屋市医師会 副会長	足立 昌由	
〃	名古屋市医師会 理事	森 亮太	
〃	名古屋市眼科医会 監事	鈴木 聡	
〃	愛知県皮膚科医会 理事	福井 良昌	
行政機関	厚生労働省東海北陸厚生局長	桐生 康生	-R3.9.13
〃	〃	西 辻 浩	R3.9.14-
〃	名古屋検疫所長	大森 豊緑	
〃	愛知県保健医療局感染症対策局感染症対策課医療体制整備室長	今井 勇治	
〃	愛知県衛生研究所長	榊原 徹	-R3.7.31
〃	〃	奥田 健司	R3.8.1-

(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

所 属	役 職 等	氏 名
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	感染管理室長	富田 ゆうか
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	感染症センター長	長谷川 千尋
名古屋市医師会	理事	森 亮太
名古屋学芸大学	教授	五十里 明
弁護士	—	長谷川 桂子
人権擁護委員	—	宮前 隆文